日仏保

昭和42年4月21日
平成24年4月1日発行　第3種郵便認可

仏教保育

4 APRIL

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

公益社団法人「日本仏教保育協会」の発足にあたって

理事長　上村　映雄

■日本仏教保育協会の起こり

日本仏教保育協会の創立を遡ると、昭和初年の本郷帝国大学青年会館における発会式にたどりつきます。協会の設立にあたっては、堀　緑羊師の尽力によるところが大きいと思われます。

創立された後、昭和6年7月25・26日の両日、全国仏教大会が開催され、翌7年12月には機関紙『仏教保育』が創刊されて現在に至っています。

これらの事業は「昭和天皇御大典」の記念事業として行われたものでした。こうした事業に関わったのは堀　緑洋を中心とした寺院で幼稚園・保育園を経営していた岸本勝俊、山田顕達、富田鼓純、関　寛之、関岡賢一師等の諸師でした。

昭和6年には第1回仏教保育講習会が開かれ、今日に至っています。この講習会は戦時中に一時中断されたのみで、お茶の水女子大学における講習会と共に、日本最古の保育講習会として今日に至っているのです。

■社団法人の設立

諸先輩の努力により「継続は力なり」をスローガンとして全国の寺院で経営する幼稚園・保育園は仏教の旗印の下に一致団結して幼児の「仏ごころ」の育成に努めてきました。

それと共に、より「公共性」「永続性」の高い団体を目ざして努力することを目標とし、団体の社団法人化を目ざして文部省・厚生省と折衝したところ、文部省所管の社団法人化が認められることとなったのです。そして昭和44年、念願の社団法人日本仏教保育協会の認可が下りたのです。

この社団法人の認可にあたっては、煩雑な申請事務の処理を担った理事長　古屋道雄師、佐藤辨正師の尽力を忘れることはできません。法人格を持つということは、より高い公共性・公益性に向かって事業の展開を図ることであり、だからこそ税制上も優遇されることになるのです。

■公益社団法人への移行

昭和44年に念願の社団法人の認可を受けて順調に協会の運営がなされていたのですが、今回政府の方針として財団法人・社団法人の見直しが進められ、従来の法人をより公共性を高めたものを「公益社団法人」とし、平成25年11月末までに手続きを完了するように指示されたのです。わが日本仏教保育協会は他の休眠法人の如き運営はしておりませんが、国の方針として公益社団法人、あるいは一般社団法人のいずれかに仕分けされるのであれば、当然、公益社団法人としなければなりません。当協会としては理事会の決議により「将来検討委員会」を立ち上げ、顧問弁護士・公認会計士・税理士の諸先生の指導の下に6回にわたる検討会を重ね、当局の指示も受けたところです。そして何回かの折衝の結果、平成24年4月1日に登記の受付が完了した次第です。

このことにより、当協会は「公益社団法人　日本仏教保育協会」として、より公共性・公益性・永続性のある協会運営がなされることになります。同時に「仏教保育」が公共性のある教育・保育活動ということが認められ、広く社会に伝えることがなされるのです。

協会加盟の各幼稚園・保育園にあっては今以上の充実・普及に努力していただくと共に、「いかせいのち」「生命尊重の保育」の実践に努めなければと思う次第です。

【ご報告】

●公益社団法人への移行経過について
平成22年10月22日、第1回「将来検討委員会」開始し、計6回開催。
平成23年12月8日付けで内閣府に申請。
平成24年3月26日付けで認定。
平成24年4月1日、公益社団法人として登記完了。

●機関紙『仏教保育』のサイズ変更について
公益社団法人化を機に、B5判からA4判に変更しました。

養成機関連絡協議会

平成24年2月23日／芝パークホテル

テーマ「仏教保育＝求められる保育者像と養成の現状＝」

［講師］安藤和彦先生（京都文教短期大学教授）

今回は協議に先立って、安藤和彦先生から保育者養成の現状と課題などについてお話していただきました。そのあと、各養成校の先生から自己紹介を兼ねながら養成への取り組み、学生たちの就職状況などお話いただき、その現状を踏まえて情報を交わしながら協議が行われました。養成校6校から7名、日仏保から10名（オブザーバーとして日仏保講師の育英短期大学教授・佐藤達全先生を含む）が参加しました（養成機関出席者の氏名は別掲）。

養成機関出席者（敬称略・順不同）

氏名	役職	学校名
岡本　啓宏	専任講師	駒沢女子短期大学
金児　恵子	就職課	淑徳短期大学
阿高　浩憲	事務室長	聖徳大学幼児教育専門学校
青木　靖子	学部長	こども教育宝仙大学
上田　衛	短大学部長／教授	鶴見大学短期大学部
葭村麻衣子	就職課主任	鶴見大学短期大学部
安藤　和彦	教授	京都文教短期大学

司会・進行を務める高輪真澄常任理事から、「はじめに安藤先生から京都文教短期大学における養成への取り組みや受け入れ側の採用状況、研修のあり方などについてお話していただき、そのあと養成校の先生方から指導のポイント、就職状況などの情報をいただいてから、テーマに沿って協議を進めてまいりたいと思います」と、協議の進め方について説明がありました。

続いて、上村映雄理事長からは、養成校の先生方への日頃のご協力に対する感謝の言葉を述べ、国策として進めようとしている幼保一体化などの懸念に触れたあと、情報を交わしながら忌憚のない協議をお願いしたい旨、述べました。

安藤和彦先生のお話（概要）

最近の学生は、見る・聞く・読む・書く・話す、などの感覚がかなり劣化してきているように思う。通信機器の進歩・普及、デジタル教育、知識注入型教育等が先行し、人としての奥行きや幅、「生きる力」そのものが欠如してきたとしか思えない。当校ではカリキュラムを再編・構築し、「生きる力」を実践すべく取り組んでいる。

企業側からの採用活動は典型的な青田刈りの様相を呈してきた。20年くらい前と比べて隔世の感がある。これらにどう対応していくかが、悩みの一つになってきた。

幼保一体化には問題はあるが、幼保との連携と接続、幼・保・小との連携と接続に伴う問題は多い。こうした課題のクリアこそ優先しなければならない。

安藤先生は学生側の問題、企業側の徹底した青田刈りへの警告などの現状を総括したあと、●保護者の高年齢化が目立ってきたこと。おじいちゃんだと思っていたら、実はお父さんだったという笑えぬ笑い話。●全国に養成校はおよそ500校あり、1校平均で100名卒業するとして5万人の教諭・保育士が誕生することになる。しかし、大量消費に近い現状ではじっくりと育成できないこと。●授業料が納められなくて退学していく学生が増えたこと。家からの仕送りは生活費に充てるため、授業料は滞納する。●保育界への株式会社参入の認可問題…等々について述べられ、最後に、京都市保育連盟における実践研修の実施要項を紹介され参考に供せば幸いであると結び、1時間余の講演を終わりました。

養成機関の協議会について

養成機関の先生から順次自己紹介のあと、学生の就職状況をはじめ取り組みなどについて報告されました。事前のアンケート結果を含め、概要を報告します。（＊アンケート資料一覧表は次ページに掲載。就職状況は平成24年1月現在）

札幌大谷大学短期大学部【北海道】　就職状況　幼稚園40%　保育所38%　その他(施設・進学・民間企業・未決定等) 18%　取り組み　●1年生後期(12月)に公務員試験対策講座(全9コマ) の実施。●1年生後期(2月)に進路就職フェアー(講演会「求められる保育者とは」、「内定した先輩から話を聞く」等)の実施。●2年生前期(6月)に公務員保育士を目指す学生向けの模擬試験の実施。●2年生後期(9月)に就職ガイダンス(1コマ)の実施。※学生一人ひとりの支援は担任教員を中心に行っている。

帯広大谷短期大学【北海道】　就職状況　幼稚園0%　保育所76%　その他(金融事務他) 24%　取り組み　本学は保育士養成施設であり、加えてホームヘルパー2級または、社会福祉士指定科目の履修が可能である。

函館大谷短期大学【北海道】　就職状況　幼稚園22.4%　保育所59.2%　その他 (施設・公務員・一般) 18.4%

聖和学園短期大学【宮城】　就職状況　幼稚園47%　保育所50%　その他3%　取り組み　●ほとんどの学生が幼稚園教諭や保育士の専門職を希望している。専任教員全員の協力により又進路指導室や学生課との連携で就職率は過去7年間100%である。●前後期に定例ガイダンスを設定し丁寧に取り組んだ。幼稚園の採用担当者から「今、どのような保育者が求められるのか」又、OGから「今、幼稚園教諭になって思うこと」について話していただいている。

足利短期大学【栃木】　就職状況　幼稚園21.7%　保育所63.1%　その他(児童養護施設等)15.2%　取り組み　●年度当初に各幼稚園・保育園(所)及び施設等に対し、本学専用の求人票を送付し、求人依頼を行っている。●学生に対して、自分の希望する園や施設に積極的に訪問させ、履歴書を置かせて頂いている。また、インターシップ(自主実習)を強く勧めている。

文教大学教育学部心理教育課程【埼玉】　就職状況　※心理教育課程幼児心理教育コース卒業生(43名) 幼稚園16%　保育所72%　小学校7%　その他5%　取り組み　キャリア支援課による就職指導に加え、心理教育課程独自の幼保採用試験のための講座を開講。

駒沢女子短期大学【東京】　就職状況　幼稚園38.5%　保育所59.3%　その他(施設・学童クラブ)2.2%　取り組み　進路総合センターを中心に一人ひとりの個性に応じたサポートをしている。1年次より就職ガイダンス、2年次にはマナー講座、筆記試験対策講座を行っている。また、学生はインターネットサイト「駒沢キャリアナビ」を通して情報検索を行っている。

淑徳短期大学【東京】　就職状況　※こども学科　幼稚園39%　保育所43.1%　その他 (企業・施設など)4.1%　取り組み　ガイダンスを行い、求人票が届いた際にはすぐに開示し、学生には積極的に見学へ行くようすすめ、個別相談に重点を置き、学生の就職活動の支援を行っている。

淑徳幼児教育専門学校【東京】　就職状況　幼稚園35%　保育所36%　その他(公務員・施設・認可外保育所等) 29%　※平成24年3月を以て閉校。

聖徳大学幼児教育専門学校【東京】　就職状況　幼稚園44.8%　保育所51.7%　その他3.4%　取り組み　●基礎教養のボトムアップを目的とし公務員講座の取り組み。●幼免・保育士その他の資格の充実。

こども教育宝仙大学【東京】　就職状況　※平成25年3月に卒業第1回生　取り組み　1・2年生はキャリアサポートで素養を中心に、3年生はさらに具体的な力をつけること、4年生は就職活動への導入といった段階を踏んで取り組みを行っている。

鶴見大学短期大学部【神奈川】　就職状況　幼稚園50%　保育所46%　その他(施設等) 4%　取り組み　仏教系養成校として、カリキュラム内に「宗教学」「仏教保育」を開講している。学内の仏教行事へ専任教員を含め、学生の参加が少ないのが課題。

常葉学園短期大学【静岡】　就職状況　幼稚園34.7%　保育所50.6%　その他(一般・施設等) 14.7%　取り組み　進路支援室が定期的に進路ガイダンスを行い、就職活動の進め方、履歴書の書き方、模擬面接等、全体に対して進路指導を行っている。また、クラス担当制により、きめ細かく個別の指導を行っている。

愛知文教女子短期大学【愛知】　就職状況　幼稚園39.4%　保育所51.5%　その他(託児所・児童クラブ)9.1%　取り組み　●赤ちゃん塾の実施(地域の乳児と母親の交流を目的とした子育て支援。教員や講師主導のもと、学生が手遊びや劇を行う。)

岐阜聖徳学園大学短期大学部【岐阜】　就職状況　幼稚園28%　保育所42%　その他(児童福祉施設等)19%

飯田女子短期大学【長野】　就職状況　幼稚園2%　保育所80%　その他(未定・企業等)18%　取り組み　●就職ガイダンス等

高田短期大学【三重】　就職状況　幼稚園18%　保育所77%　その他(児童福祉施設・企業) 5%　取り組み　昨年度から導入したWEB上のキャリア支援システムの運用により、求人・就職情報の即時提供や、全学の教職員の連携による極め細やかな支援体制の構築に努めている。また、カリキュラムに組み込まれた10種の他にも、就職希望園・施設等へ自主実習に積極的に出向かせることにより、就職先の決定に繋げている。

大谷大学短期大学部【京都】　就職状況　※就職内定者　幼稚園26%　保育所72%　その他(児童福祉施設) 2%　取り組み　より良い進路選択のため、年3～4回ガイダンスを実施。

華頂短期大学【京都】　就職状況　幼稚園19.8%　保育所47.4%　その他(福祉施設・企業)5.3%

京都女子大学・京都女子大学短期大学部【京都】　取り組み　平成23年度より教務課教職支援センターを設置し、教員を目指す学生を対象に、講座や模擬を実施。また、教員経験者が常駐し、学生からの相談や質問に答えられる体制をとっている。

京都文教短期大学【京都】　就職状況　幼稚園25.6%　保育所65.7%　その他(こども園・施設) 5.3%

佛教大学【京都】　就職状況　幼稚園33%　保育所40%　取り組み　●採用試験の受験対策講座の開設　●大学内での合同説明会の開催

兵庫大学短期大学部【兵庫】　就職状況　幼稚園9.0%　保育所75.7%　その他(施設・企業) 15.3%　取り組み　●就職ガイダンスの開催●幼稚園・保育所等との就職情報交換会●マナー講座の実施●卒業予定学生との個人面談(複数回)●求人メールの配信

筑紫女学園大学【福岡】　就職状況　幼稚園6%　保育所67%　その他(一般企業) 4%

筑紫女学園大学短期大学部　就職状況　幼稚園40%　保育所54%　その他(一般企業) 4%　取り組み　●就職ガイダンス…大学保育士課程4年制・短期大学部2年生対象。4～10月まで月1回実施。内容：マナー講座・面接・試験の流れ等　●先輩ゼミ…大学保育士課程3年生・短期大学部1年生対象。1月に実施。就職が決まった学生が、具体的な就活の状況をグループ単位で伝える。

九州龍谷短期大学【佐賀】　就職状況　幼稚園18%　保育所70%　その他(福祉施設等)12%　取り組み　キャリアカウンセラーによる就職相談を実施。

第41回園長・副園長・主事研修会／第40回主任・中堅研修会

平成24年1月17日／大本山増上寺・三縁ホール

テーマ「放射性物質食品への影響を正しく理解するために」

［講 師］村松 康行 先生（学習院大学理学部化学科教授）

福島で発生した原発事故は家畜や魚貝、野菜類に至る多くの食材に放射性物質への影響が懸念され、更に心ない風評がそれを食する恐れを増幅・拡大していきました。

1月17日に開催された研修会では村松康行先生を講師にお招きし、放射性物質が食品に与える影響などについてお話していただきました。村松先生のプロフィールは本紙1月号（№573）でもご紹介したように、微量元素やアイソトープなど地球環境における分野では世界的な研究者として知られています。天然放射性元素や銀河宇宙線などの自然界における放射線について、パワーポイントを使って分かりやすく解説してくださいました。以下はその要約です。

私の専門は化学、特に分析化学です。その分野で放射能についての分析を専門に研究してきました。今回の福島原子力発電所の事故によって、大気中に放射性物質が流出したことが、大きな社会問題になっています。

この問題で重要なことは、基礎となる放射能が大気中にどれくらい入っているか、どの程度広がっているかということです。私はそれらを測る方向からアプローチしていますが、まずそんなルーツからお話いたします。

放射線単位の「ベクレル」は発見者の名前

殆どの元素は安定元素ですが、その中にはいろいろな放射性元素が入っています。ウランという元素はすでに1800年初頭から知られていましたが、ウランが放射線を出していることを発見したのはフランスの〝ベクレル〟という人です。放射線単位の「ベクレル」は、その発見者の名前からとったものです。

ベクレルが放射線を見つけたことに刺激を受けたマリー・キューリー夫人は、その2年後に「トリウム」という物質も放射性物質であることを発見しています。更に、ウラン鉱石の中にそれまで知られていなかった「ラジウム」と「ポロニウム」という二つの放射線を出す元素も見つけ出しました。「ポロニウム」は夫人の故郷であるポーランドから名付けたと言われています。この放射線を発見したことによって夫人は1903年にノーベル物理学賞を受け、その元素がどのような化学物質を持っているかということを調べたことで、1911年にキューリー夫人は再びノーベル物理学賞を受賞しています。昨年、その100周年を記念してわれわれ化学の分野では「ユネスコ国際化学年」を設定しましたが、奇しくも、福島の原発事故が起きてしまいました。

自然界の放射線について

放射能は人工的に作り出されたものばかりと思われているようですが、自然界からもセシウムや放射性ヨウ素はたくさん放出されています。自然界の放射線は、宇宙から出ている「宇宙線」、放射性元素から出ている「天然ウラン」や「ラジウム」などに大別されます。

放射線はなぜ出るのか。物質というのは、いろいろな原子から成っています。元素の中に原子があり、その原子は原子核の周りを回っています。原子核の中には中性子と陽子があり、それぞれ一定の割合にありますが、元素によってはどちらかが多くなってバランスが崩れます。その崩れた不安定な状態を安定させようとする時に放射線を出します。

例えば、ウランが核分裂を起こす時ウランの出量数は235ですが、それが二つに割れたとします。その時中性子や陽子のバランスが不安定になり、原子核が安定になるためにエネルギーを出します。これが放射線です。この現象は自然界でも起こります。宇宙からの放射線が大気に飛び込んできて大気の窒素と衝突した時にも核反応が起こり、放射性物質が出ます。

大地にはウラン、トリウム、ラジウム、そしてカリウムなどがあり、カリウムには野菜に必要な成分がたくさん入っていますが、これにも放射性物質が含まれていて放射線を出しています。建物の壁などからも出ています。このように自然界からの放射線は、私たちの身近な周辺にも出ているのです。

一年間に浴びている放射線量の日本での平均値は0・43（mSv／1000usv）ですが、ブラジルやイランなどは10数倍もの高い数値になっています。高数値

なところでも人は住んでいるのです。日本での最高値が1・26msv（イランは260msv）を示す場合がありますので、厚労省では自然界からの放射線も含めて1msvに抑えようとしているところです。

私たちの身体の中には「カリウム40」がたくさん入っています。体内に含まれる放射線量はおよそ4000ベクレル。これは地球が誕生して以来、ずっと存在しています。では、われわれは通常どれくらい被ばくしているのでしょうか。

自然界での放射線は、1年間の世界平均では2・4msvです。大地から0・48msv 宇宙線は0・39msv 食べ物から0・29msvとなっており、あとはラドンからの1・26msvとなっています。

また石の中にはウランが入っていますので、石の建物からの吸入による被ばくもありますし、特にトンネルの中では多く出ています。つまり、何もしていなくても、自然界を含めれば2・4msvの放射線を浴びていることになります。

放射線測定機について

昨年3月末に福島県からアドバイザーを頼まれ、同県の飯館村の村長さんたちから現状を伺ったり対策のご相談を受けるなどしてある程度の準備をし、4月初めに測定機類を持参して飯館村を計測しました。持参の測定機の針が振り切れてしまうほど放射線の量は凄いものでした。

《持参した測定機》

■サーベルメータ…放射線量（シーベルト）

汚染計算・空間線量の測定

■Ge半導体検出器…放射性各種の種類と濃度（ベクレル）

ゲルマニウム反応検出器（食品等に含まれる放射性物質を計測するもので、お米1kg当りの単位として測る時に使う装置）

測定機の針が振り切れるほどの放射線量には驚きましたが、それ以上に驚かされたのは持参したような測定機が1台しかないことでした。4月に行く時には測定機とともに昆布を持参しました。昆布は放射線ヨウ素で侵される甲状腺を抑止する効果があるからです。サーベルメータなどの測定機も学生時代の友人に働きかけて寄付させていただきました。測定機が不足して計測が遅れれば放射能が少なくても住民の不安は高まりますから。

ご存知のように、放射性ヨウ素は身体に入れば甲状腺に集まります。特に発育時期のお子さんはヨウ素が甲状腺に達すればガンになる確率が高くなります。チェルノブイリでは子どもの甲状腺ガンが出ました。

福島の放射性セシウムは今も残っています。セシウム137は半減期30年、セシウム134は半減期2年半くらいですので、徐々にではありますがなくなっていきます。

内部被ばくと外部被ばくについて

「内部被ばくと外部被ばく、どちらの危険度が高いか」と心配される方が結構います。

外部被ばくは、その場所から遠ざかれば放射線を浴びることはありませんし、仮に汚染したとしてもそこから離れれば避けられます。しかし、身体の中に入ってしまう内部被ばくはとても危険です。「身体の中に入ったものは抜けない」とよく言われますが、全く抜けないわけでもありません。セシウムであれば92日ほどで半分になります。ゆっくりですが、抜けていきます。野菜や昆布などを摂取していても放射性物質カリウムを少量ながらも体内に取り込んでいきますし、自然界の放射能もあります。しかし、何れも少量浴びている分には問題ありません。

問題は、その量にあります。内部にしても外部にしても、同じように評価できるのが「シーベルト」です。身体に入った時の放射線として考えた場合の量と、外に置いた時の量はファクターにかけて考えます。つまり、シーベルトで表せば内部も外部も基本的には同じです。「必ずしもそうではない」という学者もおられますが、γ線、β線などは内部も外部もシーベルトで考えれば、大きな違いはありません。

放射線はウイルスとは全く別のもの

放射線の害は、農薬とかサリンなどのような細菌性のウイルスとは全く違います。農薬やサリンは少量でも身体の臓器の機能を劣化させ、急性疾患などを起こし、最終的には死に至ります。

放射線の場合は、確率的には遺伝子を傷つけることになってガンの確率は高くなります。遺伝子を傷つけるのは放射線だけではありません。いろいろな化学物質がありますが、タバコなどもその一つです。しかし、人間や動物には傷ついた部位を修復する遺伝子があって、常に修復作業が行われています。

確定的影響と確実的影響について

「確定的影響」とは、どれだけ放射線を浴びれば死に至るか、ということです。そういうことが起こる確率はどのくらいかということが、かなり分かってきました。よくある症状としては気持ちが悪くなって、まず〝吐き気〟がします。嘔吐は放射線を浴びた時の典型的な症状です。500mmシーベルトを超えると直ぐに影響が出てきます。5シーベルト以上浴びると死に至ります。

「確実的影響」は、放射線を浴びるとガンになる確率が高くなるということです。放射線だけでなく、タバコや自然界の要因もあります。よく「100mmシーベルトくらいまでなら大丈夫」という学者もいますが、実際に測定してみると数値が100mm以上あってもガンが増えたというケースは見当たりません。

◇　◇

小さいお子さんを持つ親でさんたちが、放射線を恐れるのは当然だと思います。短い時間では語りきれませんが、怖がり過ぎるのもよくありませんが軽く考えられても困ります。正当に怖がることはなかなか難しいですが、正しい情報を正しく理解して対応して頂きたいと思います。

（以上）

花まつり

敬称略
（次号へつづく）

萬徳寺保育園
日仏保参務園理事長　岩堀　法道
〒314-0146　茨城県神栖市平泉2325-1
TEL 0299-92-2704

呑龍幼稚園
日仏保参務園理事長　小林　龍雄
〒327-0016　栃木県佐野市大祝町2312
TEL 0283-22-0149

稲毛すみれ幼稚園
日仏保参務園理事長・園長　西沢　貫誠
〒263-0031　千葉市稲毛区稲毛東1-14-13
TEL 043-242-6116

千葉文化幼稚園
日仏保参務園長　高山　照襄
〒264-0028　千葉市若葉区桜木町4-16-38
TEL 043-231-0304

明福寺ルンビニー学園
日仏保参務園長　福井　豊信
〒132-0013　東京都江戸川区江戸川3-8
TEL 03-3670-0134

言問幼稚園
日仏保参務園長　小林　昭彦
〒131-0033　東京都墨田区向島5-4-4
TEL 03-3622-7771

行慶寺ルンビニ幼稚園
日仏保参務園長　小俣　昌道
〒142-0041　東京都品川区戸越2-6-31
TEL 03-3781-6286

青葉幼稚園
日仏保参務園理事長・園長　安井　覚明
〒240-0064　横浜市保土ケ谷区峰岡町3-448
TEL 045-332-4671

荻野保育園
日仏保参務園長　長谷川正孝
〒462-0053　名古屋市北区光音寺町2-93
TEL 052-981-9683

川中保育園
日仏保参務園理事長　遠藤　友彦
〒462-0051　名古屋市北区中切町2-64-1
TEL 052-914-9607

六満保育園
日仏保参務園長　内海　奐乗
〒604-8336　京都市中京区六角通大宮西入ル
TEL 075-841-1196

上京保育所
京都市日仏保参務園長　横井　恭一　岩田　融典
〒602-0083　京都市上京区大宮通鞍馬口ドル東入新ン町
TEL 075-414-2351

北港学園保育所
財・多善会　日仏保参務園理事長　神谷　周道
〒554-0051　大阪市此花区西島3-26-11
TEL 06-6461-7849

ほぜんじ幼稚園
日仏保理事長園長　上村　映雄
〒164-0002　東京都中野区上高田1-31-2
TEL 03-3364-3381

学・高西寺学園多摩みゆき幼稚園
日仏保副理事長園長・園理事長　関岡　俊二
〒206-0021　東京都多摩市連光寺2-24-6
TEL 042-374-6040

城北幼稚園
日仏保副理事長園理事長　三浦　俊彦
〒462-0022　名古屋市北区川中町6-11
TEL 052-981-1386

松尾幼稚園
日仏保副理事長園長　日野　昭文
〒615-8296　京都市西京区松室山添町6
TEL 075-381-2591

国谷幼稚園
日仏保副理事長園理事長　栗原　信明
〒321-0211　栃木県下都賀郡壬生町国谷840-1
TEL 0282-82-1200

花川戸保育園
日仏保常任理事園長　荻野　順雄
〒111-0033　東京都台東区花川戸2-11-13
TEL 03-3844-8366

みどり幼稚園
日仏保常任理事園長　緑谷　一雄
〒272-0813　千葉市川中山3-10-4
TEL 047-334-1224

共生保育園
日仏保常任理事園長　古屋　吉雄
〒300-1511　茨城県取手市椚木219
TEL 0297-83-1569

光輪幼稚園
日仏保常任理事園長　高輪　真澄
〒144-0047　東京都大田区萩中1-12-7
TEL 03-3732-8781

麻布山幼稚園
日仏保常任理事園長　麻布　恒子
〒106-0046　東京都港区元麻布1-6-21
TEL 03-3453-6710

まや幼稚園
日仏保理事園長　野村　定弘
〒047-0034　北海道小樽市緑1-23-8
TEL 0134-32-5449

永徳学園大谷幼稚園
日仏保理事園長　寺山　寛
〒038-1311　青森県南津軽郡浪岡町浪岡字平野131
TEL 0172-62-5121

おたまや幼稚園
日仏保理事園理事長　鎌田　文惠
〒980-0814　宮城県仙台市青葉区霊屋下23-5
TEL 022-227-4292

取手保育園
日仏保理事園長　金田　進徳
〒302-0023　茨城県取手市白山2-9-28
TEL 0297-73-0218

三宝幼稚園
日仏保理事園長　稲村　博道
〒373-0067　群馬県太田市本町22-6
TEL 0276-22-7061

学・西願寺学園　あずま幼稚園
日仏保理事園理事長　丹羽　尊照
〒340-0032　埼玉県草加市遊馬町430
TEL 048-925-1741

船橋幼稚園
日仏保理事園長　田中恵美子
〒273-0005　千葉県船橋市本町3-36-32
TEL 047-424-3351

「ほとけの子」は保護者向けの月刊誌です。
心の豊かさが求められる今日です。
仏教保育を主眼とした内容、
特に年５回の仏教行事の特集は、
行事説明だけに終わらない、
その道の諸先生方の御健筆が冴えています。
御購読下さいますようお薦め下さい。

公益社団法人 日本仏教保育協会編集
月刊 ほとけの子
定価120円(税込)
株式会社 宣協社
〒150 東京都渋谷区鶯谷町7-7 OHビル201号
TEL. 03-3463-1931(代)　FAX. 03-3463-0608

浅草仏教会が、女川町仮設住宅で〝餅つき大会〟のボランティア活動

昨年の暮れ、浅草仏教会は東京・台東区の仰願寺幼稚園（代表社員・當麻祐麻先生）から、臼4個、ガス釜10台、せいろ30枚、もち米55㌔（約1000人分）に、餡・きなこ、などを積み込んで宮城県・女川町の仮設住宅を訪問、「餅つき大会」を行いました。浅草仏教会、地元の獅子振り保存会の皆さんなどボランティアの皆さんによって搗いたお餅で炊き上げたお雑煮やきなこ餅などは、仮設住宅で迎える方々に心温まる嬉しい贈り物となったようです。

明けてお正月には、その返礼として女川町の「獅子振り保存会」の若手30人が上京し、伝統の獅子振りを披露してくれました。津波で流された獅子頭はエルメスジャポン株式会社さんからご寄付して頂いたそうです。六本木ヒルズで行われたそのエルメスジャポンさんの新年会で「獅子振り」を演じた後、浅草仏教会の皆さんにご披露したいと、各仏教会、海底ガレキ撤去チーム、疎開先の秋田県観光協会をはじめ、近隣の人たち、園児や保護者ら関係者の皆さんが待つ仰願寺幼稚園の園庭で賑やかで力強い「獅子振り舞い」を披露されました。津波で唯一流されなかった子供用の獅子舞を園児たちは楽しく振っていました。「また皆で〝獅子振り〟を舞うことができた」と感激の涙・涙で舞う姿は、見る人たちも目を潤ませて感動していました。

▼……▲

「女川の獅子振り」　女川町の各地区や各浜では、正月に「春祈祷」が行われます。これは「獅子振り」（獅子舞い）とも言われ、獅子が各家々を訪れて悪魔を払い、新年の家内安全・無病息災・大漁などを祈願するものです。力強い太鼓や笛の音に合わせて獅子が乱舞し、大変威勢のいい行事です。

金の峯幼稚園
日仏保理事　東仏保委員長　安藤　文隆
〒165・0022　東京都中野区江古田3・9・9
TEL 03・3385・0014

城郷幼稚園
日仏保理事　園長　安藤　尊仁
〒222・0035　横浜市港北区鳥山730
TEL 045・471・9127

パドマ幼稚園
日仏保理事　園長　金子　英滋
〒380・0847　長野市若松町1028
TEL 026・234・5858

新潟中央幼稚園
日仏保理事　園理事長・園長　今湊　良敬
〒951・8061　新潟市中央区西堀通7・1558
TEL 025・228・5866

新田塚幼稚園
日仏保理事　園長　荒川　周学
〒910・0067　福井市新田塚2・46・26
TEL 0776・26・1191

社福・愛育会　るんびにー保育園
日仏保理事　園理事長・園長　小川　良紘
〒522・0083　滋賀県彦根市河原1・1・4
TEL 0749・26・1230

山科幼稚園　西念寺保育園
日仏保理事　園理事長　白籏　文雄
〒607・8086　京都市山科区竹鼻四丁野町52
TEL 075・581・0879

淡路幼稚園　淡路保育園
日仏保理事　園理事長　行友　伸二
〒533・0023　大阪市淀川区東淡路4・12・25
TEL 06・6321・0271

禅昌寺幼稚園
日仏保理事　園長　近藤　利弘
〒654・0001　神戸市須磨区禅昌寺町2・5・1
TEL 078・732・0944

呉あそか幼稚園
日仏保理事　園理事長　西村　英昭
〒737・0022　広島県呉市清水2・1・26
TEL 0823・25・5671

西光寺保育所
日仏保理事　園長　三浦　教尚
〒761・0321　高松市前田西町167・1
TEL 087・847・6237

筑紫女学園短大部附属幼稚園
日仏保理事　園長　笠　信暁
〒810・0023　福岡市中央区警固3・13・34
TEL 092・731・0787

●●プルアニマル　ジャクエツ
http://www.jakuetsu.co.jp
HDN0003　¥17,850 税込み
□サイズ：大ー全長 25 cm
小ー全長 14 cm
□内　容：ゾウ大ー2個
ゾウ小ー3個
イヌ大ー2個
イヌ小ー3個
□材　質：ポリエチレン
耳が回転するのでこどもの興味をそそります

本社/0770-22-2200　東京本社/03-3323-1188

「第32回全国仏教保育栃木大会」記念講演の講師ご紹介

◆講師　乙武 洋匡（おとたけ ひろただ）さん
◆演題　「みんなちがって、みんないい」
（プロフィール）　作家。大学在学中、ご自分の経験をユーモラスに綴った『五体不満足』（講談社）は多くの人々の共感を呼び、500万部を超す大ベストセラーになったことは広く知られている。また、子どもの頃のエピソードを基に書いた絵本『プレゼント』（中央法規出版）、〝どらえもん〟の絵に詩を載せた絵本『とっても大好きどらえもん』（小学館）など、子どもたちへのメッセージを発信する活動も大きな柱としている。11年4月から、ナチュラルスマイルジャパン㈱の取締役として「まちの保育園・小竹向原」の運営にも携わる。

◆講師　新沢としひこ（しんざわ としひこ）さん
◆演題　「こころ　はればれ」
（プロフィール）　シンガーソングライター。1963年生まれ。明治学院大学の学生時代よりライブハウスで音楽活動を始める。東京・豊島区の保育所で保育士を経験した後、コンサート活動を行い、ソロコンサートのほか、ケロポンズ、中川ひろたか等とジョイントコンサートも行っている。食育に音楽を提供したり、保育士講習会議師や講演会など、年間に多くのステージをこなす。エッセイ、児童文学、絵本の出版など、マルチ的才能で幅広く活動し、代表作『世の中のこどもたちが』では、小学校の教科書（全社）に採用されている。

すくらんぶる

事務局日誌

3／1　こどものくに「ひまわり版」編集会議
3／5　「仏カリ」「仏教保育」編集会議
「事務局会議」
3／6　「ほとけの子」編集会議
3／16　こどものくに「チューリップ版」企画会議
3／29　こどものくに「たんぽぽ版」編集会議

編集後記

■今年は「全国仏教保育大会」が栃木県の名勝地・鬼怒川温泉で行われる。栃木支部の栗原大会実行委員長はじめスタッフの方々は早々と準備を整え、全国からの参加者を万全の態勢で待ち受けている■昨年の大地震災害、原発事故に続く風評被害等で不安定な世の中の状況に、スタッフは参加者の集まりがどうかと心配されている。そんなスタッフの日々の努力に敬意を表し、各園が一人でも多くの参加者を募って大会を盛り上げようではないか。基調講演は、あの乙武洋匡氏。障害を乗り越えての貴重な話を聞けるのが楽しみである■2年前の福岡大会では、作家の五木寛之氏の講演であった。五木氏は最近『下山の思想』という本を出された。登山は登るだけの喜びでなく、下山の時の大切さ、楽しさを説いている。下山では遠くの海を眺められるし、平野や町の遠景も楽しめる。足元の高山植物や突如現れる雷鳥に微笑するゆとりがある。■下山というとマイナス思考に思われるが、仏教では陽の沈む夕陽の向こうに西方浄土があるといわれる■今は下山の世の中であるかも知れないが、一日一日下山の大切さを噛みしめて、次の登山に向かう準備期間としたいものである。（関　岡）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ　http://www.buppo.com/
電話 03(343)7475・FAX03(3431)1519
発行人 上村映雄　編集人 高山久照
毎月1回1日発行（1部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-21
電話 〇三-三九四五-六六一一
ファクス 〇三-三九四五-六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/

ポップアップ絵本 おしゃかさま
¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ：W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33×D5.5×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

仏教保育

5 MAY

伝えよう　生命（いのち）の尊さ　ほとけの心

公益社団法人移行　初の「社員総会」開く！

爽やかに薫る風に誘われて訪れる5月、鮮やかな緑が芽を出す5月、日本仏教保育協会の「総会」の5月が訪れました。

皆さまにはご清祥にて日々「仏教保育」に精進されておられることと拝察いたします。

今回は、公益法人化に伴い「第1回社員総会」「平成24年度第1回仏教保育研修会」を開催いたします。

また、ご高承のように平成18年に公益法人関連三法が国会で可決され、平成20年12月に施行されました。施行後5年以内に公益法人移行の認可を受けなければなりません。つまり、移行期限は平成25年11月30日となります。

当協会ではこれを受けて「将来検討委員会」を設置し、顧問弁護士・大久保建紀先生、公認会計士・白井健二郎先生のお二人を中心に委員会（若盛正城委員長）の先生方と共に公益化に向けて6回にわたって協議を進めて参りました（協議内容はその都度本誌で報告）。

そして、内閣府の認定を受け、平成24年4月1日を以って、「公益社団法人日本仏教保育協会」として新たなスタートを迎えました。

すでにご案内のように、今回は公益社団化を祝して、ザ・プリンスパークタワー東京にて「公益社団法人移行設立記念祝賀会」開催のはこびとなりました。

◇　◇

「平成24年度第1回仏教保育研修会」では柏女霊峰先生（淑徳大学総合福祉学部教授）を講師に招き、保育界では最大の関心事である「子ども子育て新システム」に関するお話をしていただくことになっています。

柏女先生は「幼保一体化ワーキングチーム」の構成委員として、新システムの検討会議において「社会的排除を生まない仕組み」や子育て支援プランを作成する「コーディネーターの創設」を求めるなど多くの提言をされています。

周知のように野田内閣は3月30日、子ども・子育て新システムに関する3本の法案を閣議決定し、同日に衆・参両院に法案を提出しました。しかし、税と社会保障の一体改革に関連した消費税引き上げ問題は党内でも議論がまとまらず、衆参がねじれている国会では審議が難航しています。つまり、新システム実現のハードルは益々高いということでしょうか。

柏女先生には、新システムの最新の動向などについて、詳しくお話いただけると思います。

「第1回　社員総会」

日　時　平成24年5月15日（火）

会　場　大本山増上寺・三縁ホール（大殿地下ホール）
港区芝公園4-7-35
電話　03（3432）1431

総会受付　13時30分～14時00分

総　会　14時00分～16時00分

研修会　16時00分～17時30分

講　師　柏女霊峰先生（淑徳大学総合福祉学部教授）

テーマ　「子ども・子育て新システムと保育」
～最新の動向を踏まえて～

「公益社団法人移行設立記念祝賀会」
18時00分～20時00分

会　場　ザ・プリンスパークタワー東京

大会テーマ

「未来はこども」

～いま問い直される幸せとは～

この夏、栃木で学び、栃木を楽しもう！

「第32回全国仏教保育栃木大会」はもうすぐです。

日　程　平成24年8月2日(木)・3日(金)

会　場　鬼怒川温泉「あさやホテル」

（全体会・分科会・懇親会）

基調講演

① 乙武 洋匡 氏

テーマ「みんなちがって、みんないい」

② 新沢 としひこ 氏

テーマ「こころ　はればれ」

分科会テーマ

仏教保育ならではの内容と、講師・助言の先生方をお招きしています。学びたいテーマにトライしてください。

第1分科会（講座）
「仏教保育の目指すもの」

第2分科会（発表型）
「日常における生命尊重の保育を考える」

第3分科会（シンポジウム）
「大震災レポート～あの災害から私たちは何を学ぶか～」

第4分科会（講座）
「最新・新システムの動向」

第5分科会（講座）
「特別支援の考え方と方法」

第6分科会（講座）
「子どもの食と体の育ちを考える」

第7分科会（発表型）
「共に生きる子育て」

第8分科会（発表型）
「2歳児保育を考える」

第9分科会（講座・発表型）
「これからの保育を考える」

第10分科会（ワークショップ）
「仏教讃歌を歌おう！パネルシアターを使おう！」

第11分科会（ワークショップ）
「自然の保育力～日光の自然に学ぶ～」

第12分科会（ワークショップ）
「ガラス工房体験＆世界遺産めぐり」

第13分科会（ワークショップ）
「子どもと造形のよい関係をつくるために」

"とちぎ"を楽しんでください

▼世界遺産「日光東照宮」は徳川家康の遺命で建てられたもので、家康を中心とし、豊臣秀吉、源頼朝も合祀されています。陽明門の豪華絢爛さは世界に誇る建造物。「見ざる、聞かざる、言わざる」の三猿、左甚五郎の作「眠り猫」は有名。

▼鬼怒川温泉は、1752年に発見され、古くは滝温泉と呼ばれていたそうです。1927年(昭和2年)に「鬼怒川温泉」と改称されました。自然美に囲まれながら豊富な湯量での寛ぎは人生最大の幸せかも…。

▼東武ワールドスクエアも必見の価値あり。世界旅行の気分が味わえますよ。

▼お猿さん好きには「日光猿軍団」のショーは見逃せない楽しみ。茶目っけと愛きょうたっぷりの顔で迎えてくれます。

▼水陸両用バスで、ダムとダム湖探検ツアーは面白い。「道の駅・湯西川」を発ち陸路を走り、川治ダムに着くと「水上バス」に変身して湖上を突っ走る快感・感動は抜群！

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

ご就職おめでとうございます!!

日本仏教保育協会賞受賞者

（敬称略）

大嶋　栄子（函館大谷短期大学・北海道）
社会福祉法人　民生博愛会
名畑　光（札幌大谷大学短期大学部・北海道）
学校法人　北海大谷学園　大谷オアシス保育園
家常　恵（帯広大谷短期大学・北海道）
社会福祉法人　龍谷保育会
星　いづみ（聖和学園短期大学・宮城県）
宗教法人真宗大谷派法林寺　若竹幼稚園
上原　千佳（足利短期大学・栃木県）
学校法人瑞泉学園　足利いずみ幼稚園
渋沢　茉希（立正大学社会福祉学部・埼玉県）
社会福祉法人深高会　深谷保育園
山崎　さゆり（聖徳大学・千葉県）
共生保育園
葉原　江梨（聖徳大学短期大学部・千葉県）
やくし幼稚園
片山　美貴子（淑徳幼児教育専門学校・東京都）
宮原幼稚園
勝田　奈菜（駒沢女子短期大学・東京都）
社会福祉法人稲田福祉会　稲田保育園
藤原　麻衣（聖徳大学幼児教育専門学校・東京都）
聖徳学園　三田幼稚園
重岡　真由子（淑徳短期大学・東京都）
学校法人慈照学園　照蓮院さくら幼稚園
金子　桃子（鶴見大学短期大学部・神奈川県）
宗教法人歓成院　大倉山アソカ幼稚園
土屋　芽衣（常葉学園短期大学・静岡県）
有戸十七夜山保育園
安藤　さとみ（愛知文教女子短期大学・愛知県）
学校法人大里双葉学園　大里双葉幼稚園

後藤　彩香（岐阜聖徳学園大学短期大学部・岐阜県）
社会福祉法人瑠璃光会　蘇原西保育園
川戸　美咲（高田短期大学・三重県）
社会福祉法人　愛児の会
和瀬田　奈実（京都文教短期大学・京都府）
学校法人早翠学園　早翠保育園
田幸　由紀子（龍谷大学短期大学部・京都府）
宗教法人真覚寺保育園
伊藤　栄梨（京都女子大学・京都府）
西本願寺保育園
小松　由佳（京都女子大学短期大学部・京都府）
むらさき幼稚園
小野　沙緒里（華頂短期大学・京都府）
学校法人佛教教育学園　華頂短期大学附属幼稚園
宮本　茜（佛教大学・京都府）
学校法人成田山学園　成田幼稚園
能瀬　加奈子（四天王寺大学短期大学部・大阪府）
社会福祉法人松雪福祉会　はじかみ保育園
志田　真野（兵庫大学短期大学部・兵庫県）
宗教法人　日輪寺保育園
佐藤　菜奈恵（筑紫女学園大学・福岡県）
善来寺保育園
宮崎　望（筑紫女学園大学短期大学部・福岡県）
正光寺ひかり幼稚園
森　絵梨奈（九州龍谷短期大学・佐賀県）
高木保育園
佐藤　実真（東九州短期大学・大分県）
社会福祉法人アソカの園　けいあい保育園

「ほとけの子」は保護者向けの月刊誌です。
心の豊かさが求められる今日です。
仏教保育を主眼とした内容、
特に年５回の仏教行事の特集は、
行事説明だけに終わらない、
その道の諸先生方の御健筆が冴えています。
御購読下さいますようお薦め下さい。

公益社団法人　日本仏教保育協会編集
月刊　ほとけの子
定価120円(税込)
株式会社　宣協社
〒150 東京都渋谷区鶯谷町7-7 OHビル201号
TEL. 03-3463-1931(代)　FAX. 03-3463-0608

「いかせいのち」協賛園

◆北海道
帯広幼稚園　二六、九六九円
みどり幼稚園　三三、一六六円
小樽幼稚園　三、七〇〇円
札幌大谷第二幼稚園　七、二八四円
国の華幼稚園　二二、八九〇円
潮見幼稚園　七、七五三円
もなみ幼稚園　五、七五二円
第二もなみ幼稚園　一一、五〇〇円
桂　幼稚園　三、七九〇円
網走幼稚園　三三、〇九一円
朝里幼稚園　八、〇〇〇円
斜里大谷幼稚園　一〇、一四一円
函館大谷幼稚園　三、五〇〇円
花園大谷幼稚園　二八、六八二円
小樽高田幼稚園　一〇、八〇〇円
真宗寺保育園　五、〇〇〇円
野田生こばと保育園　一〇、〇〇〇円
龍谷幼稚園　一三、四四〇円
つくしケ丘幼稚園　二、八〇〇円
滝川幼稚園　二六、五八〇円

◆群　馬
若栗幼稚園　三〇、〇〇〇円
木崎町幼稚園　一二、二六三円
星光第二保育園　八、七〇〇円
愛隣保育園　一五、二五八円
長野幼稚園　四五、一七五円
慈教幼稚園　三八、六七三円
むつみ保育園　一〇、〇〇〇円

◆埼　玉
あずま幼稚園　二二、〇五〇円
幸手さくら幼稚園　七二、九七二円
川口アソカ幼稚園　三〇、〇〇〇円
原市文化幼稚園　二七、六〇〇円
浦和みひかり幼稚園　二〇、〇〇〇円
厚徳幼稚園　二二、三二六円
清浄院幼稚園　一九、二〇〇円
与野ひなどり保育園　六、〇〇〇円
みのべ幼稚園　一〇、〇〇〇円
聖徳保育園　二〇、〇〇〇円
みよしの幼稚園　三九、三三三円
谷塚幼稚園　一〇、〇〇〇円
ルンビニ幼稚園　七、九九〇円
妻沼幼稚園　二四、〇〇〇円

◆東　京
常徳幼稚園　一〇〇、〇〇〇円
大森みのり幼稚園　一〇、〇〇〇円
寿福寺幼稚園　三六、六六二円
寿福寺第二幼稚園　四八、三二〇円
まどか保育園　一〇、〇〇〇円
日野わかくさ幼稚園　三〇、〇〇〇円
八王子ひまわり保育園　一〇、〇〇〇円
こまどり幼稚園　一〇、〇〇〇円
小岩みどり保育園　一〇、〇〇〇円
マヤ幼稚園　三〇、〇〇〇円
新小岩幼稚園　二〇、〇〇〇円
中台幼稚園　三〇、〇〇〇円
駒沢女子短期大学附属こまざわ幼稚園　二〇、〇〇〇円
言問幼稚園　二〇、〇〇〇円
中野小鳩幼稚園　一〇、〇〇〇円
四恩幼稚園　三一、四九一円
神田寺幼稚園　二二、三四八円
足立たちばな幼稚園　一、六〇〇円
真理学園幼稚園　一五、七一六円
高安寺保育園　五、〇〇〇円
草花保育園　一六、〇〇〇円
三河島幼稚園　五、〇〇〇円
多摩みゆき幼稚園　五八、〇〇二円
本行寺第二伊興幼稚園　五、〇〇〇円
慶元寺幼稚園　二一、五〇〇円
双葉幼稚園　二二、二二三円
ほぜんじ幼稚園　五〇、〇〇〇円
ルンビニー幼稚園　八、一〇〇円
西小松川保育園　一一、五九九円
和敬幼稚園　二九、一〇〇円
是政保育園　一四、九〇〇円
銀の鈴幼稚園　二五、三二六円
明福寺ルンビニー学園　九、九六〇円
宝仙学園幼稚園　二四、二〇〇円
松月院幼稚園　二四、六四八円
練馬和光保育園　二七、五〇〇円
金の峯幼稚園　二五、八三二円

◆神奈川
ばらの幼稚園　五二、二二二円
比企谷幼稚園　九、五九〇円
横浜れんげ幼稚園　七五、四三一円
新羽幼稚園　三〇、〇〇〇円

◆静　岡
暁　幼稚園　五、〇〇〇円

◆愛　知
共和保育園　六、八五二円
花井幼稚園　二八、六七七円
中山保育園　一一、二〇〇円
西別院幼稚園　九、八七〇円
若竹幼稚園　六八、〇〇〇円
剱正幼稚園　三三、〇〇〇円
中田剱正幼稚園　三〇、五〇〇円
瑞雲保育園　五五、五七〇円
大法寺愛児園　五、〇〇〇円
國風第二幼稚園　一〇、〇〇〇円

◆山　梨
上河東保育園　一〇、五五三円
塩部幼稚園　五、〇〇〇円

◆長　野
吉田保育園　一〇、〇〇〇円
甘露保育園　八、八五〇円
パドマ幼稚園　三〇、〇〇〇円
古牧東部保育園　一〇、五三五円
松本光明幼稚園　二〇、〇〇〇円
古里中央幼稚園　一〇、〇〇〇円
若草幼稚園　一〇、四二一円

◆福　井
小鳩幼稚園　一一、五三〇円

◆三　重
三重保育院　一〇、〇九〇円
浜田保育園　一〇、〇〇〇円
長太の浦保育園　一二、〇〇〇円
第二長太の浦保育園　一二、〇〇〇円
高田保育園　二〇、〇〇〇円
若葉保育園　一二、四九〇円

◆京　都
だん王保育園　四五、〇〇〇円
だん王夜間保育園　二五、〇〇〇円

山科幼稚園　一九、七六五円
洛西花園幼稚園　一四、九〇〇円
百万遍保育園　一一、八二五円
むらさき幼稚園　二五、〇〇〇円
大徳寺保育園　五七、五〇〇円
光明幼稚園　二〇、〇〇〇円
東山幼稚園　一〇四、三五一円
大井保育園・千代川保育園　一三、三〇〇円
若竹保育園　一〇、〇〇〇円
永観堂幼稚園　二〇、〇〇〇円
隨林寺保育園　二四、六七〇円
伏見幼児園　三、二二九円
明　幼稚園　二〇、一〇〇円
御室幼稚園　一〇、九〇〇円
松尾幼稚園　六七、〇六八円
慧日幼稚園　四一、二〇〇円
桃嶺保育園　一四、〇〇〇円
寺西幼稚園　九、二九〇円
西念寺保育園　四九、三〇五円
ときわ幼稚園　二七、四六六円
西京極幼稚園　一三三、四四四円
光　保育園　一四、二八〇円
嵯峨幼稚園　三一、四〇〇円
大谷保育園　二〇、〇〇〇円
佛教大学付属幼稚園　九、三三四円

◆大　阪

とりかい保育園　一〇、〇〇〇円
常照寺隣保館保育園　八、六〇四円
りんでん幼稚園　五一、七四三円
光源寺幼稚園　一〇、〇〇〇円

◆奈　良

慈光保育園　八、〇〇〇円

◆和歌山

御坊幼稚園　一八、四〇〇円

◆兵　庫

青葉保育園　一八、一五〇円
大池保育園　二七、一一一円
ルンビニー愛児園　四、八五五円
道場保育園　四〇、〇〇〇円
宝地院保育園　二〇、〇〇〇円
日光保育園　二〇、〇〇〇円

◆岡　山

牛窓ルンビニ保育園　一六、八〇〇円
御国幼稚園　三五、〇〇〇円

◆広　島

みのり幼稚園　六、一〇〇円
大心保育園　一〇、〇〇〇円
宝徳幼稚園　七、一〇〇円
吉島幼稚園　一二、九二〇円

◆山　口

みすゞ保育園　一〇、〇〇〇円

◆香　川

いろは保育園　二一、四三九円
三井保育所　五、〇〇〇円
すみれ保育園　一〇、〇〇〇円
白方保育所　二〇、〇〇〇円

◆福　岡

若葉保育所　一〇、〇〇〇円
明願寺幼稚園　八、五〇〇円

◆佐　賀

鏡　保育園　一〇、一五七円
鳥栖ルンビニ幼稚園　一一、二〇〇円

協賛金合計　三、五二四、一九二円

平成24年度 第80回 日仏保夏期仏教保育講習会

於：増上寺 三縁ホール

7月23日（月）

9：00	受　付
9：30～9：50	吉水 知草　先生（歌唱指導）
9：50～10：20	開 講 式
10：20～10：50	関岡 俊二　先生（仏教保育の話）
11：00～12：00	清水 博雅　先生（仏教の話）
12：00～13：00	昼　食
13：00～14：20	吉岡 棟憲　先生（被災地より）
14：30～16：00	西本 鶏介　先生（絵本）

7月24日（火）

9：00	受　付
9：10～9：20	オリエンテーション
9：20～10：40	堪山 泰学　先生（曹洞宗の保育）
10：50～12：10	山岡 ゆう子　先生（リトミック）
12：10～13：00	昼　食
13：00～14：30	佐藤 良純　先生 多田 証子　先生（菩提樹学園の保育）
14：40～15：50	村松 康行　先生（放射能）
15：50～16：00	閉 講 式

花まつり

（敬称略）

あずま幼稚園
学・西願寺学園　日仏保理事　園長　丹羽　義昭
〒340・0032　埼玉県草加市遊馬町430　TEL 048・925・1741

是政保育園
宗・西蔵院　園理事長　園長　榎本　隆乗　榎本　崇子
〒183・0014　東京都府中市是政3・6　TEL 042・361・7452

明昭幼稚園
園長　関口　準
〒124・0011　東京都葛飾区四つ木1・41・1　TEL 03・3693・2636

日野わかくさ幼稚園
学・清谷学園　日仏保運営審議委員　園理事長　清水　博雅
〒191・0034　東京都日野市落川943　TEL 042・591・1688

共生保育園
日仏保運営審議委員　園長　古屋　道明
〒111・0023　東京都台東区橋場1・10・11　TEL 03・3873・1369

高安寺保育園
宗・高安寺　園長　小澤　宏
〒183・0021　東京都府中市片町2・4・1　TEL 042・364・7651

光明幼稚園
名誉園長　安井　昭雄
〒144・0051　東京都大田区西蒲田4・29・17　TEL 03・3753・0417

寿福寺幼稚園
学・寿福寺学園　日仏保運営審議委員　園長　高山　久照
〒179・0074　東京都練馬区春日町3・2・22　TEL 03・3998・2162

松月院幼稚園
園長　仲井　哲應
〒175・0092　東京都板橋区赤塚8・4・9　TEL 03・3930・9500

光徳保育園
日仏保運営審議委員　園長　秋山　秀阿
〒132・0035　東京都江戸川区平井6・53・7　TEL 03・3618・0511

伊勢原ひかり幼稚園
園長　佐伯　崇興
〒259・1133　神奈川県伊勢原市東大竹1377　TEL 0463・92・8882

つわぶき園
社会福祉法人　園長　北川多嘉子
〒615・0882　京都市右京区西京極葛野町4　TEL 075・313・3663

帯広幼稚園
学・帯広竜谷学園　園理事長　園長　本川　道法　谷内　敏
〒080・2471　帯広市西21条南3丁目22番地の2　TEL 0155・35・7122

月隈保育園
社会福祉法人　園長　園井　紀子
〒812・0862　福岡市博多区立花寺2・12・6　TEL 092・504・1519

明徳幼稚園
増上寺　園理事長・園長　蓮池　光洋
〒105・0011　東京都港区芝公園4・7・4　TEL 03・3431・0592

草花保育園
社福・慈光会　園長　山城　清邦
〒197・0802　東京都あきる野市草花3056　TEL 042・558・7811

常徳幼稚園
園長　武田　治恵
〒156・0051　東京都世田谷区宮坂2・10・1　TEL 03・3427・2251

能満寺幼稚園
園長　倉松　和彦
〒320・0065　栃木県宇都宮市駒生町1872・2　TEL 028・652・2222

浦和みひかり幼稚園
園長　鬼頭　宗良
〒336・0034　さいたま市南区内谷3・7・21　TEL 048・862・1863

妙福寺保育園
日仏保運営審議委員　園長　戸田　了達
〒178・0064　東京都練馬区南大泉5・6・47　TEL 03・3922・3368

御国幼稚園
園長　松井　大圓
〒710・0055　岡山県倉敷市阿知3・20・7　TEL 086・425・0143

兵庫県仏教保育協会
会長　近藤　利弘
事務局長　黒川　恭眞
〒652・0032　神戸市兵庫区荒田町3・17・1　TEL 078・511・0167

古城幼稚園・若林幼稚園
学・仙台佛教学園　園理事長　金山　道雄
〒984・0816　仙台市若林区河原町2・2・7　TEL 022・222・8480

筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部
学長　若原　道昭
〒818・0192　福岡県太宰府市石坂2・12・1　TEL 092・925・3511

大巌寺幼稚園・慈光保育園
大巌寺文化苑　苑主　長谷川匡俊
〒260・0812　千葉市中央区大巌寺町180・1　TEL 043・263・7965

神田寺幼稚園・真理学園幼稚園
日仏保運営審議委員　園長　友松　浩志
〒101・0021　東京都千代田区外神田3・4・10　TEL 03・3251・8683

大森幼稚園
園長　菅原　蓉子
〒143・0012　東京都大田区大森東1・16・22　TEL 03・3671・4127

白菊幼稚園
園長　矢花　真隆
〒158・0083　東京都世田谷区奥沢1・18・9　TEL 03・3720・1273

野田生こばと保育園
園長　菅原　諭貴
〒049・2672　北海道二海郡八雲町野田生80　TEL 0137・66・2527

三井保育所
園長　三井　雅弘
〒764・0032　香川県仲多度郡多度津町三井3851・1　TEL 0877・32・4058

杉の子保育園
園長　豊田　千恵
〒274・0814　千葉県船橋市新高根3・8・1　TEL 047・465・2336

足利幼稚園
園理事長・園長　山越　忍隆
〒326・0803　栃木県足利市家富町2188　TEL 0284・21・3475

大森みのり幼稚園
こどものくにチューリップ版編集委員長　園長　藤沢　光徳
〒143・0024　東京都大田区中央4・10・7　TEL 03・3771・8890

永安寺学園幼稚園
日仏保運営審議委員　園長　金子　聡秀
〒157・0077　東京都世田谷区鎌田3・23・19　TEL 03・3709・0400

こまどり幼稚園
園長　永見　俊光
〒164・0013　東京都中野区弥生町4・12・1　TEL 03・5328・2434

初山幼稚園
学・本遠寺学園　園理事長　町田　順文
〒216・0026　川崎市宮前区初山1・2・1　TEL 044・977・5671

もみじ幼稚園
日仏保運営審議委員　園長　妹川　真澄
〒300・0812　茨城県土浦市下高津2・10・22　TEL 029・821・1645

光應寺保育園
園長　古賀　成麿
〒812・0017　福岡市博多区美野島2・6・31　TEL 092・441・9715

むらさき幼稚園
園理事長　家田隆現
園長　田光信
〒617・0814　京都府長岡京市今里5・12・9
TEL 075・953・0505

永興小金塚保育園
園長　須永博子
〒607・8022　京都市山科区四ノ宮小金塚町1・169
TEL 075・591・0102

大徳寺保育園
宗・玉林院　園長　森義昭
〒603・8231　京都市北区紫野大徳寺町74
TEL 075・491・8818

東岡幼稚園
学・陽雲学園　園長　清野英俊
〒983・0841　宮城県仙台市宮城野区原町2・1・66
TEL 022・293・4930

真宗寺保育園
園長　伴田智昭
〒040・0014　北海道函館市中島町32・13
TEL 0138・51・3840

書写保育園
社福・道心認定こども園　園長　永井快俊
〒671・2201　兵庫県姫路市書写2481
TEL 079・266・1080

誕生院保育園
社福・本願寺社会福祉事業センター　園長　伊藤眞
〒601・1417　京都市伏見区日野西大道町西本願寺別堂19
TEL 075・571・0174

祖父江幼稚園
園長　渡辺忍浩
〒495・0001　愛知県稲沢市祖父江町祖父江下沼220
TEL 0587・97・0153

ふくむろ幼稚園
学・西光寺学園　園長　三浦宗格
〒983・0005　宮城県仙台市宮城野区福室5・11・30
TEL 022・258・0026

川越双葉幼稚園
学・園理事長　山本元晴
〒350・0063　埼玉県川越市幸町5・11
TEL 0492・22・0396

明願寺幼稚園
園理事長　花田郁実
〒809・0034　福岡県中間市中間4・8・2
TEL 093・245・0419

光明台幼稚園
園長　浅井るり子
〒594・1111　大阪府和泉市光明台3・6
TEL 0725・56・2661

月映保育園
宗・法龍寺　園長　木本龍道
〒134・0091　東京都江戸川区船堀6・9・30
TEL 03・3689・0340

新小岩幼稚園
園長　千葉優子
〒132・0031　東京都江戸川区松島4・34・2
TEL 03・3651・0963

淑徳短期大学
学長　石上善應
〒174・8631　東京都板橋区前野町6・36・4
TEL 03・3966・7631

日輪学園附属日輪保育園
園理事長　山川良一
〒569・0855　大阪府高槻市牧田町7・58
TEL 072・695・6008

玉泉幼稚園
代表役員　武藤秀樹
〒290・0016　千葉県市原市門前2・220
TEL 0436・43・9557

聖徳大学・聖徳大学短期大学部
学校法人東京聖徳学園理事長
聖徳大学大学院学長
聖徳大学短期大学部学長
学園長　川並弘純
〒271・8555　松戸市岩瀬550
047・365・1111

若栗幼稚園
園長　堪山泰学
〒379・1617　群馬県利根郡みなかみ町湯原985
TEL 0278・72・4120

八王子ひまわり保育園
園理事長　野上良仁
園長　野上浩達
〒193・0944　東京都八王子市館町1629
TEL 042・661・3046

世尊院幼稚園
日仏保運営審議委員長　大澤聖隆
〒166・0001　東京都杉並区阿佐谷北1・26・18
TEL 03・3338・6368

鈴蘭幼稚園
園長　梅田静子
〒158・0093　東京都世田谷区上野毛2・15・15
TEL 03・3704・1881

建中寺幼稚園
園長　村上真瑞
〒461・0003　名古屋市東区筒井1・7・52
TEL 052・935・2172

今泉保育園
日仏保運営審議委員　園長　樋口威道
〒146・0093　東京都大田区矢口2・26・17
TEL 03・3758・0067

とりかい保育園
園長　園田二
〒566・0064　大阪府摂津市鳥飼中1・20・1
TEL 072・654・5094

ルンビニ幼稚園
園長　金子英昭
〒380・0921　長野市栗田465
TEL 026・226・7685

麻布山幼稚園
園理事長　麻布真海
〒106・0046　東京都港区元麻布1・6・21
TEL 03・3453・6710

萩野保育園
園長　長谷川孝範
〒462・0053　名古屋市北区光音寺町2・93
TEL 052・981・9683

若草幼稚園
学・天周学園　園理事長　黒柳祖道
〒381・0043　長野市吉田3・15・4
TEL 026・241・4151

音聞山保育園
園長　大塚あつ子
〒468・0063　名古屋市天白区音聞山1613
TEL 052・832・6455

【お詫びと訂正】本紙前号（4月1日号／No.576）の「花まつり」にご協賛いただいた広告2件に誤りがありました。①松尾幼稚園・日野昭文先生（京都）の肩書きは「園長」ではなく、「主事」でした。②取手保育園・金田進徳先生（茨城）の肩書きは「園長」ではなく、「理事長」でした。ここに謹んでお詫び申し上げ訂正いたします。

日本仏教保育協会編集による出席カードです。
仏教行事を楽しい絵柄で構成しています。

はなまつり、成道会、涅槃会などの仏教行事を、かわいいイラストでファンタジックに表現しています。

出席カード（仏教版）２０１２年度版
税込３９０円（本体価格３７２円）
セットでのご使用がおすすめです！
出席シール（仏教版）２０１２年度版
税込２８０円（本体価格２６７円）

〒113-8611　東京都文京区本駒込6-14-9　電話03(5395)6608　http://www.froebel-kan.co.jp　フレーベル館

「仏教保育精励賞」（対象者）募集!!

「仏教保育精励賞」は、保育の現場において仏教保育に功労のあった保育者を顕彰するもので、隔年ごとに開催する全国仏教保育大会・全体会（式典）で授与します。

この賞は平成14年に設定し、同年開催した第27回全国仏教保育千葉大会（成田山新勝寺）で8名の保育者を顕彰、これまで52名が受賞されています。

今夏開催の「第32回全国仏教保育栃木大会」においても「仏教保育精励賞」の対象となる保育者を募集しています。

＝記＝

対象　保育現場において仏教保育に功労のあった保育者

申請料　2万円

締切　平成24年6月末日

応募方法　申請用紙に必要事項を記入の上、申請料を添え、現金書留にて送付して下さい。申請の際は日仏保事務局にご連絡下さい。申請用紙は送付致します。

応募先・連絡先
公益社団法人 日本仏教保育協会 事務局
〒105-0011
東京都港区芝公園4-7-4　明照会館
TEL 03-3431-7475
FAX 03-3431-1519

すくらんぶる

事務局日誌

4/10　「仏カリ」「仏教保育」編集会議
事務局会議

4/16　こどものくに「チューリップ版」編集会議

編集後記

■新緑・薫風・若葉、五月雨などなど、5月の季語は、どれも自然の優しさと恵みの豊かさを感じさせてくれます。そんな季節に背を向けるように、無免許・居眠り運転による殺傷事件が相次いでいます。民族大移動と言われるこの連休、事故のないことを祈らずにはいられません■子どもの虐待事件も後を絶ちません。2010年に全国の児童相談所に寄せられた虐待の相談件数は5万5千件に及び、昨年は39人が虐待で亡くなっているとか。事件が報道されるたびに、深い怒りを覚えます。しかし、体にできた痣や傷は虐待なのかケガなのか、その判断は容易ではありません■その判断を支援する凄い奴が現れました。産業技術総合研究所が開発したパソコンソフトです。傷の種類や部位を入力すると、不慮の事故か人為によるものかを数字で示すもので、保育所や児童相談所などで導入され始めています■自覚症状のない早期ガンを嗅ぎわける犬が現れたとか。ラブラドルレトリーバーという10歳の雌犬だそうで、子宮ガンなどの患者の尿からほぼ確実に嗅ぎわけたことを、日本医科大学千葉北総病院の研究グループが判別試験で確認したと言います■パソコンや犬が人智を超えた存在になったかと複雑な気がしないでもない…そんな感慨を抱いた朝報ではありました。（O・i）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ　http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 上村映雄　編集人 高山久照
毎月1回1日発行（1部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま

¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ：W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33×D5.5×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-21
電話 〇三-三九四五-六六一一
ファクス 〇三-三九四五-六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/

仏教保育

6 JUNE

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

第1回理事会／第1回運営審議委員会／第1回社員総会／平成24年度第1回仏教保育研修会

「公益社団法人移行、決意新たに理念遂行！」

平成24年5月15日／大本山増上寺・三縁ホール

公益社団法人日本仏教保育協会（上村映雄理事長）は5月15日、大本山増上寺三縁ホールにおいて公益社団法人移行後、初めての表記各会を開催。上程議案は何れも満場一致で承認されました。また、隣接のザ・プリンスパークタワー東京『陽明殿』を会場に、公益社団法人設立を記念して祝賀会を併催。祝賀会会場には当協会名誉会長・八木季生台下をはじめ、増上寺・曹洞宗宗務庁・日蓮宗宗務院等のご本山を代表する方々、仏教保育振興国会議員懇話会の先生方、更に各宗派保連、全日本仏教会、国際仏教興隆協会等の関係団体並びに日仏保の講師、養成機関の先生方など、蒼々・多彩なゲストに加え100余名の参加を得て盛大に開催されました。

柏女先生

理事会

上村理事長の主唱で三帰依文斉唱のあと、同理事長から「気にかかる制度の方は混沌としているようですが、私たちは仏教保育の理念を揺るぎない意志で遂行していかなければなりません。公益社団法人への移行についてもご案内の通り、皆さま方のご協力を得て4月1日を以って認可を受けることができました。新たな日仏保のスタートと心得て、皆さまと共に更なる精進をしてまいりたいと思います」と挨拶がありました。

議案の上程に先立って高山事務局長から公益社団法人移行への経緯、それに伴う定款の主な変更、会の名称並びに会の進行手順等について説明がありました。

議案は、①平成23年度事業報告 ②平成23年度収支決算・監査報告 ③その他、の三議案。

それぞれ所管する担当常任理事から上程された議案、①②はすべて全員の挙手によって承認されました。③その他は、栃木での全国大会の呼びかけ、インド菩提樹学園と6大仏跡参拝ツアーの案内がありました。

運営審議委員会

会に先立って、高山事務局長より公益社団法人移行までの経緯、会の名称並びに定款変更のポイント、会の進行手順等の説明がありました。従来の評議員会は廃止され、新たに運営審議委員会を設けたこと、定足数という概念がなくなったこと、議案の賛否は挙手を原則とすること等々の詳細が示されました。

また、運営審議委員会の議長は原則として選考委員に諮って選任するが、理事会議長が兼務できることにもなっていること、理事の定数（30名を予定）などについても、現時点では各位のご意見を伺った上で次回に反映したい旨の了承を要請しました。

本会では出席者の総意により、理事会議長が運営審議委員会議長を兼務する形で会を進行することになりました。

議案は、①平成23年度事業報告 ②平成23年度収支決算・監

査報告 ③その他、の三議案。

それぞれ所管する担当常任理事からの上程議案①②は全員の挙手により承認されました。③については今夏栃木で開催する全国大会への呼びかけ、25年1月に予定のインド菩提樹学園訪問と6大仏跡参拝ツアーの案内がありました。

社員総会

公益社団法人移行後初の社員総会で稍緊張感も感じられましたが、高山事務局長から定款変更の主たる条文の説明並びに社員総会の手続きについて詳細が告げられ定款変更は拍手で承認されました。そして、定款第26条に基づいて上村理事長が議長の任に就き、議案の審議が行われました。

議案は、①平成23年度事業報告 ②平成23年度収支決算・監査報告 ③平成24年度事業計画(案) ④平成24年度収支予算(案) ⑤その他。

いずれも満場の拍手で承認されました。

小憩のあと、柏女霊峰先生による研修会を開催。テーマ「子ども・子育て新システムと保育～最新の動向を踏まえて～」。注視されているテーマだけに大きくタイムオーバーするほど質疑応答が交わされました(要旨は次号で報告)。

華麗にして荘厳「公益社団法人移行設立記念祝賀会」

～多彩なゲストから祝福と激励のメッセージ～

国会議員の先生方

祝賀会会場のザ・プリンスパークタワー東京『陽明殿』の正面にはライトに照らされた「公益社団法人 日本仏教保育協会 移行設立記念祝賀会」の文字が燦然と輝き、舞台では、二人の女性演奏家によって二胡(胡弓)と琵琶が静かに奏でられていました。

大本山増上寺、曹洞宗宗務庁、日蓮宗宗務院の本山関係の方々、仏教保育振興国会議員懇話会の先生方、全日本仏教会、国際仏教興隆協会、全日本仏教婦人連盟等々を代表する方々、更に各宗派保連の代表、日仏保講師団から養成機関の先生など、多彩なゲスト100余名が見守る中、高山事務局長の開会を告げる言葉とともに日仏保名誉会長・八木季生台下が登壇。公益社団法人設立のお祝いの言葉を述べられてから「仏教保育が人間形成に大きく寄与することを公の機関が認めた証しでもある。これからも精進され、子どもたちの健全な育成のために尽くして頂きたい」と、激励の言葉を頂きました。

続いて、上村理事長は「公益法人関連三法が国会で可決されて以来、当協会では将来検討委員会を設置し、公益化を志向して協議を重ねてきました。お陰様でこの4月1日を以って内閣府の認定を受け、同日より公益社団法人日本仏教保育協会としてスタートしました。昭和4年に発足以来『仏教保育振興』に尽くしてこられた先人たちも、公益社団法人移行に賛意を示して頂いていると思います。これからも、皆さま方のご支援・ご協力を仰ぎながら仏教保育の推進・拡充に力を入れていく所存です」と決意を披露しました。

また、国会議員懇話会会長・鳩山邦夫衆議院議員からは「公益社団法人の認定を受けられたということは、幼児からの世間のルールなど規範意識を培うためには『仏教保育』が必要不可欠であることを認めたことでもあります。懇話会としても、会を挙げて仏教保育の振興に尽くしていきたいと思います」と大きな声で述べられ、会場はその声に勝る大拍手で応えました。

ここで理事長から、鶴見大学名誉教授・松樹素道先生より協会へご寄付頂いたことを報告し謝意が述べられました。引き続き同先生の音頭で、威勢よく祝杯の乾杯が行われ、会は愈々佳境に入っていきました。

この後、恒例の「仏教保育功労賞」の授与が八木季生名誉会長から、小林昭彦先生と神谷周道先生に贈られました(別掲)。

舞台には次々とお祝いを述べられる方々でにぎわい、料理を楽しみながら宴は続きます。日仏保の祝賀会に相応しい華麗にして穏やか、そして荘厳な漂いの中で幕を下ろしました。

全仏だより

「事業内容等についてのお尋ね」文書について

最近、中国・四国地方のご寺院に対して、税務署から標記の文書が送られてきたとの報告を承りました。文書には「源泉所得税の納付並びに法人税及び消費税の申告の適否の確認のため、貴法人の最近の事業内容等を承知いたしたいと思いますので、ご多忙のところお手数ですが、別紙の事項についてご記入の上、○月○日までにご回答下さるようお願いいたします。」と明記されております。

この件の対応につきまして、本会顧問弁護士の長谷川正浩先生にご見解を伺ったところ「回答書の掲載形式には、檀家数や檀家総代の住所氏名、お布施・永代供養料・賽銭の金額等も記載する欄が設けられており、さらには期限を切って回答するよう記載されています。このような文書は法定外文書と呼ばれるもので、税法上の規定に基づいて納税者が提出しなければならない法定文書ではありません。」とのコメントを承りました。

また長谷川先生は「法律の根拠を欠く文書は、提出しなくても、期限を守らなくても、提出しても、不利益を受けたり利益を受けたりするものではありません。しかし今回の文書はそのことが明らかではありません。これでは受け取った宗教法人が不安を生じるのもやむをえません。また、お布施などの宗教活動に深く踏み込んだこの度の『お尋ね』の文書は、宗教法人法八十四条からいって問題があると思います。……この度の事象に対応するお役目こそ、地域仏教会や宗教連盟など宗教団体組織の仕事ではないでしょうか。勿論、弁護士や税理士の専門家にも参加してもらい、意見を述べてもらうことが大切です。宗教家の守秘義務、個人情報保護法や宗教法人法八十四条から問題がないかどうかチェックしてもらいましょう。」ともご助言をいただきました。

本会加盟団体の各ご寺院におかれましては、十分にご留意いただきたく存じます。

公益財団法人
全日本仏教会
WFB（世界仏教徒連盟）日本センター
〒105-0011
東京都港区芝公園4-7-4　明照会館2F
電話 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260
http://www.jbf.ne.jp/
E-mail info@jbf.ne.jp

平成２３年度　収支計算書

自　平成23年４月１日
至　平成24年３月31日

収入額　206,930,608円
支出額　206,930,608円
残　高　0円

収入の部

（単位　円）

大・中・小科目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A－B)	備　考
基本財産運用収入	95,000	454,562	Δ 359,562	
社団基金利息収入	50,000	223,951	Δ 173,951	元金43,430,000円
菩提樹学園利息収入	40,000	224,725	Δ 184,725	元金32,100,000円
持田基金利息収入	1,000	640	360	元金800,000円
古屋基金利息収入	4,000	5,246	Δ 1,246	元金4,400,000円
入会金収入	20,000	15,000	5,000	３園
会費収入	25,300,000	25,492,000	Δ 192,000	
事業収入				
出版収入	15,810,000	11,987,263	3,822,737	
こどものくに収入	1,530,000	1,308,458	221,542	51,000×2.50×12
ほとけの子収入	5,280,000	4,461,305	818,695	40,000×11×12
仏教保育カリキュラム	9,000,000	6,217,500	2,782,500	購読料 1,500部
刊行物監修	2,248,659	2,166,659	82,000	
こどものくに編集	280,000	280,000	0	
出席カード印税	368,659	368,659	0	フレーベル仏保版出席カード
保育教材ロイヤリティー	1,600,000	1,518,000	82,000	夏の絵本、合掌人形、上製本等
その他編監修料	0	0	0	
受講料収入				
中央講習会受講料	2,265,345	2,235,345	30,000	
社会貢献・国際交流				
生命尊重募金	4,350,000	3,544,192	805,808	
義　援　金	8,000,000	10,915,412	Δ 2,915,412	東日本大震災義援金
補助金収入				
年度・制度対策助成金	4,000,000	3,370,000	630,000	宗派・本山よりの助成金
寄付金収入	550,000	795,000	Δ 245,000	鈴木出版25 保育教材6社30
雑　収　入	7,005,000	5,072,702	1,932,298	
運用利息収入	5,000	14,562	Δ 9,562	
協賛金収入	1,000,000	1,000,000	0	協賛金
広告収入	6,000,000	4,058,140	1,941,860	仏カリ他広告収入
特定預金取崩				
仏保精励引当金				
取崩収入	0	2,000,000	Δ 2,000,000	
特別会計繰入金				
生命尊重募金	22,213,155	0	22,213,155	
義援金	273,550	0	273,550	
前期繰越				
前期繰越金	24,076,071	138,882,473	Δ 114,806,402	
合　計	116,206,780	206,930,608	Δ 90,723,828	

支出の部

大・中・小科目	予算額（A）	決算額（B）	増減（A－B）	備　考
事　業　費				
人　件　費				
臨時雇賃金等	0	0	0	事業のための臨時雇
調査研究費				
研究運営費	0	0	0	
教育研究奨励費	188,094	245,634	Δ 57,540	
教育研究会補助	150,000	150,000	0	東仏保ゼミ補助
古屋・持田賞	0	0	0	全国大会開催年
仏教保育功労賞	38,094	21,294	16,800	賞状、記念品
研究発表指定園	0	0	0	全国大会開催年
仏教保育精励賞	0	74,340	Δ 74,340	全国大会開催年
菩提樹学園充実	800,000	574,712	225,288	
学園視察派遣旅費	600,000	545,000	55,000	旅費補助
同上　資料代	200,000	29,714	170,288	学園おみやげ

大・中・小科目	予算額（A）	決算額（B）	増減（A－B）	備　　考
大会講習会開催費	10,577,777	10.304,515	273,262	
全国大会開催費	7,300,000	7,120,000	180,000	24年度開催支部700、本部30
講習会開催費	2,000,000	1,738,933	261,067	関西地区研修会・夏期講習会、夏期講習会案内印刷
園長・主事研修会	77,777	138,332	Δ 60,555	総会時開催研修会講師料
主任・中堅研修会	200,000	207,250	Δ 7,250	理事評議員会同時開催講師料・案内状印刷
支部講習会補助	1,000,000	1,100,000	Δ 100,000	支部、ブロックで行う講習会補助
刊行・出版費	28,000,000	27,343,573	656,427	
仏教保育出版費	9,000,000	9,000,500	Δ 500	約75万×12
ほとけの子出版費	1,500,000	1,833,211	Δ 333,211	原稿、制作費
紀要出版補助費	500,000	500,000	0	24年度全国大会
月刊仏カリ費	17,000,000	16,009,862	990,138	製作、発送費
各種委員会委託	1,880,000	1,040,000	840,000	
仏カリ編集委員会	200,000	60,000	140,000	
こどものくに編集委員会	280,000	280,000	0	委員会へ
ほとけの子編集委員会	800,000	400,000	400,000	委員会へ
教材開発委員会	600,000	300,000	300,000	委員会へ
助成金支出	3,750,000	3,923,490	Δ 173,490	
支部助成金	2,500,000	2,625,450	Δ 125,450	支部へ会費10%還元
菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費、国際仏教興隆協会へ
社会貢献・国際交流	0	0	0	中科目に変更
各種団体提携費	250,000	298,040	Δ 48,040	宗派保連、保育団体・関西地区連絡協議会
社会貢献・国際交流(生命尊重)	22,500,000	24,093,282	Δ 1,593,282	
菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ
義援金	20,000,000	22,597,705	Δ 2,597,705	東日本大震災義援金1800万
印刷作成費	1,000,000	0	1,000,000	ポスター・ワッペン・写真ニュース等
募金経費	500,000	495,577	4,423	
各種対策費	2,250,000	614,430	1,635,570	
組織強化費	1,000,000	30,000	970,000	支部強化経費、支部事業助成
制度対策費	1,000,000	398,222	601,778	懇話会、顧問弁護士
養成機関連絡費	250,000	186,208	63,792	開催経費
事業雑費	998,430	1,480,192	Δ 481,762	
ホームページ運営費	660,000	671,762	Δ 11,762	
事業雑費	338,430	808,430	Δ 470,000	イメージキャラクター副賞・賞状
管理費				
会議運営費	3,250,000	4,045,099	Δ 795,099	
理事評議員会開催費	2,000,000	2,534,190	Δ 534,190	2回開催交通費、1月開催時懇親会
総会運営費	500,000	870,297	Δ 370,297	全経費より懇親会費収入を差引
支部長会・参務会開催費	500,000	463,151	36,849	将来検討委員会(公益社団法人)
事務局運営費	250,000	177,461	72,539	
給料手当	4,580,000	4,298,645	281,355	
給料・諸手当	3,400,000	3,217,920	182,080	給与＋通勤交通費 非常勤分を省く
賞与	880,000	880,000	0	4ケ月
所定福利費	300,000	200,725	99,275	健保、年金掛金補助、労働保険
役務費	3,550,000	4,042,901	Δ 492,901	
旅費交通費	400,000	787,910	Δ 387,910	交通費
通信運搬費	1,200,000	1,360,480	Δ 160,480	郵券、電話等通信費
印刷製本費	200,000	91,400	108,600	封筒等印刷全般
什器備品費	100,000	0	100,000	事務所備品
消耗品費	200,000	157,043	42,957	文具等
借料損料	450,000	552,218	Δ 102,218	事務機器リース、ｺﾋﾟｰﾗﾝﾆﾝｸﾞｺｽﾄ
租税公課	1,000,000	1,093,850	Δ 93,850	法人税、消費税
事務所費	3,120,000	3,079,197	40,803	
貸借料	2,520,000	2,520,000	0	事務所賃借料 21万／月
光熱水費	600,000	559,197	40,803	光熱水費負担金
諸謝金				
慶弔費	400,000	71,250	328,750	
事務雑費				
管理雑費	500,000	293,215	206,785	
社団基金積増	1,000,000	0	1,000,000	
特定預金支出				
退職給与引当金繰入	600,000	600,977	Δ 977	
予備費	4,804,960	0	4,804,960	
当期収支差額				
差額繰越金	23,457,519	120,879,496	Δ 97,421,977	
合　　計	166,206,780	206,930,608	Δ 90,723,828	

平成23年度 事業報告（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

基本方針の生命尊重の保育確立と心の教育の推進

1．生命尊重の保育推進
2．活力ある日仏保
3．魅力ある日仏保
4．国際交流・社会貢献のできる日仏保

を重点に次の事業を行った。

1 生命尊重の保育推進を図る国民運動の展開

（1）生命尊重の保育推進のための実践、普及活動（募金運動）

昭和58年より始めた「いかせいのち」の募金運動では、日本赤十字社、ユニセフ等に浄財を寄託。協賛園には感謝状・ポスターを配布。園児にはワッペン、保護者には「日仏保協会の活動について」を配布。

平成23年度においては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を受け、被災地および被災加盟園に対しての募金活動、生命尊重募金からの拠出を行った。

（2）財政確立のための振興活動

1．支部及び未組織支部で研修会及び組織強化会議を開催。又、その他のブロックもアプローチを図る。
2．広告・寄付金の増大を図る。

（3）各支部生命尊重の集い等の推進

4月　京都支部「花まつり園児大会」於、京都会館第一ホール
11月　大阪支部「絵画展」於、海遊館
12月　東京支部「釈尊成道を祝う母と子のつどい」於、読売ホール
12月　神奈川支部「成道会の集い」於、ホテル横浜ガーデン
1月　埼玉支部「第27回佛教幼児画展」於、さいたま市文化センター展示室
1月　愛知支部「第44回仏教保育絵画展」於、名古屋市民ギャラリー展示室／こども未来館

（4）生命尊重の保育に関する参考資料の編集刊行

「改訂わかりやすい仏教保育総論」普及促進

（5）仏教保育振興国会議員懇話会へのアプローチ

日仏保の懇話会運営につき議員代表者と連絡協議

2 調査・研究

（1）仏教保育研究会

平成24年8月2日、3日に開催予定の第32回全国仏教保育栃木大会について、開催日程・会場・大会基調及び記念講演・分科会などにつき栃木支部と協議し、大会の準備にあたった。

（2）仏教保育にかかわる調査・研究

1．「支部講習会等特別助成金」制度に基づき、各地区での講習会への助言と、各県より要請された講習会等に本部よりの講師の派遣を行った。
2．本協会編「改訂わかりやすい仏教保育総論」（チャイルド本社刊）は、全国の支部・養成機関でテキストとして活用されている。
3．日仏保・養成機関連絡協議会を2月に開催し、幼保一元化や保育者の資質向上等の状況を踏まえ「仏教保育―求められる保育者像と養成の現状―」をテーマに研究協議を行った。

（3）仏教保育研究所

仏教保育史の資料の蒐集、整理を続行。

（4）仏教教育研究会

仏教保育の理念と実践の研究を行う。仏教保育者・学生等が対象。

3 現職教育

（1）中央講習会

ア 第79回仏教保育夏期講習会

7月22日・23日の両日、東京増上寺三縁ホールにおいて、東京仏教保育協会の運営実施により、全国から約200名の参加を得て開催。炎天寺住職吉野秀彦先生「子どもの言葉―そのちから―」の他、実技を交えての2日間の講習会を終えた。

機関紙23年8月号第568号に掲載

イ 第56回仏教保育関西地区研修会（日仏保近畿地区研修会）

6月11日、ピアザ淡海滋賀県立県民交流センターピアザホールにおいて、近畿地区幼稚園・保育園の保育者多数の参加を得て開催。

機関紙24年1月号第573号に掲載

（2）支部講習会・ゼミナール等の開催促進

1．支部講習会等特別助成金交付制度を適用し、以下の支部に配布。

1．栃木　2．東京　3．福井　4．北海道　5．兵庫　6．香川　7．宮城

2．支部講習会等実施報告

3月25日　東京支部「第46回教諭・保育士研修会」於、東京グランドホテル　約75名参加
4月16日　長野支部「総会記念講演」於、善光寺講堂　95名参加
5月7日　愛知支部「新任教諭・保育者研修会」於、東別院本堂下広間　69名参加
5月7日　香川支部「仏教保育研修会」於、サン・イレブン高松　82名参加
5月21日　三重支部「講演会」於、高田本山宗務院会議室
5月21日　長野支部「新任者研修会」於、若穂幼稚園　20名参加
6月1日　埼玉支部「春季研修会」於、埼佛会館　20名参加
6・7・9・10・1月　東京支部「東仏保ゼミナール」5回開催　於、飯田橋セントラルプラザ他　各52名参加
6月・11月　東京支部「東仏保研究ゼミナール（施設見学）」於、川合保育園、金の峯幼稚園　12名参加
6月11日　栃木支部「教員・保育士研修会」於、恵光幼稚園（宇都宮）
6月11日　栃木支部「総会研修会」於、恵光幼稚園（宇都宮）
6月18日　長野支部「講演会」於、善光寺講堂　100名参加
6月28日・29日　愛知支部「園長視察務研修」於、熊本県内保育施設等　6名参加
7月27日・29日　埼玉支部「夏季宿泊研修会」於、ホテル八田　25名参加
8月20日・21日　北海道支部「北海道仏教保育研修帯広大会」於、浄土真宗本願寺派帯広別院　170名参加
8月29日　大阪支部「夏期研修会」於、津村別院　55名参加
9月10日・11日　京都支部「一泊研修会」於、永観堂　45名参加
9月18日　三重支部「第44回仏教保育高田本山合同参拝」於、高田本山　866名参加
10月21日　愛知支部「絵画展事前研修会」於、梧心寺幼稚園　12名参加
10月13日・14日　栃木支部「園長・設置者研修会」於、鬼怒川温泉あさやホテル
11月29日　愛知支部「園長研修会」於、建中寺幼稚園　9名参加
11月12日　長野支部「新任者研修会」於、吉田保育園　25名参加
11月22日　群馬支部「研修会」於、わかくりこども園　12名参加
12月7日　京都支部「成道会研修会」於、東福寺　91名参加
12月7日　兵庫支部「研修会」於、神戸ラッセルホール　50名参加
1月13日　愛知支部「絵画展講評会」於、お東幼稚園　41名参加
1月14日　長野支部「園内研修のまとめ」於、善光寺講堂　95名参加
2月8日　京都支部「涅槃会研修会」於、東本願寺視聴覚ホール　82名参加
2月22日　香川支部「仏教保育講座」於、サンイレブン高松　45名参加
3月3日　京都支部「定例研修会」於、ラ・キャリエールクッキングスクール　31名参加
3月28日　大阪支部「研修会」於、津村別院　86名参加

（3）第42回　園長研修会

5月18日　於、増上寺・三縁ホール
講師　保育システム研究所代表　吉田正幸先生
テーマ「新システムの動向とこども園構想の行方」　75名参加
機関紙23年9月号第569号に掲載

4 指導者養成

（1）・（2）第41回　園長・副園長・主事

研修会、第40回　主任・中堅研修会
平成24年1月17日　於、増上寺・三縁ホール
講師　学習院大学理学部化学科教授　村松康行先生
テーマ「放射性物質の環境と食品への影響を正しく理解するために」
95名参加
機関紙24年4月号第576号に掲載

(3) 養成機関連絡協議会
平成24年2月23日　於、芝パークホテル　参加養成校6校・7名
機関紙24年4月号第576号に掲載

5　編集・刊行

(1) 機関紙「仏教保育」
月刊、園長・教職員対象
平成23年4月1日発行第564号より平成24年3月1日発行第575号まで、時宜に適した日仏保に関連した事象を取り上げ紙面の充実を図った。
編集委員会は月1回。於、日仏保事務所

(2) 「仏教保育カリキュラム」
月刊、教職員対象
編集会議　月1回　於、日仏保事務所
校正委員会　月1回　於、Fコーポレーション

(3) 「ほとけの子」月刊・保護者対象
仏さまのみ教えを通して、親子共々「心の豊かさ」のある人としての成長を願い編集し、紙面の充実を図る。
編集会議　年6月　於、日仏保事務所

(4) 仏教保育教材の編集・監修
1. 「こどものくに」ひまわり版　月刊　年長児対象
編集会議　年6回開催　於、すずき出版
☆「わたしの記録」卒園児に対して配布
2. 「こどものくに」チューリップ版　月刊　年中児対象
企画会議　年7回　編集会議　年4回開催　於、すずき出版
3. 「こどものくに」たんぽぽ版　月刊　年少児対象
編集会議　年3回開催　於、すずき出版
4. 出席カード
編集会議　年1回開催　於、フレーベル館
5. なつのえほん
編集会議　年2回開催　於、すずき出版
6. ともだちいっぱいうれしいな　新入園児対象
すずき出版
7. その他必要な教材
(5) 「いかせいのち」日仏保写真ニュース（未刊行）

6　関係団体との連絡提携

(1) 仏教各団体・他宗教団体との連絡
1. 全日本仏教会、国際仏教興隆協会各団体への役員派遣
2. 日本宗教保育事業協議会（仏教、神道、キリスト教）の振興

(2) 各私立、各宗保育団体との連絡
1. 各私立全国研修会及び会議へ理事長、副理事長、本部の中心メンバーが参加連絡
2. 各宗保連の研修会、全国講習会にも同様に出席、連絡を図る

(3) 本部・支部の連絡強化及び地方組織（未組織支部）の育成指導
1. 支部講習会等特別助成金交付の実施
2. 支部の会議及び事業に本部より訪問し連絡を強化

(4) 保育関係企業との連絡
1. 各企業継続事業の推進及び新規事業も模索（すずき出版、宣協社、フレーベル館、チャイルド社、学習研究社、世界文化社、若越、エフコーポレーション）
2. 新年懇親会にて懇談

(5) オメップ（OMEP）
研究部を中心にオメップに協力

7　保育制度対策の活動強化

(1) 幼保加盟施設の運営・経営の調査
幼保加盟施設の各地域の現状分析

(2) 保育制度研究会（全国制度対策委員会）

(3) 仏教保育振興国会議員懇話会との連絡強化
平成24年1月17日、ザ・プリンスパークタワー東京にて新年懇親会を開催
機関紙24年2月号第574号に掲載

8　国際交流、社会貢献の実践

(1) 国際交流等と社会貢献（災害救援を含む）を積極的に推進

(2) インド菩提樹学園の育成協力
ア　菩提樹学園訪問・光明施療院とアジャンタ・エローラ・ムンバイを訪ねる旅参拝団派遣。12月5日～12日。
総勢8名。
機関紙24年2月号第574号に掲載
菩提樹学園運営委員会の開催
於、日仏保事務所
機関紙23年12月号第572号に掲載
イ　運営基金の管理運用
ウ　運営及び育成指導への協力

(3) 義援金支援
東日本大震災被災地及び被災園

9　奨励事業

(1) 日本仏教保育協会賞
本年度養成機関卒業生
平成23年度　29名（養成校32校中26校より申請）

(2) 仏教保育功労賞
仏教保育実践に功労のあった個人で適任者がいる年度に総会席上にて授与
第17回受賞者2名　第43回総会席上にて表彰
花田郁実先生（福岡、浄土宗、明顕寺幼稚園）
笠　信暁先生（福岡、浄土真宗本願寺派、筑紫女学園大学短期大学部付属幼稚園）

10　その他必要な事業

(1) 会員加入促進運動
ブロック別に重点地域を決め、促進する

(2) 奉祝花まつり・暑中見舞広告・成道会等の協賛広告
協賛広告を例年通り継続

(3) 各種出版物・教材販売の促進

(4) ホームページの充実

(5) ポップアップ絵本「おしゃかさま」（すずき出版）刊行

(6) 「仏教行事紙芝居」・「ののさまぬりえ」・「仏教保育のためのハンドブック」・「仏教行事パネルシアター」（すずき出版）、「改訂わかりやすい仏教保育総論」（チャイルド本社）、「仏教保育なるほど12か月」（ひかりのくに）普及促進

(7) 東日本大震災義援金の勧募及び被災地園訪問と義援金渡し等（5月10日、7月26・27日、11月25日、12月17日）、被災園年会費免除措置

(8) 公益法人移行手続き
平成24年4月1日の公益法人移行に向け、将来検討委員会を開催し、定款変更等についての検討を行った。それらをふまえ、内閣府に平成23年12月8日に電子申請を行い、平成24年3月26日に認定を受けた。

◇　会議

(1) 5月12日　平成23年度業務・経理監査会　於、日仏保事務所

(2) 5月18日　第107回理事会・第101回評議員会・第42回通常総会開催
於、増上寺・三縁ホール
機関紙23年6月号第566号に掲載

(3) 1月17日　第108回理事会・第102回評議員会開催　於、増上寺・三縁ホール
機関紙24年2月号第574号に掲載

(4) 常任理事会・事務局会議
年14回開催　於、日仏保事務所

(5) 将来検討委員会において公益法人化について検討（定款変更、諸規定整備、等）
第4回、第5回、第6回　於、増上寺会館

以上

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

「仏教保育功労賞」受賞の栄誉に！

「仏教保育功労賞」は、記念祝賀会の席上において、日仏保名誉会長・八木季生台下よりお二人の先生に贈られました。

小林昭彦先生（言問幼稚園・東京）

中央大学国文科卒業後、大正大学大学院に進み天台学を学ぶ。昭和40（1965）年4月より言問幼稚園に勤務。主事を経て、昭和57（1982）年に園長就任。平成23（2011）年3月を以って後進に託し、園長を退任する。

僧職に在っては、東京教区第一部主事、教区会議員等の役職を歴任、天台宗振興並びに天台保育の拡充に尽くし、天台宗大僧正位を補任さる。自園及び地域の幼児教育発展に尽力する傍ら、日本仏教保育協会の理事・副理事長・参務等の要職を務め、仏教保育の振興に尽くした功績は大きい。

神谷周道先生（港北学園保育所・大阪）

昭和35（1960）年、京都佛教大学文学部卒業後、宗教法人専修寺住職となり、専修学園（現・港北学園保育所）の運営に携わる。昭和43（1968）年に財団法人多善会港北学園保育所園長に就任し、その運営に尽くす。

大阪市民生員・児童委員連盟副会長、大阪・此花区保護司として長年活動。寺院関係（浄土宗）では大阪市仏教会社会福祉委員長、同会全国青少年教化協議会委員並びに此花区仏教会会長として青少年育成に尽くす。

日本仏教保育協会参務として、仏教保育の充実・発展に貢献し、その功は多大。

事務局日誌

5／8　「仏カリ」「仏教保育」編集会議
　　事務局会議
5／9　「ほとけの子」編集会議
　　「理事会」「運営審議委員会」「社員総会」
5／15　公益社団法人移行設立記念祝賀会
　　（ザ・プリンスパークタワー東京）

編集後記

■茨城県、栃木県に跨って起こった竜巻では、甚大な被害の様子が伝えられました。被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。ここのところ天候が安定せず、天候の急変により、落ち着かない日々が続いております■さて先日、東北歴史博物館学芸員である政次浩先生のお話を拝聴する機会がありました。その中で、先生は繰り返し「この時期に東北についてのお話をする機会を与えて下さったことに感謝します」と述べておられました。自らも被災し、且つ、1年以上経った現在でも文化財の復興にまでなかなか力が及ばない現状がありながら、感謝の気持ちを持つということは、日々情報が溢れている中で、東北に関する話題も少なくなり、段々と忘れられてしまいがちになりそうです。ともすれば、取り残された感覚を持ってしまいそうになる、という切実な思いがあるのだと、深く考えさせられました■同様の事は、阪神大震災から1年ほど経って、被災された方にお話を伺った時にも聞かれました。しかし、ようやく文化財の保存や修復にまで人々の関心が向けられるようになってきたことを感謝する、その気持ちこそが仏教保育の目指すものではないでしょうか。（小林）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 上村映雄　編集人 高山久照
毎月1回1日発行（1部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ：W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33×D5.5×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-21
電話 〇三-三九四五-六六一二
ファクス 〇三-三九四五-六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/

仏教保育

7 JULY

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

「第32回全国仏教保育栃木大会」開催迫る！

大会テーマ

「未来はこども」
～いま問い直される幸せとは～

日　　程　平成24年8月2日(木)・3日(金)
会　　場　鬼怒川温泉「あさやホテル」(全体会・分科会・懇親会)

基調講演

乙武 洋匡 氏
テーマ「みんなちがって、みんないい」

新沢 としひこ 氏
テーマ「こころ　はればれ」

この夏、栃木で学び 栃木を楽しもう！

隔年ごとに開催する全国仏教保育大会は昭和25年の山梨大会を振り出しに、京都、広島、神奈川とリレーされ、北は北海道から南は九州まで、文字通り全国を巡りながら「生命尊重の保育実践」を推進してきました。そして今回で32回を数えます。栃木での開催は昭和52年の第15回大会に次いで二度目の開催となります。

今大会は、国難とも言える東日本大震災以来最初の開催でもあります。想像を絶する打撃と多大の犠牲者を生じましたが、これを契機として「いのちとは」「幸せとは」を改めて考え、見つめ直そうという意識が高まってきました。こうした意識の芽生えを「どう受け止め」「どう生かすか」ということが大地震・大津波で消えて逝った多くの霊に応える私たちの使命だと思います。

そこで、今大会では「幸せとは何か」を問い直し、「受けがたき〝いのち〟」を受けた子どもたちと共に「いのちの尊さ」「いのちを生かす幸せ」を考え、〝いのち〟が輝きあう「保育の実践」を目指したいと思います。

豊富な湯量と自然美に囲まれた鬼怒川温泉で学び、世界遺産の地「日光」をはじめとする名所・旧跡を巡り、栃木を楽しんでほしいと思います。

たくさんの先生方のご参加を心からお待ちしています。

鬼怒川ライン下り

神苑内・縁結びの笹

あさやホテル　空中園庭露天風呂

東武ワールドスクウェア

各宗派「夏期保育大会スケジュール」

研修会・講習会（開催順）

臨済宗妙心寺派

日　程　平成24年7月25日（水）～7月27日（金）
会　場　妙心寺
テーマ「大切な時間をいっしょに」
講　師
中西玄禮師（永観堂法主）
京都市動物園学芸員・坂本英房氏　他
＊現地の先生方による「東日本大震災シンポジウム」

真言宗智山派

日　程　平成24年7月26日（木）7月27日（金）
会　場　総本山智積院（大会）
リーガロイヤルホテル京都（式典）
テーマ「〝キラッ〟と光る保育者とは～保育のスキルアップを目指して～」
講　師
米谷美和子（大阪府幼稚園等新規採用教員研修指導員）
※26日は智山保育連合会結成50周年式典、27日は第50回智山保育大会を行います。

日蓮宗

日　程　平成24年7月28日（土）～7月29日（日）
会　場　ホテルオークラJR ハウステンボス
テーマ「慈悲のこころ」～だきしめよう！未来を担う小さないのち～
【記念講演】
1「食と言葉の力で子どもを元気に」
福田泰三先生（島原市口之津小学校教諭）
2「独り語り日蓮上人御伝記（由比ケ浜）／落語」
立川志遊師匠（落語家）
【晨朝法話】
「子どもの声は魔を払う～仏と神と人を結ぶ～」
岩永泰賢上人（島原市護国寺住職）他

曹洞宗

日　程　平成24年7月30日（月）～8月1日（水）
会　場　大本山総持寺
テーマ「第59回保育研修大会」
基調講演
講師　堪山泰学師
講座「散華舞曲の指導」
講師　田中良江先生
講座「放射線の話」
講師　川本忠文先生　他

真宗大谷派

1　仏教保育大学講座
目　的「日々の保育の課題と向き合い、自分を見つめ、自らの人生に目覚めていくこと」
日　程　平成24年8月1日（水）～8月4日（土）
会　場　西本願寺宗務所・龍谷大学大宮学舎・ホテル洛兆
講　師　鷲田清一先生（大阪大学名誉教授・大谷大学教授）他
2　保育心理養成講座
目　的「子どもたちや、子育て中の保護者のこころの問題に取り組むための専門知識と実践の技術を身につける」
日　程　平成24年8月4日（土）～8月5日（日）
会　場　求道会館（東京都）
講　師　牧野桂一先生　他
日　程　平成24年8月12日（土）
会　場　同朋大学（東京都）
講　師　譲　西賢先生　他
日　程　平成24年8月22日（水）～8月26日（日）
会　場　大谷大学・真宗大谷派宗務所（京都市）
講　師　山田真理子先生　他

浄土宗

日　程　平成24年8月18日（土）～8月19日（日）
会　場　静岡グランドホテル中島屋
テーマ「明るく豊かに健やかに～絵本を通して～」
講　師
宮西達也先生（絵本作家）
＊「あそびうたセミナー」
平山らーめん先生　たかはしあきら先生
＊「パネルシアターの実演研修」古宇田亮順先生

浄土真宗本願寺派

日　程　平成24年8月18日（土）8月20日（月）
会　場　本願寺聞法会館
テーマ「第50回まことの保育講座」～すべてが、わたしを生かしている　つながり、縁起～
講　師　高尾忠男師（元福岡県立久留米筑水高校教諭）

真言宗豊山派

日　程　平成24年8月24日（金）
会　場　真言宗豊山派宗務所大講堂他
テーマ「仏教講話」
講　師
露の団姫（つゆのまるこ）さん（落語家）「こころはれば れ」新沢としひこさん（シンガーソングライター）他

天台宗

日　程　平成24年8月29日（水）～8月30日（木）
会　場　浅草「浅草寺」
テーマ「天台保育を推進しよう」
講　師　未定（交渉中）

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

ＢＤＫ 被災保育施設支援金 要綱

多くの尊い命と平穏な生活を一瞬のうちに奪い去った東日本大震災から１年以上経ちましたが、復興の足取りは遅く、いまだ被災された多くの方々が仮設住宅などで不便な生活を強いられています。

このような現状の中、被災した地域の子ども達もまた心身ともに大変厳しい環境に置かれています。将来を担う子ども達の心身の回復と豊かな育成を願い、仏教精神に基づく保育を推進している保育施設（保育園、幼稚園等）に対して支援金を寄附致します。

１．支援対象
仏教精神に基づき運営され、小学校入学までの園児の受け入れをした／している／する予定のある保育施設（保育園、幼稚園等）

２．支援対象条件（Ａ，Ｂ，Ｃのいずれかに該当する施設）
Ａ．東日本大震災で施設や設備が被災した保育施設。
Ｂ．被災園児の受入れ、精神的・物理的支援を過去にした保育施設。
Ｃ．被災園児の受入れ、精神的・物理的支援を現在している又はこれから被災園児支援を行うことが確実な保育施設。

３．支援金
１法人あたり上限30万円の支援金を寄附致します。支援金額は、被災保育施設支援金審査委員会にて申請施設の活動状況を公正に審査して決議されます。

４．申請
１）申請書類は、(財)仏教伝道協会のホームページからダウンロードして頂くか、(財)仏教伝道協会へ直接お申し込み下さい。
２）該当する支援対象条件Ａ，Ｂ，Ｃに合わせた協会所定の申請用紙に、被災報告書、支援報告書、支援活動計画書等、必要情報を記載し、(財)仏教伝道協会へ郵送して下さい。
※FAX、Eメール不可

５．申請期間
2012年７月１日から2012年８月31日まで（2012年８月31日消印有効）

６．審査、決定及び通知
被災保育施設支援金審査委員会で公正に審議し、2012年９月30日までに決定し、該当施設に報告致します。

本支援金の詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

〒108－0014　東京都港区芝４－３－14
財団法人　仏教伝道協会内
ＢＤＫ被災保育施設支援金　担当

Tel：03－3455－5851　Fax：03－3798－2758
URL:http://www.bdk.or.jp

日本仏教保育協会編集による出席カードです。
仏教行事を楽しい絵柄で構成しています。

はなまつり、成道会、涅槃会などの仏教行事を、かわいいイラストでファンタジックに表現しています。

出席カード（仏教版）２０１２年度版
税込３９０円（本体価格３７２円）
セットでのご使用がおすすめです！
出席シール（仏教版）２０１２年度版
税込２８０円（本体価格２６７円）

〒113-8611　東京都文京区本駒込6-14-9　電話03(5395)6608　http://www.froebel-kan.co.jp　フレーベル館

平成24年度　収支予算書

自　平成24年４月１日
至　平成25年３月31日

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引控除	会 計
	公１	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部					
１．経常増減の部					
(1)経常収益					
基本財産運用益	0	0	0	0	0
基本財産利息収入	0	0			0
特定資産運用益	95,000	95,000	0	0	95,000
特定資産利息収入	95,000	95,000	0	0	95,000
受取入会金	10,000	10,000	0	0	10,000
入会金収入	10,000	10,000			10,000
受取会費	12,650,000	12,650,000	12,650,000	0	25,300,000
会費収入	12,650,000	12,650,000	12,650,000		25,300,000
事業収益	29,390,000	29,390,000	0	0	29,390,000
出版収入	15,810,000	15,810,000			15,810,000
刊行物監修収入	2,230,000	2,230,000			2,230,000
受講料収入	2,000,000	2,000,000			2,000,000
生命尊重募金収入	4,350,000	4,350,000			4,350,000
義援金収入	5,000,000	5,000,000			5,000,000
受取補助金等	4,000,000	4,000,000	0	0	4,000,000
助成金収入	4,000,000	4,000,000			4,000,000
受取負担金	0	0	0	0	0
中科目別記載		0			0
受取寄付金	550,000	550,000	0	0	550,000
寄付金収入	550,000	550,000			550,000
雑収益	8,605,000	8,605,000	0	0	8,605,000
運用利息収入	5,000	5,000			5,000
協賛金収入	1,000,000	1,000,000			1,000,000
広告収入	6,000,000	6,000,000			6,000,000
その他の雑収入	1,600,000	1,600,000			1,600,000
経常収益計	**55,300,000**	**55,300,000**	**12,650,000**	**0**	**67,950,000**
(2)経常費用					
事業費	51,130,000	51,130,000		0	51,130,000
給料手当	0	0			0
臨時雇賃金	0	0			0
退職給付費用	0	0			0
福利厚生費	0	0			0
旅費交通費	850,000	850,000			850,000
通信運搬費	600,000	600,000			600,000
減価償却費	0	0			0
消耗什器備品費	0	0			0
消耗品費	850,000	850,000			850,000
修繕費	0	0			0
印刷製本費	28,750,000	28,750,000			28,750,000
出版物費	350,000	350,000			350,000

科　　目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引控除	会 計
	公 1	小 計			
光熱水費		0			0
賃借料		0			0
保険料	0	0			0
諸会費	600, 000	600, 000			600, 000
会議費	1, 000, 000	1, 000, 000			1, 000, 000
諸謝金	1, 250, 000	1, 250, 000			1, 250, 000
租税公課		0			0
支払負担金		0			0
支払助成金	8, 850, 000	8, 850, 000			8, 850, 000
支払寄付金	6, 000, 000	6, 000, 000			6, 000, 000
受託費	1, 980, 000	1, 980, 000			1, 980, 000
有価証券運用損	0	0			0
雑費	50, 000	50, 000			50, 000
管理費			17, 940, 000	0	17, 940, 000
役員報酬			0		0
給料手当			4, 700, 000		4, 700, 000
退職給付費用			0		0
福利厚生費			0		0
会議費			4, 150, 000		4, 150, 000
旅費交通費			1, 800, 000		1, 800, 000
通信運搬費			1, 200, 000		1, 200, 000
減価償却費			0		0
消耗什器備品費			100, 000		100, 000
消耗品費			200, 000		200, 000
修繕費			0		0
印刷製本費			500, 000		500, 000
受託費			500, 000		500, 000
光熱水料費			600, 000		600, 000
賃借料			2, 790, 000		2, 790, 000
保険料			0		0
諸謝金			400, 000		400, 000
租税公課			1, 000, 000		1, 000, 000
支払負担金			0		0
支払寄付金			0		0
支払利息			0		0
有価証券運用損			0		0
雑費			0		0
経常費用計	**51, 130, 000**	**51, 130, 000**	**17, 940, 000**	**0**	**69, 070, 000**
当期経常増減額	4, 170, 000	4, 170, 000	△ 5, 290, 000	0	△ 1, 120, 000
2．経常外増減の部					
(1)経常外収益					
中科目別記載		0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2)経常外費用					
中科目別記載		0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額		0			0
当期一般正味財産増減額	4, 170, 000	4, 170, 000	△ 5, 290, 000	0	△ 1, 120, 000

印度山日本寺40周年・菩提樹学園35周年・光明施療院30周年

「インド6大仏跡参拝の旅」へのご案内

平成25年(2013)1月21日(月)～1月29日(火)9日間

平成25年には印度山日本寺40周年、菩提樹学園35周年、光明施療院30周年と、それぞれ節目の年を迎えます。1月23日は、それぞれが迎える周年の記念参拝を執り行います。お釈迦様お悟りの地ブッダガヤにおいて、長年にわたって行われ親しまれてきた幼児教育・福祉事業・地域医療等の活動現場を視察するとともに、お釈迦様の足跡を訪れる旅です。

気候も良くゆったりとした旅程ですので、安心して楽しめます。皆さまのご参加をお待ちしています。

	月日曜	都市名	交通機関	時刻	日程	食事
1	1月 21日 (月)	各地空港発 バンコク着	タイ国際航空 専用バス	午前 午後	成田・関空・中部・福岡空港発、タイ国際航空にてバンコクへ 専用バスにてホテルへ ホテル内レストランにて夕食【結団式】 ※添乗員は成田・関空・中部・福岡空港のいずれかより同行し、バンコクにて合流いたします。(バンコク泊)	朝 × 昼 機 夕 ○
2	1月 22日 (火)	バンコク バンコク発 ガヤ着 ブッダガヤ	 専用バス TG－327 専用バス	 午前 12：10 14：00 午後	ホテルにて朝食 専用バスにて空港へ タイ国際航空にてガヤへ 着後、専用バスにてブッダガヤへ 成道の地ブッダガヤ参拝「大塔、金剛宝座、菩提樹」 ホテルにて夕食(ブッダガヤ泊)	朝 ○ 昼 機 夕 ○
3	1月 23日 (水)	ブッダガヤ	専用バス	終日	ホテルにて朝食 印度山日本寺に於いて記念参拝 ブッダガヤ参拝「尼蓮禅河、スジャータ村」 ホテルにて昼食 ホテルにて夕食(ブッダガヤ泊)	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	1月 24日 (木)	ブッダガヤ ラジギール ナーランダ ヴァイシャリ	専用バス	午前 午後	ホテルにて朝食 専用バスにてラジギールへ かつての王舎城ラジギール参拝「霊鷲山、竹林精舎、ビンビサーラ王の牢獄跡」 ホテルにて日本食の昼食 玄奘も学んだ「ナーランダ仏教大学跡」見学 専用車にてヴァイシャリへ ホテルにて夕食(ヴァイシャリ泊)	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	1月 25日 (金)	ヴァイシャリ ケッサリア クシナガラ	専用バス	朝 午前 午後	ホテルにて朝食 ヴァイシャリ参拝「仏塔跡、アショカ王の石柱」 専用バスにてケッサリアへ お弁当の昼食 ケッサリア大塔参拝 専用バスにてクシナガラへ 途中、「チュンダの村」参拝 ホテルにて夕食(クシナガラ泊)	朝 ○ 昼 弁 夕 ○
6	1月 26日 (土)	クシナガラ ルンビニ	専用バス	朝 午前 午後	ホテルにて朝食 クシナガラ参拝「涅槃堂、荼毘塚など」 専用バスにてルンビニへ ホテルにて昼食 カピラ城跡ティラウラコット参拝 ホテルにて夕食(ルンビニ泊)	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	1月 27日 (日)	ルンビニ ベナレス	専用バス	朝 終日	ホテルにて朝食 ルンビニ園参拝 専用バスにてベナレスへ 途中、お弁当の昼食 ホテルにて夕食(ベナレス泊)	朝 ○ 昼 弁 夕 ○
8	1月 28日 (月)	ベナレス サルナート ベナレス発 バンコク着 バンコク発	専用バス TG－328 タイ国際航空	早朝 午前 16：30 21：15 深夜	ガンジス河にてヒンドゥー教徒沐浴風景見学 ホテルにて朝食 専用バスにてサルナートへ 釈尊初転法輪の地サルナート参拝「迎仏塔、ダメーク塔、考古学博物館、ムルガンディクティビハーラ」 空港のレストランにて昼食 タイ国際航空でバンコクへ バンコクにて乗り継ぎ タイ国際航空にて帰国の途へ(機中泊)	朝 ○ 昼 ○ 夕 機
9	1月 29日 (火)	各地空港着		朝	成田・関空・中部・福岡空港到着。 入国手続き後、解散。	朝 機 昼 機 夕 ×

※上記の日程は、交通事情等により変更する場合があります。

平成24年度（第80回）日仏保夏期仏教保育講習会

於：増上寺 三縁ホール

主催：公益社団法人 日本仏教保育協会　共催：東京仏教保育協会

7月23日（月）

9：00	受付
9：30～9：50	吉水 知草　先生 「朝のコーラス」
9：50～10：20	開講式
10：20～10：50	関岡 俊二　先生 「仏教保育の話」
11：00～12：00	清水 博雅　先生 「仏教の話」
12：00～13：00	昼食
13：00～14：20	吉岡 棟憲　先生 原発事故を契機に考える 「実践しよう生命尊重の保育を」
14：30～16：00	西本 鶏介　先生 「幼児の心を育てる絵本作り」

7月24日（火）

9：00	受付
9：10～9：20	オリエンテーション
9：20～10：40	堪山 泰学　先生 「曹洞宗の保育とは」
10：50～12：10	山岡 ゆう子　先生 「心に響く子どもの歌とリトミック」
12：10～13：00	昼食
13：00～14：30	佐藤 良純　先生 多田 証子　先生 「インド菩提樹学園のこどもたち」
14：40～15：50	村松 康行　先生 「原発事故による環境と食品への影響」
15：50	閉講式
16：00	終了・解散

暑中見舞

（到着順・敬称略）
次号へつづく

学・西願寺学園　**あずま幼稚園**
日仏保理事
園長　丹羽 義昭
〒340・0032　埼玉県草加市遊馬町430
TEL 048・925・1741

宗・法龍寺　**月映保育園**
園長　木本 龍道
〒134・0091　東京都江戸川区船堀6・9・30
TEL 03・3689・0340

社福・讃仰会　**法善寺保育園**
園長　中山 斉
〒115・0053　東京都北区赤羽台3・24・2
TEL 03・3900・9606

学・清谷学園　**日野わかくさ幼稚園**
日仏保連常議委員
園理事長　清水 博雅
〒191・0034　東京都日野市落川943
TEL 042・591・1688

学・寿福寺学園　**寿福寺幼稚園**
日仏保連常議委員
園長・園理事長　高山 久照
〒179・0074　東京都練馬区春日町3・2・22
TEL 03・3998・2162

宗教法人　**妙福寺保育園**
日仏保連常議委員
園長　戸田 了達
〒178・0064　東京都練馬区南大泉5・6・47
TEL 03・3922・3368

学・亮諦学園　**金の峯幼稚園**
日仏保理事
東仏保委員長　安藤 文隆
〒165・0022　東京都中野区江古田3・9・9
TEL 03・3385・0014

学・善永学園　**光輪幼稚園**
日仏保常任理事
園長　高輪 真澄
〒144・0047　東京都大田区萩中1・12・7
TEL 03・3739・5641

明徳幼稚園
園長・園理事長　蓮池 光洋
〒105・0011　東京都港区芝公園4・7・4
TEL 03・3431・0592

宗・西蔵院　**是政保育園**
園理事長
園長　榎本 隆乗
榎本 崇子
〒183・0014　東京都府中市是政3・6
TEL 042・361・7452

ルンビニ幼稚園
園長　浦 孝
〒380・0921　長野市栗田465
TEL 026・226・7685

とりかい保育園
園長　園田 広子
〒566・0064　大阪府摂津市鳥飼中1・20・1
TEL 072・654・5093

【お詫びと訂正】
本紙5月1日号（№577）の「花まつり」にご協賛頂いた広告2件に誤りがありました。
●ルンビニ幼稚園（長野）の園長先生を金子英昭先生と記載しましたが、園長先生は『浦 孝』先生でした。
●とりかい保育園（大阪府摂津市）の園長先生を園田 二先生と記載しましたが、園長先生は『園田広子』先生でした。
また、電話番号は072（654）5093が正しい番号でした。
ご迷惑をおかけ致しましたことを謹んでお詫び申し上げ、訂正いたします。

「社会保障と税一体改革関連法案は可決されたけれど…」

6月26日、社会保障と税の一体改革関連法案は衆議院の社会保障税一体改革特別委員会において採決し、衆議院本会議においても民主・自民・公明3党等の賛成多数で可決され、参議院に送られたことは周知のとおりです。また、「子ども・子育て新システム」関連では、子ども・子育て支援法案、認定こども園法改正案などの施行に伴う関係法律の整備法の3法案も可決はされましたが、政府提案による総合こども園法案は採決されませんでした。

5月中旬に消費税引き上げを中心とした社会保障・税一体改革関連法案の趣旨説明が行われて以来、衆議院の社会保障・税特別委員会では連日審議されてきたこれらの法案は一応の決着はみたものの、幼児教育・保育に関連する事項については採決にあたって付帯決議が付されています。

例えば制度施行までの「安心こども基金の継続・充実」、「幼児教育・保育の無償化」「認定こども園の認可外部分及び認可基準を満たした既存の認可外保育施設の給付」といった極めて注目すべきこれらの事項は、いずれも3党合意には盛り込まれていません。

政府執行部のここまでに至る審議の経緯を聞いて、ウィリアム・ペンの「苦痛なくして勝利なし。茨なくして王座なし」の言葉がよぎる。真摯に臨むのであれば、それを納得もしよう。しかし、「名誉心は高潔なる心の弱点」「弁解は飾られた嘘である」という理もある。そうでないことを願う。

事務局日誌

6／7　「仏カリ」「仏教保育」編集会議
　　事務局会議
6／26　「ほとけの子」編集会議

編集後記

■過日、永きにわたって大工職人として働いてこられた80歳過ぎた翁とお話をするご縁がありました■13歳のとき郷里親元を離れ、大工修行のため福島県の大工棟梁のもとへ弟子入りした。最初は準備片付けにしか思えない仕事の連続だった。その頃は分からなかったが、それも大工にとって大切な仕事のうち。年月を重ねていくうちに、少しずつ大工らしい仕事も任される。それが棟梁の目に叶わないものなら、即ゲンコツが飛んでくる。まあ、どんな世界も同じだろうが、職人としての育ちは棟梁が成す術を自分の目で細かく盗み取って真似ていくことでしかなかった■今思えば、棟梁はいつも側にいて黙して語らずも、大切な術を自分に教えてくれていた。そして、自分の仕事ぶりをつぶさに観ていてくれた。決して楽じゃなかったが、厳しさの中に身と心を以って教えて育て、教えられ育てられの深い人間のかかわりがあったことに偽りは無い■「教え育てる」とは、どういうことなのだろうか。すべて昔に戻れとは思いませんが、何か理屈抜きの温かさをおぼえた一期一会でした。

（高　木）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ　http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人　上村映雄　編集人 高山久照
毎月1回1日発行（1部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ：W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33 × D5.5 ×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／ PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-21
電話 〇三-三九四五-六六一二
ファクス 〇三-三九四五-六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/

仏教保育

8 AUGUST

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

平成24年度「第80回 夏期仏教保育講習会」開く

"いのち"の尊さ学ぶ!!

平成24年7月23日・24日
大本山増上寺・三縁ホール

公益社団法人 日本仏教保育協会（上村映雄理事長）は7月23日・24日の両日、東京仏教保育協会（安藤文隆委員長）の先生方のご協力のもと、恒例の表記講習会を開催しました。

今年も、吉水千草先生（財・全国青少年教化協議会研究員）のご指導で「朝のコーラス」から始まりました。ピアノ伴奏もお馴染みの森田真帆先生です。お腹の筋肉を伸ばす軽いウォーミングアップのあと、吉水先生は「歌詞の意味を理解すると歌に心がこもります」と『四弘誓願』『法の深山』などの意味するところを説かれ、「胸を大きく開けば高い声が出ます」と身ぶりで、『追悼の歌』は「先人たちの教えを受け継ぎ更に前進していきます、という気持ちを込めて、明るく歌い上げるように…」などと、指導されました。

開講式

三帰依文斉唱

安藤委員長

上村理事長

吉水先生

ピアノ伴奏
森田先生

開講式

上村理事長の主導で「三帰依文」を斉唱し、合掌・礼拝に続いて物故者への黙祷を捧げました。

続いて、上村理事長が「この夏の講習会は昭和10年にスタートし、戦時中の一時期に2回ほど休講しましたが、以来80回を数えます。仏教系の幼稚園・保育園では歴史のある講習会です。今、教育・保育の世界も大きな変革の波に動かされていますが、時代がどう変わろうと、子どもたちの成長のため、次代を見据えた講習会としてこれからも続けてまいります。二日間、暑いさなかでありますが、これからの保育に活かして頂ければ有り難いと思います」と挨拶しました。

引き続いて、安藤委員長が「昨年は東日本大震災という未曾有の天災がありましたが、今年同様、盛大に実施することができました。日頃の仏教保育に賭ける心に通じたからだと思っています。お釈迦さまがお悟りを開いて、私たち生きとし生ける環境に合わせて手を携え、慈悲の心で子どもたちを育てていきましょう、というのが仏教保育だと思っています。今日・明日の二日間ですが、内容の濃い講習会だと自負しています。皆さんのこれからの保育に役立つことができれば、こんな嬉しいことはありません。どうか頑張ってください」と激励の言葉を述べました。

第1日目

仏教保育の話

関岡俊二 先生
（公社・日本仏教保育協会副理事長／多摩みゆき幼稚園園長）

「皆さんは自分が働いている園のお寺の宗派を知っていますか?」先生は初めにこう問いかけま

した。知っていると挙手したのは半数ほどでした。開祖の教えを知ることは大事なこと。その教えを保育に活かしてほしいと述べてから本題に入りました。まず三帰依文の意味、例えば「人身受け難し…」とは『人間としていのちを授かったことは稀なことである』といった具合に文言の意味を説かれました。

そして、仏教には小乗仏教と大乗仏教がある。日本や中国は小乗仏教に属すると、その渡来の経緯などに触れたあと、四諦・八正道・六波羅蜜・四摂法などの教えを説かれました。そして、「やって見せ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば人は動かじ」の言葉を引用し、これは保育する者の心構えでもある、と締めくくられました。

仏教の話

清水博雅 先生
（日野わかくさ幼稚園理事長／東京都私立学校審議会委員）

「子どもたちの力が日本の将来に繋がっていきます。どういう方向に繋げていくか。それは先生方の保育の在り方・姿勢にある。つまり先生方の双肩にかかってきます」と、冒頭に激を飛ばされました。それから白板に「佛」という字を書き、「弗」は、非ずの意、「イ」は人だから「佛さまは人に非ず」ということです。このように佛の入り口から話を進め、「すべての物事は『因縁』によって起こる。直接間接を問わず他の何かと関わりを持ちながら過去・現在・未来へと繋がっていきます」と説かれました。

そして、「情けは人の為ならず」は、善行は自分のために行うもの。たくさん善行を施してください、と話を終えられました。

実践しよう生命尊重の保育を

吉岡棟憲 先生
（福島愛育園理事長／曹洞宗全国宗務所長会会長）

先生が居住される地域は、あの原発事故の影響を受けた場所です。はじめに、「自然を破壊し、家庭を崩壊させた非道さ、風評被害の恐ろしさなど、風化させてはならないと思います」と、沈痛な面持ちで語られ「福島のことを語る機会を与えてくださったことを感謝します」と、原発事故の当時の模様、今なお帰れぬ人たちの望郷の思いを話されました。

そして、野口雨情の『シャボン玉』の歌は命の尊さを教え示した歌でもあると説き、「仏教保育」の三綱領を解説。そして、金子みすゞさんの『大漁』、『私と小鳥と鈴と』の詩にある〝みんな ちがって みんないい〟という一節を紹介しながら、「みすゞさんは人間だけでなくすべてのものに優しく接していた。その慈悲の心こそ仏教保育の目指すところです」と熱く語られました。

幼児の心を育てる絵本作り

西本鶏介 先生
（児童文学者／昭和女子大学名誉教授）

「私は仏教の専門家でもないし、僧でもない。ただ、奈良のお寺に囲まれた環境の中で育ったせいか、『ほとけさま』とは縁が深いと思っています。また、こどものくに『ひまわり版』の編集などにも関わっているので、皆さんともご縁があると思っています。」先生はこんな言葉を皮切りに、最近読み聞かせ運動が盛んになりました。それは良いことだと思っていますが、上手でない人が多い。下手とは言いませんが…、と笑いを誘いながら本題に入っていきました。読み聞かせのポイントについては、「よく声色を使って読み聞かせをする人がいるが、その必要はない。ごく普通に読んでいい。ただ、間違わないように丁寧に読むことが大切だ」とのこと。「子どもの心を刺激する話を『童話』というのです」と言い、絵本には動物だけが登場するのが多いようだが、やはり人間もストーリーに加えた方が刺激があると私は考えています。昔話も本質が曲げられているケースがあるが、あれは良くない等々…。最後に先生の作品『ごくらくごくらく』という絵本を読み聞かせてくれました。

第2日目

曹洞宗保育とは

堪山泰学 先生
（公社・日本仏教保育協会監事／建明寺学園理事長）

「最近の若い方は早口ですねぇ。何を言っているのか、高齢者の私には理解できないことが多いです」と、ちょっぴり不満を洩らしつつ、「私はお経の勉強をするために東京の大学に入りましたが、その学生時代には落語を聞きに寄席にもずいぶん通いました。話のコツを覚えるためでした」そう前置きされ、「人間は他の動物と違って最も未熟な状態で生まれます。だからこそ、じっくりと手をかけて育てなければならないのです」と言

い、育て方次第でどういう方向にでも向かいますと、インドで発見された「アマラとカマラ」を例に話をされました。動物に育てられたために、人間には戻れなかったという悲しいお話でした。「礼儀正しい人、素直な心を持つ人、努力を怠らない人、こういう人は出世します。」これは300人の力士を育てた相撲の親方の言葉だそうです。そして、曹洞宗保育を交えながら幼児教育の大切さを説き、「私も先生のようになりたい」と言われるような先生になってください、と話を結びました。

心に響く子どもの歌とリトミック

山岡ゆうこ 先生
（忍たま乱太郎ファミリーイベント歌のお姉さん／歌手／育英短期大学非常勤講師）

山岡先生は壇上に駆け上がると、いきなり手拍子・足拍子で受講者を巻き込んで、音楽を使っての子どもとのコミュニケーションや信頼を確立するための指導が始まりました。「①いつも笑顔で ②いつも元気で ③いつもエネルギッシュで。この三つは、保育園・幼稚園の先生には不可欠のものです。さぁ、元気ではじめましょう！」と会場を、所狭しとばかりに歌に合わせて動きながら指導されました。

インド菩提樹学園の子どもたち

佐藤良純 先生
（大正大学名誉教授／明照学園理事長）
多田証子 先生
（公財・国際仏教興隆協会）

前段は佐藤先生から、昭和34年に横浜から船で初めて渡印した時の様子を回想しながら話されました。3年間ほど滞在されたそうですが、当時のブッダガヤは畑と小さな川があるだけ。近くにセイロン系のお寺がひっそりと建つ、長閑というよりも寒村といった風景だったそうです。そこに日本寺を建立し、施療院を作り、菩提樹学園を設立し、日仏保の協力で幼児教育を開始した。今では、人口12億を超え、6億人が携帯電話を持つまでになった国であると、その経緯を語ってくださいました。

後段では多田先生が菩提樹学園での保育の様子、子どもたちの家庭などの映像を見せながら、生活や菩提樹学園の運営などについて説明してくださいました。

菩提樹学園に来る子どもたちの家庭は貧しく、降園すると家の手伝いをさせられる子が大半です。それでも子どもたちは「ナマステー、ナマステー」と元気にあいさつし、登園してきます。

改めて現地の子どもたちの保育の必要性を認識させられた報告でした。

原発事故による環境と食品への影響

村松康行 先生
（学習院大学理学部教授）

先生はパワーポイントで放射線と放射能の基礎、食品への放射性物質の移行、森林への影響、食品の安全性など、データを示しながら分かりやすく解説してくださいました。放射線の単位であるベクレルはフランスのベクレルという人が発見したので、その名前がついた。内部被ばくと外部被ばくとどちらの危険度が高いか。自然界の放射線について等々…、難しい内容も理解できたようです。また、放射線の測定方法についても、測定器を手に持って数値を示して説明されました。最後に、「放射能を恐れる気持ちは分かりますが、怖がり過ぎてもいけないし、軽く考えられても困ります。正しい情報を正しく理解して対応することが大切です」と述べられました。

閉講式

閉講式では、受講者を代表して五十川（かどがわ） 嬢先生（むつみ保育園・岐阜県大垣市）に、上村理事長から修了書が授与されました。五十川先生は「いろいろ貴重なことを学ぶことができました。福島の先生のお話では、いのちの尊さを学びました。仏教保育の教えである『明るく、正しく、仲よく』の心で保育をしてまいります」と力強く謝辞を述べ、「仏教保育の歌」を高らかに斉唱して、二日間にわたる第80回日仏保夏期仏教保育講習会を終えました。

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

平成24年度 第1回仏教保育研修会　平成24年5月15日／大本山増上寺・三縁ホール

「子ども・子育て新システムと保育」

～最新の動向を踏まえて～

［講師］柏女 霊峰 先生（淑徳大学総合福祉学部教授）

この仏教保育研修会は5月15日に行われたものです。柏女霊峰先生は、福祉の立場で新システムに関わってこられましたので、5月時点での「子ども・子育て新システム」の中間取りまとめを踏まえて、その動向を客観的かつ詳細にお話してくださいました。質疑応答も熱心に交わされ、大きくタイムオーバーするほどでした。

しかしその後、新システムの論議は空転し、民主・自民・公明3党による子ども・子育て関連3法案の修正案が衆議院本会議を通過。7月11日から参議院での審議がスタートしたことはご存知のとおりです（以下は5月時点の講演要旨です）。

ご案内のように、子ども・子育て新システム関係の3法案が国会に提出されました。その内容並びに最終取りまとめ等を踏まえて、出来る限り客観的にお話させて頂きたいと思っています。

因みに、私は福祉の立場からこの新システムに関わってきましたが、取りまとめそのものには携わっていません。また、この法案への賛否を鮮明にする立場でもありません。ただ、法案はすでに国会に提出されておりますので、何とかより良い方向にもって行きたいという思いがあります。

「子ども・子育て新システム」というと保育園や幼稚園の保育サービスだけだと捉えられがちですが、そうではありません。生活地域の子育て支援、子どもの健全育成、社会的擁護の障害児福祉など、それぞれの分野における改革・拡充を目的としています。その財源化のための消費税等の増税を柱とした予算関連の法案ということです。きょうは保育園と幼稚園の先生方のお集まりですので、その分野に限定して話を進めさせて頂きたいと思います。

◇

2012年の通常国会においてすでに成立した「児童手当法改正法」に加え、「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税等の一部改正する等の法案」、これが新聞・テレビなどで言われている「消費税増税法」の正式名称です。この法案と共に出されたのが①「子ども・子育て支援法案」、②「総合こども園法案」、③「子ども・子育て支援法及び総合こども園法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律案」の三つです。これが今国会に提出されたものです。

このうち③の「関係法律の整備等に関する法律案」は、56本もの法律が改正されることになります。なかでも一番大きいのが「児童福祉法」であり、私学共済関係、教育公務員特例法の一部改正です。この改正の中には、クレームや教育関係の様々な法律が改正されることになっており、これらの膨大な体系が「子ども・子育て新システム」ということになります。

「子ども・子育て支援法案」の概要

趣旨は、「すべての子どもに良質な成育環境を保障する等のため、子ども及び子育ての支援のための給付の創設並びにこれに必要な財源に関する包括的かつ一元的な制度の構築等の所要措置を講ずる」となっています。

この法案は、保育・幼稚園教育の分野で言えば、介護保険のシステムを子どもの保育の支援分野に導入することに置かれています。つまり、高齢者介護の介護保険法のイメージで出来上がっています。支援法案を見ると、ほぼ介護保険法の流れに沿った内容になっており、それを子どもの分野に適応しようというのが、改正の基本的な考え方です。

「総合こども園法案」の概要

趣旨は、「小学校就学前の子どもに幼児期の学校教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を図る『総合こども園』に関し、その設置及び運営その他必要な事項を定める」とあります。

この法案は、子どもの分野に介護保険の仕組み導入するに当たり新しい施設システムを作るということで、法案としては名称が確定し、「総合こども園」とはどういうものかを示すのがこの法案です。

関連3法案についての概要

3法とは、先に述べた「子ども・子育て支援法案」「総合こども園法案」「関係整備法案」の三つですが、「子ども・子育て支援法案」と「総合こども園法案」の二つが成立することによって「関係整備法案」つまり、56本の法律を併せて変えるという形になります。

介護保険の分野では「老人福祉法」や「介護保険法」などがあります。同じような構造である「児童福祉法」はしっかりと残り、子ども・子育ての分野の、

いわば介護保険に相当するものについては「子ども・子育て支援法案」によるという形になります。つまり、介護保険法と子ども・子育て支援法案の違いは、財源が異なっているということです。

財源としては、介護保険は40歳以上の保険料等で（国費も入っているけれども）ほぼ保険料で賄い、子ども・子育て支援等のシステムでは税で賄うことになります。以前には「育児保険法」の検討も行われましたが、保険には馴染みにくいということもあって税で賄おうということになりました。その財源としては従来の財源と一緒にここに消費税を投入するというものです。７０００億円の財布を作り、そこから市町村に給付していくという形になるかと思います。従って、老人福祉法と介護保険法の関係と同じように、児童福祉法と子ども・子育て支援法の関係になってくるかと思います。

子ども・子育て新システム検討の背景と目的

この新システムが行われる背景は、大きく分けて四つあります。①「待機児童対策」②「地域の子どもを親の都合で分断しない」③「幼児期の教育の振興」④「全世代型社会保障の実現」の４点です。

①は、育児休業から復帰する人たちが子どもを保育施設に入所できないため、仕事を続けられないケースがあります。その対応策として「指定制度」を導入し、飛躍的に保育サービスを伸ばしていこうというものです。２０００年に介護保険制度に指定制度を採り入れ、需要・供給を飛躍的に増やすことができました。その制度を待機児童の対応策に導入し、需要管理をしようというものです。②は、親の事情で子どもを分断しないで、共に育てていきましょうという視点によるものです。③は、世界的な趨勢にもなっている幼児期の教育の振興によって質の向上が手段として考えられています。その財源として消費税を有効に活用したいとしています。④は、日本は欧州諸国に比べて子どもへの社会保障の給付の割合がかなり低い（約４％）ので、欧州並みの８％～10％給付の実現を目指そうということです。この四つを目的に法案を構築していくというものです。

指定制度の概要

これは、経営にとって大切なところです。

指定制については法人格を原則とし、質の確保の観点から５年ごとに更新することになります。参入段階、運営段階、撤退段階ごとに要件が設けられ、指定事業者には指定基準に従って事業を実施する義務が課されます。また、撤退についても一定の規制を設け、情報開示の義務化が図られます。指定・指定監督の主体は市町村となります。この指定の更新はケースによってしなくても良い場合がありますが、その更新をするかどうかの判断は市町村が行うことになります。

問題は、指定制度が始まった場合、「指定こども園」になるかどうかの判断が求められますが、これは厳しい選択でもあります。なぜなら、都市部ではまだまだ供給解除になりにくい状況ですが、郡部ですと地域によってはすぐにも供給解除という状態が予想されます。従って、最初から指定こども園になっておかないと、「新システムにはしない」と市町村が決めれば、その後からでは指定こども園にはなれないことが予想されます。参入・運営・撤退の各段階においてそれぞれ一定の要件を満たしてさえいれば、株式会社、ＮＰＯ法人であっても、学校法人や社会福祉法人と同列に扱うことにしているだけに、その判断には厳しい見通しが要求されそうです。

「こども園給付」について

「こども園給付については保護者に対する個人給付を基礎とし、確実に学校教育・保育に要する費用に充てるため、法廷代理受領の仕組みとする」と謳っています。つまり、本来は利用者に支払われるものですが、利用者に直接お金を渡すと本当に子どものために使われるという保証がないということも考えられるので、親に渡す代わりにその子どもがサービスを受ける施設（こども園）に支払うという仕組みなのです。これを「個人給付」と言います。

◇

この他、柏女先生は、施設の一体化をはじめ、設置基準の見直し、減価償却費の導入、新システムの課題や懸念などにも触れられました。

「これは私見ではありますが、今回の新システムには財源の裏打ちが不十分のまま議論が進められているように思えます。労働政策や育児休業の在り方など、いずれも大きな課題ではありますが、保育所も幼稚園もすでにある施設・機能を更に活性化していくことこそ、大事ではないかと思っています」と、締め括られました。

日本仏教保育協会編集による出席カードです。
仏教行事を楽しい絵柄で構成しています。

はなまつり、成道会、涅槃会などの仏教行事を、かわいいイラストでファンタジックに表現しています。

出席カード（仏教版）２０１２年度版
税込３９０円（本体価格３７２円）
セットでのご使用がおすすめです！
出席シール（仏教版）２０１２年度版
税込２８０円（本体価格２６７円）

〒113-8611　東京都文京区本駒込6-14-9　電話03(5395)6608　http://www.froebel-kan.co.jp　フレーベル館

「第57回 関西地区仏教保育研修会」報告

平成24年6月30日／知恩院和順会館和順ホール

月かげ保育園園長（京都）　浦田　裕人

梅雨空の束の間の太陽が顔を見せた6月30日土曜日、知恩院和順会館和順ホールにおいて、第57回関西地区仏教保育研修会が開催されました。京都をはじめ滋賀、大阪、兵庫から会場を埋め尽くす213名の参加がありました。

開会式では、音楽法要のあと運営委員長の開会挨拶に続き、東京から駆けつけて頂いた、公益社団法人 日本仏教保育協会の上村映雄理事長の祝辞がありました。

研修では、初めに総本山知恩院門跡・伊藤唯眞猊下からお話を伺いました。猊下が佛教大学付属幼稚園の園長をされていたときのご経験をもとに、子どもを抱き締めることの大切さなどのお話をして頂きました。

絵本作家・長谷川義史さんの講演『絵本で元気に！』が休憩をはさんで行われました。講演はスクリーンに映したご自身の絵本の読み聞かせ形式で進められ、小学生のとき実のお父様を亡くされたことを『てんごくのおとうちゃん』で、その後のご自身の小学生の体験を『かあちゃんがつくったる』で、今の長谷川家の様子を『まわるおすし』で笑いの中にもしんみりと心に沁みわたるお話でした。

『串かつやよしこさん』『じゃがいもポテトくん』では会場は笑いで包まれました。

実際に目の前で模造紙に絵を描きながら『貧乏神』のお話が進むライブ紙芝居や、ウクレレの弾き語りなど、90分があっという間に過ぎました。

講演終了後、講師・長谷川義史さんの絵本の販売並びにサイン会も行われ、本屋さんもびっくりするほどの大盛況でした。

閉講式では、次回開催地大阪の運営委員長・行友伸二先生から「大阪には、おいしいものもたくさんあるので、来年は大阪に来てください」との挨拶があり、本研修運営副委員長の閉会挨拶で会が閉じられました。

「ほとけの子」は保護者向けの月刊誌です。
心の豊かさが求められる今日です。
仏教保育を主眼とした内容、
特に年５回の仏教行事の特集は、
行事説明だけに終わらない、
その道の諸先生方の御健筆が冴えています。
御購読下さいますようお薦め下さい。

公益社団法人 日本仏教保育協会編集
月刊 ほとけの子
定価120円(税込)
株式会社 宣協社
〒150 東京都渋谷区鶯谷町7-7 OHビル201号
TEL. 03-3463-1931(代)　FAX. 03-3463-0608

暑中見舞

（到着順・敬称略）
次号へつづく

言問幼稚園
日仏保参務 園代表役員
〒131・0033 東京都墨田区向島5・4・4 TEL 03・3622・7771
小林 昭彦

城北幼稚園
日仏保副理事長 園長
〒462・0022 名古屋市北区川中町6・11 TEL 052・981・1386
三浦 俊彦

野田生こばと保育園
園長
〒049・2672 北海道二海郡八雲町野田生80 TEL 0137・66・2576
菅原 諭貴

パドマ幼稚園
日仏保理事 園長
〒380・0847 長野市若松町1028 TEL 026・235・3035
金子 英滋

多摩みゆき幼稚園
学・高西寺学園
日仏保副理事長 園理事長
〒206・0021 東京都多摩市連光寺2・24・6 TEL 042・374・6040
関岡 俊二

光應寺保育園
園代表役員
〒812・0017 福岡市博多区美野島2・6・31 TEL 092・441・9715
古賀 成麿

るんびにー保育園
社福・愛育会
日仏保理事 園理事長・園長
〒522・0083 滋賀県彦根市河原1・1・4 TEL 0749・26・1230
小川 良紘

八王子ひまわり保育園
園理事長 園長
〒193・0944 東京都八王子市館町1629 TEL 042・661・3046
野上 良仁
野上 浩達

浜田保育園
園理事長・園長
〒510・0067 三重県四日市市浜田町10・15 TEL 059・353・3452
丹羽 愛子

深川幼稚園
園 長
〒074・0013 北海道深川市文光町17・6 TEL 0164・22・3027
山児 憲明

和敬幼稚園
園 長
〒143・0012 東京都大田区大森東3・7・4 TEL 03・3761・3069
北條 奈々

誕生院保育園
本願寺社会福祉事業センター
園 長
〒601・1417 京都市伏見区日野西大道町西本願寺別堂19 TEL 075・571・0174
伊藤 眞

常徳幼稚園
宗教法人
園 長
〒156・0051 東京都世田谷区宮坂2・10・1 TEL 03・3427・2251
武田 治恵

明福寺ルンビニー学園幼稚園
日仏保参務 園長
〒132・0013 東京都江戸川区江戸川3・8 TEL 03・3670・0134
福井 豊信

ふくむろ幼稚園
学・西光寺学園
園 長
〒983・0005 仙台市宮城野区福室5・11・30 TEL 022・258・0026
三浦 宗格

帯広幼稚園
学・帯広童谷学園
園理事長 園長
〒080・2471 北海道帯広市西21条南3・22・2 TEL 0155・35・7122
中田 周敬
谷内 敞

ほぜんじ幼稚園
日仏保理事長 園長
〒164・0002 東京都中野区上高田1・31・2 TEL 03・3364・3381
上村 映雄

高安寺保育園
園 長
〒183・0021 東京都府中市片町2・4・1 TEL 042・364・7651
小澤 宏

大徳寺保育園
宗・玉林院
園 長
〒603・8231 京都市北区紫野大徳寺町74 TEL 075・491・8818
森 義昭

足利幼稚園
学・鑁阿寺学園
園理事長・園長
〒328・0803 栃木県足利市家富町2188 TEL 0284・21・3475
山越 忍隆

佛教大学
学・佛教教育学園
学 長
〒603・8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96 TEL 075・491・2141
山極 伸之

台東初音幼稚園
園 長
〒110・0001 東京都台東区谷中5・2・4 TEL 03・3822・2431
髙橋 大海

聖愛保育園
社福・三密会
高野山真言宗保連 園理事長・園理事長
〒807・1103 北九州市八幡西区香月西2・4・35 TEL 093・617・0209
山本 文雄

初山幼稚園
学・本遠寺学園
園理事長
〒216・0026 川崎市宮前区初山1・2・1 TEL 044・977・5671
町田 順文

萬徳寺保育園
日仏保参務 園理事長
〒314・0146 茨城県神栖市平泉2325・1 TEL 0299・92・2704
岩堀 法道

水上わかくりこども園
園理事長 園 長
〒379・1617 群馬県利根郡みなかみ町湯原985 TEL 0278・72・4120
堪山 泰学
堪山 泰賢

北港学園保育所
財・多善会
日仏保参務 園理事長
〒554・0051 大阪市此花区西島3・26・11 TEL 06・6461・7849
神谷 周道

鈴蘭幼稚園
園 長
〒158・0093 東京都世田谷区上野毛2・15・15 TEL 03・3704・1881
梅田 静子

高松保育園
園 長
〒760・0044 香川県高松市御坊町2・2 TEL 087・821・9347
堀 仁

淑徳短期大学
学 長
〒174・8631 東京都板橋区前野町6・36・4 TEL 03・3966・7631
石上 善應

西川口幼稚園
園 長
〒332・0021 埼玉県川口市西川口3・34・5 TEL 048・251・3076
稲岡 福子

双丘保育園
園 長
〒616・8044 京都市右京区花園扇野町49 TEL 075・461・9428
川井 戒本

光徳寺保育園
宗・安養寺
日仏保運営審議委員 園長
〒132・0035 東京都江戸川区平井6・53・7 TEL 03・3618・0511
秋山 秀阿

瑠璃光幼児園
宗・成福寺
園 長
〒462・0866 名古屋市北区瑠璃光町1・8 TEL 052・912・5063
原田 道雄

呉あそか幼稚園
日仏保理事 園長
〒737・0022 広島県呉市清水2・1・26 TEL 0823・25・5671
西村 英昭

むらさき幼稚園
園理事長 園 長
〒617・0814 京都府長岡京市今里5・12・9 TEL 075・953・0505
家田 隆現
家田 光信

小桜幼稚園
園 長
〒993・0053 山形県長井市中道1・7・5 TEL 0238・88・2481
神尾 知秀

滝川幼稚園
学・滝川学園
園理事長・園長
〒073・0031 北海道滝川市栄町2・7・13 TEL 0125・23・2478
泉 敬止

子ども・子育て3法案、参議院で審議スタート

一昨年の11月、幼稚園や保育園を震撼させる衝撃的な提案が政府から打ち出されたことは周知のとおりです。それから2年余、右顧左眄しながらも政府はついに現行どおり幼稚園・保育所・認定こども園の3施設による保育の展開を認めることになりました。そして私学助成の充実はもとより、幼児教育の無償化の検討も視野に入れた審議が、いよいよ参議院で始まりました。保育界が一丸となって百年・二百年の国づくりを目指した幼児教育・保育を死守した成果と言えます。

長時間保育の悪弊は知られているところですが、そのような施設に一日の大半預ければ、その子どもたちは適応能力が低下するという話を耳にしました。例えば「我慢することを覚えた子どもは諦めることを覚え、諦めることを覚えた子どもは期待することを忘れていく。期待することを忘れた子どもはお母さんや先生から愛されている、友だちから好かれている、といった自己肯定感を否定する」というのです。

子ども一人ひとりに寄り添った教育・保育の大切さを改めて考えさせられた言葉でした。

事務局日誌

7／3　「仏カリ」「仏教保育」編集会議
　　事務局会議
　　栃木実行委員との全国大会打合せ
7／23～24　「第80回夏期仏教保育講習会」
　　大本山増上寺・三縁ホール
7／30　「ほとけの子」編集会議
7／31　こどものくに「たんぽぽ版」編集会議

編集後記

■夏は子どもたちにとっても「火」に出会う機会が多いときです。花火、キャンプファイヤー、バーベキュー、提灯などなど…。大切に正しく使うことをご家族や園生活で学びたいものですね■7月28日に開幕したロンドンオリンピックの開会式は華やかでした。クライマックスはオリンピアの聖火をスタジアムに点火した瞬間です。スタジアム全体を包む花火の色、参加国の協調と平和を象徴した聖火の儀式でした■「聖火」というように火は聖なるものです。火と共に人類は発展してきたと言っても過言でありません。しかし使い方によっては邪なるものになってしまいます。二酸化炭素放出による温暖化、そして日本においては8月の敗戦も忘れることはできません。人のいのちを包むものでありながら、同時に人のいのちを奪うものにもなりかねません。仏教が教える「智慧」を学び伝えることで、そのものが持つ本来の力を正しく活かしていくことが大切ですね。（五島）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ　http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 上村映雄　編集人 高山久照
毎月1回1日発行（1部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ：W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33 × D5.5 ×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6－4－21
電話 〇三－三九四五－六六一二
ファクス 〇三－三九四五－六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/

仏教保育

9
SEPTEMBER

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

「第32回全国仏教保育栃木大会」

平成24年8月2日・3日
日光・鬼怒川温泉「あさやホテル」

テーマ
「未来はこども」
～いま問い直される幸せとは～

8月2日・3日の両日、公益社団法人日本仏教保育協会（上村映雄理事長）は、栃木県は日光市鬼怒川温泉郷にある「あさやホテル」を会場（全体会・分科会）に、「第32回全国仏教保育栃木大会」を開催しました。この日も33度を超える猛暑でしたが、全国から700名余の教諭・保育士が参加し、「未来は「こども」の大会テーマのもとで仏教保育者としての心と技を研鑽ました。

自然美に囲まれた中にひときわ目立つ華麗な「あさやホテル・大ホール」においてオープニングコンサートで幕を上げたセレモニーは絢爛にして厳粛、仏教保育の大会ムードを一気に昇華させた演出に、栃木の先生方の並々ならぬ「苦労が窺えました。

足利短期大学聖歌隊の皆さんによる献華・散華・献水

栗原大会実行委員長

上村大会委員長

八木大会会長

支部旗贈呈

仏教保育奨励賞受賞

古屋賞受賞

渡辺衆議院議員

斎藤市長

福田知事

全体会

定刻の午後1時、明るく美しい聲明の音色が静まりかえった会場を漂わせる中、「第32回全国仏教保育栃木大会」開会式の幕は上がりました。そして僧侶だけの太鼓衆・十数人が舞台に設けた太鼓に向かって力強く打ち鳴らし、同じく舞台下に並ぶ十数名余の僧侶の皆さんで「生命讃歌」を歌い上げます。会場は一気に荘厳な雰囲気に包み込まれていきました。

小林研介先生の開会の言葉のあと、足利短期大学聖歌隊の皆さんによる献華・散華・献水の儀式が行われました。そして、大会会長・八木季生台下（日仏保名誉会長）の主唱で三帰依文が斉唱され、物故者への黙祷と続きます。

そのあと、八木大会会長から次のような式辞が述べられました。

「本大会が世界遺産の日光市で開催されましたことを心よりお祝い申し上げます。併せて、お支度下さった栃木支部の方々に心からお礼申し上げます。幼児教育というものは、その人間の一生を形づける一番大事な教育の時期であります。私たちは釈尊以来2500年という長い間めんめんと受け継いできた仏教精神を、幼稚園や保育園を

「第2分科会」
日常における生命尊重の保育を考える

「第１分科会」
仏教保育の目指すもの

新沢
としひこさん

乙武洋匡さん

「第５分科会」
特別支援の考え方と方法

「第4分科会」
最新・新システムの動向

「第３分科会」
大震災レポート

懇親会

通して子どもたちの体に浸み込ませていくことでありましょう。きょうお集まりの先生方は大変熱意をもって幼児教育・保育に勤しんでおられますが、本大会でより一層の研鑽を積まれますことを願っています。」

続いて、上村映雄大会委員長(日仏保理事長)が、「全国各地から大勢ご参集下さいまして有り難うございます。現在ほど幼児教育・保育について関心が集まっている時はないのではないかと思います。それだけ私たち仏教保育に携わっている者の責任も重いものと考えております。本席には衆議院議員の渡辺喜美先生もご参列下さっておりますが、国政の場でもご支援頂き、将来を担う子どもたちのためにより良い制度を構築して頂きたいと願っております。当協会もこの4月に、公益社団法人に衣替えを致しました。これは『仏教保育』の公益性を国に認めて頂いたということです。私たちは更なる誇りをもって努力をして参りたいと思っております。二年に一度ではありますが、現場の先生方が全国から集っています。この機会に意見の交換などをされながら、本大会を実りあるものにして頂きたいと思います」と挨拶しました。

次いで、栗原信明大会実行委員長(栃木県仏教保育協会理事長)が「北海道から九州まで津々浦々より先生方においでを頂き、心から歓迎申し上げます。本日は地元栃木の県知事・福田富一様、日光市の市長・斎藤文夫様、更には地元選出の衆議院議員・渡辺喜美様はじめ、大勢のご来賓をお迎えしての全国仏教保育栃木大会が盛大に開催できましたこと、本当に嬉しく思っております。私ども栃木県仏教保育協会は〝心のかよい合う大会〟を目指して総力を挙げて準備に取り組んで参りました。しかし不慣れなために行き届かない面も多々あると思いますが、仏心を持ちましてお許し願えればと思います。当県もあの原発による風評被害地であります。そういう中、果たして栃木まで来て頂けるかどうか不安でありました。こんなにたくさんの先生方をお迎えできましたことは、望外の喜びでございます。本当にようこそお越し下さいました。さて、大会テーマは【未来はこども】と掲げ、「いま問い直される幸せとは」を副題とさせて頂きました。子どもは生きとし生けるものの夢であります。子どもたちの未来の幸せを真剣に考えることが、私たち大人に課せられた最も大きな責務であります。陰湿ないじめ、虐待、規範意識の欠如等々…、悲しい事件が後を絶ちません。今ほど、『いかせいのち』『生命尊重』の保育実践を強く願う時はありません。二日間ではありますが、『いま問い直される幸せとは』を探求し、いのちが耀き合う保育について研鑽して頂きたいと心から願っています」と、歓迎の挨拶をしました。

ここで全国大会恒例の「古屋賞」と「仏教保育精励賞」が八木大会

「第９分科会」
これからの保育を考える

「第８分科会」
２歳児保育を考える

「第７分科会」
共に生きる子育て

「第６分科会」
子どもの食と体の育ちを考える

「第13分科会」
子どもと造形の良い関係をつくるために

「第11分科会」
自然の保育力
～日光の自然に学ぶ～
「第12分科会」
ガラス工房体験＆世界遺産めぐり

「第10分科会」
仏教讃歌を歌おう！
パネルシアターを使おう！

会長より授与されました。今回は「持田賞」の該当者はありませんでした。「古屋賞」は株式会社チャイルド社に贈られ、「仏教保育精励賞」は小林龍雄（呑龍幼稚園）・菅原栄光（輪王寺附属日光幼稚園）・馬場章岳（たから幼稚園）・中臣昭範（めぐみ幼稚園）、以上４名の先生方で、菅原先生が代表して受けられました。

続いて、福田県知事、斎藤市長、渡辺衆議院議員の先生方からお祝辞を頂きました。「保育園、幼稚園の果たす役割は益々大きい」「子どもたちの未来がかがやく街づくりに努力」「国政の場で子どもの未来のための制度づくりに尽くす」など、交々ご決意を披露して下さいました。

ここで来賓紹介と祝電の披露があり、次いで仏教保育三綱領を大中清見先生（法得幼稚園）が高々と唱えました。続いて、本大会を主管された労を感謝して栃木支部に感謝状と支部旗が贈られたあと、次回の全国大会（第33回）開催地区となった京都の日野昭文大会実行委員長並びに京都の先生方から「京都におこしやす」のプラカードを手に並び、日野先生が「平成26年7月25日・26日を開催日と決定しました。栃木の先生方の意欲に大感激しています。我々もその意欲と熱意を受け継いで、立派な大会にしたいと思います」と語り、仏教ゆかりの古都であることの魅力をユーモラスにPRして、早くも意気込みを披露しました。

ここで全員起立し「仏教保育の歌」を斉唱。次いで「大会宣言」が満場の拍手で採択され、セレモニーは最高潮に達しました。拍手の余韻の残る中、中川祐慈先生（清滝寺幼稚園）の閉式のことばで、式典の幕は静かに下ろされました。

小憩のあとの記念講演は、ご自身の体験を綴った『五体不満足』で多くの人の共感を呼んで500万部を超すベストセラー作家となった乙武洋匡さんのお話です。電動の車椅子で舞台中央へ登場する氏に会場から惜しみなく拍手が湧き起こりました。そして終始にこやかに語る体験談は、明日への生きる力を与えてくれました。（要旨は次号）

続いての講演は、シンガーソングライターの新沢としひこさん。『世界中のこどもたちが』は音楽の教科書の全社が採用した代表作でもあります。舞台に登壇した途端に「僕はあるお笑い芸人に似てるって言われるんです」と軽妙なトークで笑わせます。そして自己紹介の代わりだと、『世界中のこどもたちが』をギターを奏でながら聞かせてくれました。やがて会場から舞台に呼び上げた先生たちと、会場の全員を歌い踊らせて大興奮に盛り上げて

いくタイミングは「さすがはプロ」と感動しました。音楽に合わせての動きに我を忘れた2時間でした。

こうして、全体会は終わりました。

◆　◆

懇親会場はコンベンションホール「華厳」の間で行われました。1500人を収容できると、あさやホテルが誇るホールに500余の豪華なお膳が整然と並んだ景観に、誰もが「おう～っ！」「うわぁ～」と感嘆の声を上げていました。「心のかよい合う」親睦を願ったという栗原大会実行委員長の思いが伝わってくるようでした。

昼間の式典とは打って変わって、宿の浴衣でリラックススタイルで膳につきます。栃木名物のギョウザに舌鼓をうち、ジャズに耳を傾けながらカクテルに酔い、くじ引きを楽しむ中で多くの仲間たちとの出会い・交流しながら懇親を深めたようです。

分科会

翌日は13に分かれての「分科会」。先生たちは、それぞれ希望する会場に入っていきます。栃木支部の先生方の気配りが隅々まで行き届いていて、良好な環境の中でしっかりと研修の成果を上げたようでした。

「第32回全国仏教保育栃木大会」を終えて

大会実行委員長　栗原　信明
（栃木県仏教保育協会理事長）

「未来はこども」をテーマに掲げた第32回全国仏教保育栃木大会は、盛会かつ無事に終えることができました。皆さま方のご尽力に心から感謝申し上げます。

今大会は34年ぶりに栃木県において開催された大会であり、〝心のかよい合う大会〟を目指して栃木県仏教保育協会は総力を挙げて大会環境の準備に取り組んで参りましたが、何かと行き届かない点も多々あったと思います。仏教の心をもってお許し頂きたいと思います。

東日本大震災以来最初に開かれた大会であり、本県も大きな風評被害に晒され、果たして全国の皆さまが日光までお越し頂けるかどうか、とても不安でした。幸いにも700余名の先生方がご参加頂けたことは、この上ない喜びであります。

開会式も、仏教的雰囲気の中で厳粛に行われ、記念講演では乙武洋匡氏の「みんなちがってみんないい」、新沢としひこ氏の「こころはばれ」、何れも聞く人に大きな感動と示唆を与えられ、良いお土産になったことと思います。

懇親会は〝心のかよい合う〟親睦の和を深めて頂こうとの思いから、大広間に500余の膳を並べました。その並びは圧巻であり、感嘆の声の上がる中で栃木名物のギョウザをはじめジャズにカクテル、くじ引きなどを楽しんで頂きました。分科会においても、熱心に研鑽を積んで頂きました。講師の先生方、運営に当たられた先生方に、厚くお礼申し上げます。

大会も大過なく終わり、二学期が始まり、嬉々とした笑顔の子どもたちが元気いっぱいに園庭を走り回っています。生きとし生けるものにとって、子どもは生きる夢であり希望であります。子どもたちの未来を真剣に考えることは、私たち大人に課せられた最も大きな責務です。世界最速で進んでいる少子化の中で、大都市中心の待機児問題解決を目的として全国一括りの制度論議が進んでいますが、幼児期に何を育てなければならないのかの観点での論議がないまま、大人の都合で振り回されている現状に疑念を覚えます。これでは、仏教園の進むべき道にも迷いと不安が生じてきます。

今は子どもたちにとって決して良い風が吹いているわけではありません。悪質で陰湿な、命に関わるような〝いじめ〟がクローズアップされています。私たち仏教園が主唱する「生命尊重」という崇高な理念の基に〝いま問い直される幸せとは〟を探し、かけがいのない〝いのち〟が輝き合う未来に向かって、仏教保育の実践を目指しましょう。

大会を終えて、栃木県仏教保育協会には強固な絆ができました。これらを一過性のものとはせず、更なる活性化に繋がることを信じます。

今大会を開催するに当たり、公益社団法人日本仏教保育協会・上村映雄理事長をはじめ、役員の皆さまには心のこもったご指導・ご助言を頂き、深く感謝申し上げますと共に、関係各位のご尽力に対し心から厚くお礼申し上げます。

（合　掌）

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

各宗派［夏期保育研修会・講習会］大会報告

【臨済宗妙心寺派】「24年度社会事業従事者研修大会」

ゆりかご保育園（京都）
園長　川島　由里子

7月25日から三日間、72名の参加者を得て「24年度社会事業従事者研修大会」が、降るような蝉しぐれの中で開催されました。

畳に正座して始まった開会式では、先ず、東日本大震災で犠牲になられた方々に黙祷を捧げました。続いて永年勤続表彰が行われ、一番永い方で31年3ケ月。惜しみない拍手が贈られました。

和やかな雰囲気のうちに始まった研修会の最初のプログラムは、「つながる時間」というタイトルのもと、昨年の震災で被害に遭われた幼稚園の先生方の生々しい経験を、シンポジウムという形で伺いました。園長先生、主任の先生、担任の先生から、それぞれ聞かせて頂きました。各々のお立場を踏まえてのお話を、身につまされながら伺いました。

揺れる保育室で、どう子どもを守ったのか。迫ってくる波を背に、必死で向かった避難場所がいっぱいで、とても子どもは入れなかったこと。とにかく高台へ高台へとバスを走らせながら、どこへ逃げるか必死で考えたこと。運転手さんの機転で、高台にある知り合いのお寺へ向かい、受け入れてもらえたこと。

親鳥のように十数人の園児を抱いて過ごしたこと。最後の園児を保護者に渡せたのは、五日目だったこと。

どれも、胸がつぶれるようなお話でした。

「危機に瀕した時に、何が一番大事だったか」という質問に、主任の先生が、「先生の周りにおいで！と言ったときに、一人残らず子どもが集まって来ることです」。子どもと保育者が、しっかりと心でつながっていることが大事だとおっしゃったのだと思います。

園舎が流され、もう再開は無理だとあきらめていた園長先生に、ある日子どもが言ったそうです。「えんちょうせんせい、ようちえん　いつからはじまるの？」

「このひと言で、今があります」と園長先生。土地探しにめどが付き、再開に向けて踏み出しますということでした。

翌日は、東山の麓に建つ永観堂へ移動し、中西玄禮法主の法話をお聞きしました。心に深く届くお話でした。「花信風」という風があるそうです。小寒から穀雨（1月から4月）にかけて吹く風を言い、この風に呼びかけられて花々が咲くのだそうです。参加者一人ひとりに、自分が花信という風になりましょうと、呼びかけられました。

終わって、お寺の中を拝観させて頂き、その後、京都市立動物園へ歩いて移動。獣医で学芸員の坂本英房氏にお話をして頂いた後、園内見学。15㎝の距離で猛獣を見ることができるのですが、この距離で向かい合うライオンやトラの迫力は、圧巻でした。

最終日。妙心寺派教学部長・栗原正雄師の法話「報恩謝徳」で、研修会は締めくくられました。「許されて、生かされて、生かして、生きて行く」ことの心を話されました。

スケジュールには、早朝からの坐禅・朝課・作務・作法に則った食事等、若い先生方には厳しい内容ではありましたが、得難い体験ができた研修会であったと思います。

【真言宗智山派】智山保育連合会「結成50周年記念式典並びに第50回智山保育大会」報告

智山保育連合会（東京）
小暮　祐介

智山保育連合会では結成50周年を記念し、記念式典並びに第50回智山保育大会を7月26日（木）・27日（金）の両日開催した。式典・大会には真言宗智山派寺院付属の幼稚園と保育園の19園より118名が参加した。

記念式典は26日にリーガロイヤルホテル京都にて行われ、真言宗智山派管長の寺田信秀猊下をはじめ宗内外より多数のご来賓にご出席頂き、お祝いの言葉を頂戴した。式典では歴代会長へ感謝状が贈られたほか、永年勤続者の表彰が行われた。

続けて50周年記念事業として作成した記念誌と紙芝居の完成に至るまでの経緯を紹介した。紙芝居「おだいしさま」について

は、スクリーンに映してのお披露目と朗読が行われた。紙芝居は弘法大師空海の幼少期から青年期を中心に足跡をたどる構成となっている。原画は仏画師として著名な牧 宥恵先生が担当。牧先生からは、これまでに紙芝居の原画を描いたことが無かったため依頼を受けるか迷った話や、作成時の苦労話などをお話頂いた。

その後、米谷美和子先生(大阪府幼稚園等新規採用教員研修指導員。星野仙一監督の実姉)より「〝キラッ〟と光る保育者とは―保育のスキルアップを目指して」と題して記念講演が行われた。米谷先生は「学級づくり十ヶ条」を紹介しながら、保育者として子どもにどう接するべきかお話下さった。

夜には記念祝賀会が開催され、歴代会長より当時の思い出を語って頂いた。

27日の保育大会は会場を総本山智積院に移して開催。

第一講「写経」では、人として日々心がけるべき教えである「十善戒」の写経を行い、金堂にて奉納し、法楽を行った。

第二講「法話」では、寺田信秀猊下よりありがたい法話を頂戴した。寺田猊下は法話の中で、自身の戦時中の戦友との死別について振り返りながら「人生とは四苦八苦という言葉があるように思い通りにならないものであり、今生きているだけでも有難いものである」「人と人との出会いを大切にし、一期一会の気持ちを忘れないで欲しい」とお話下さった。

その後は智積院山内を拝観し、「利休好みの庭」と伝えられる名勝庭園や長谷川等伯・久蔵作の国宝「桜図」「楓図」を始めとする障壁画を見学した。

その後閉会式を行い二日間にわたる研修は無事終了した。

【曹洞宗】

「第59回保育研修大会」報告

まどか保育園（東京・武蔵村山市）
尾鳥　悠

今回、大本山總持寺にて開催された第59回保育研修大会(7月30日～8月1日)に参加させて頂きました。

初めて大本山に入るという緊張や、経験したことのないお寺での生活に最初は不安がありました。しかし門をくぐってから最初に出会った修行僧の方々の優しい笑顔での挨拶に心が落ち着きました。実際に大本山を見るとその壮大さに驚き、しばらく立ち止まってしまうほどでした。

總持寺での生活は普段とは全く違うもので、初めての経験ばかりでした。特に坐禅や朝課は新鮮に感じました。坐禅では最初は姿勢を正すことの大変さや足の痛さなどで辛く雑念がありましたが、回数を重ねるごとに自然に力が抜け、心が落ち着く時間となりました。朝課では、まず神秘的な雰囲気に吸い込まれ、そこに参加させて頂いていることの貴重さ、喜びを感じました。客観的に神秘的と感じていた私の目の前では、修行僧の方々が真剣に取り組んでおられ、日々この朝課を繰り返している大変さも感じました。

大本山の紹介映像を見せて頂くと、修行の厳しさに驚き、大きな衝撃を受けました。私が体験

日本仏教保育協会編集による出席カードです。
仏教行事を楽しい絵柄で構成しています。

はなまつり、成道会、涅槃会などの仏教行事を、かわいいイラストでファンタジックに表現しています。

出席カード（仏教版）２０１２年度版
税込３９０円（本体価格３７２円）
セットでのご使用がおすすめです！
出席シール（仏教版）２０１２年度版
税込２８０円（本体価格２６７円）

〒113-8611　東京都文京区本駒込6-14-9　電話03(5395)6608　http://www.froebel-kan.co.jp　フレーベル館

させて頂いたことはその中のほんの少し。それもたった三日間でも大変と感じましたが、その修業を何年もされている修行僧の方々の固い決意、揺るがない心に尊敬をしました。そんな厳しい生活の中でも笑顔で迎えて下さった修行僧の方々、そしてお世話をして下さった修行僧の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

講義では普段聞くことができない先生方の貴重な体験談等を拝聴させて頂きました。講義以外の時間でも講師の先生方が気さくに声をかけて下さり、講義以外の貴重なお話を聞かせて頂き、感銘を受けることばかりでした。

また、この研修大会には全国から先生方が集まっていらっしゃったので、各地の保育の現状を話し合ったり、自分たちが行っている保育を紹介し合うなど、新しい発見もありました。東北からは東日本大震災の被災地から参加している先生もいらっしゃり、震災当時や現状の厳しさ、そしてその中で感じる人の温かさなど貴重な話を聞かせて頂きました。

今回の研修では、曹洞宗のことや仏教保育を始めとし、様々な分野で見聞を広める良い機会となりました。ここで得た知識や気持ちを忘れず、今後の生活や職務に活かし、日々精進していきたいと思います。

【お詫びと訂正】本紙先月号（8月号・№580）の「第80回夏期仏教保育講習会で講師・関岡俊二先生の「仏教保育の話」の記事中で『日本や中国は小乗仏教』と記載しましたが、「大乗仏教」の誤りでした。謹んでお詫びし、訂正します。

暑中見舞

（到着順・敬称略）

松尾幼稚園
日仏保副理事長・園主事　日野　昭文
〒615・8296　京都市西京区松室山添町6
TEL 075・381・2591

大厳寺文化苑　大厳寺幼稚園・慈光保育園
苑主　長谷川匡俊
〒260・0812　千葉市中央区大厳寺町180・1
TEL 043・263・7965

新小岩幼稚園
園長　千葉　優子
〒132・0031　東京都江戸川区松島4・34・2
TEL 03・3651・0963

建中寺幼稚園
園長　村上　真瑞
〒461・0003　名古屋市東区筒井1・7・52
TEL 052・935・2172

鶴見大学短大部附属　三松幼稚園
園長　黒田眞喜子
〒230・0063　横浜市鶴見区鶴見2・1・3
TEL 045・573・8819

山科幼稚園・西念寺保育園
日仏保理事・園理事長　白籏　文雄
〒607・8076　京都市山科区音羽役出町1
TEL 075・581・3331

長寿院保育園
園長　鶴岡　明子
〒673・0877　兵庫県明石市人丸町2・26
TEL 078・918・1361

川中保育園
日仏保参務・園理事長　遠藤　友彦
〒462・0051　名古屋市北区中切町2・64・1
TEL 052・914・9607

社福・三井福祉会　三井保育所
所長　三井　雅弘
〒764・0032　香川県仲多度郡多度津町三井385・1
TEL 0877・32・4058

筑紫女学園大学短期大学部
学長　若原　道昭
〒818・0192　福岡県太宰府市石坂2・12・1
TEL 092・925・3511

明星保育園
園長　倉持やす子
〒369・1412　埼玉県秩父郡皆野町皆野1337・2
TEL 0494・62・5188

栄幼稚園
園長　橋本　幸雄
〒305・0015　茨城県つくば市松塚667
TEL 029・857・2231

もみじ幼稚園
日仏保運営審議委員・園長　妹川　真澄
〒300・0812　茨城県土浦市下高津2・10・22
TEL 029・821・1645

映徳学園　大谷幼稚園
日仏保理事・園理事長・園長　寺山　寛
〒038・1311　青森市浪岡浪岡字平野131
TEL 0172・62・5121

社会福祉法人　だん王夜間保育園
園長　信ケ原雅文
〒606・8387　京都市左京区川端通三条上ル法林寺門前町36
TEL 075・761・2211

社会福祉法人　だん王保育園
園長　信ケ原千惠子
〒606・8387　京都市左京区川端通三条上ル法林寺門前町36
TEL 075・761・2211

聖徳大学短期大学部
学園長　川並　弘純
〒271・8555　松戸市岩瀬550
TEL 047・365・1111
（学校法人聖徳学園理事長・聖徳大学学院長）

明願寺幼稚園
園理事長　花田　郁実
〒809・0034　福岡県中間市中間4・8・2
TEL 093・245・0419

「ほとけの子」は保護者向けの月刊誌です。
心の豊かさが求められる今日です。
仏教保育を主眼とした内容、
特に年５回の仏教行事の特集は、
行事説明だけに終わらない、
その道の諸先生方の御健筆が冴えています。
御購読下さいますようお薦め下さい。

公益社団法人 日本仏教保育協会編集
月刊 ほとけの子
定価120円(税込)
株式会社 宣協社
〒150 東京都渋谷区鶯谷町7-7 OHビル201号
TEL. 03-3463-1931(代)　FAX. 03-3463-0608

「ロールキャベツ系」が魅力的？

近頃「ロールキャベツ系」の男子がもてはやされているそうな。ロールキャベツは野菜のキャベツ（草食）に肉（肉食）を詰めて煮たものだが、これが草食系の優しげな容姿や振る舞いに肉食系の男らしさを秘めているというので、魅力的なのだとか。逆に、外見は肉食で中身が草食の男子を「アスパラベーコン巻系」と呼ぶのだという。いやはや、言い得て妙なる気がしないでもない。

首相の問責決議も可決され、国会は事実上の休会状態の体である。そして、いよいよ秋ごろの解散が強まり、衆議院総選挙の可能性が高まってきた。しかし、恋人選びではないのだから、選挙ともなれば「アスパラベーコン巻」や「ロールキャベツ」のような、外見と中身が違う人物を政界に送る愚かは避けなければなるまい。幼児期の教育・保育の重要性は、OECDの取り組みや諸外国の調査研究でも知られている。幼児期に育てておきたいことを真剣に考え、政策に反映してくれる人を選びたい。今度こそ、バラ色のマニフェストに惑わされないように目を凝らしたいと思う。

事務局日誌

8／2～3　第32回全国仏教保育栃木大会（日光・鬼怒川温泉「あさやホテル」）
8／1　曹洞宗「研修会」（大本山総持寺）
8／1～4　真宗大谷派「講座」（西本願寺他）8／4～5（求道会館／東京）8／12　同朋大学（東京）8／22～26　大谷大学（京都・真宗大谷派宗務所）
8／18～19　浄土宗「研修会」（静岡グランドホテル中島屋）
8／18～20　浄土真宗本願寺派「講座」（本願寺聞法会館）
8／24　真言宗豊山派「講話」（真言宗豊山派宗務所）
8／29～30　天台宗「研修会」（浅草寺）

編集後記

■普天間基地の横にある佐喜眞美術館。幅8m、高さ3mにおよぶ「沖縄戦の図」が展示されています。佐喜眞館長が修学旅行生にその絵の感想を尋ねたそうです。結果、最近の中・高生の中には、その絵の表現しようとしていることについて、何の感想も出てこない事態が散見されるようになり、「とても気になる」という話を何かで読みました。「過去の人と向き合う機会を持っていない若者たち」というように、佐喜眞氏は文章の中で表現されていました■過去との時間軸の中で、つながりを意識できないということは怖いことではないでしょうか。それは時間軸のみならず、仏教で言う「縁」の概念が希薄化しているのかも知れません■人はつながり合いの中で生きているのに、縁の不思議さを良くも悪くも感じ取れないような人を育ててはならないのではないでしょうか■親も子どもも、たくさんの出会いの中で縁を感じ取る感性を育て合いたいものです。（五島）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ　http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 上村映雄　編集人 高山久照
毎月1回1日発行（1部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-21
電話 〇三-三九四五-六六一二
ファクス 〇三-三九四五-六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/

ポップアップ絵本 おしゃかさま
¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ：W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33×D5.5×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

仏教保育

10 OCTOBER

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

「第2期教育振興基本計画」への意見

公益社団法人 日本仏教保育協会 理事長　上村 映雄

【意見】

P17 Ⅲ 四つの基本的方向性
P24～25 (4)絆づくりと活力あるコミュニティーの形成
P38～39 2―5 伝統・文化等に関する教育の推進
P43 基本施策4 幼児教育の充実【現状と課題】の4番目、5番目
P89 基本施策21 豊かなつながりの中での家庭教育支援の充実
右記諸項目を包括して、生命尊重の保育推進の仏教保育の観点から、また地域に根ざした幼保一体の現場から、ご意見申し上げます。

「第2期教育振興基本計画について(審議経過報告)第2部総論概要」にも示されているように、「我が国を取り巻く危機的状況」については、「少子高齢化の進展」や「非正規雇用の増大」等の「雇用環境の変容」に「震災の教訓」が大きく重なり、提起されている「四つの基本的方向性」の内でも特に、「4．絆づくりと活力あるコミュニティーの形成」に着目せざるを得ません。

すなわち、「地域社会、家族の変容」と「豊かさの変容」の課題です。このテキストには経済成長と物質的な豊かさを求める、止まるところを知らない「欲望のエネルギー」への批判的な、反省的な思いが込められているのだと理解されます。依然として加速化される欲望の力に抗する、貪り(むさぼり)や痴(おろかさ)を克服する智恵が求められています。この度の巨大津波の猛威や原発の顕在化した危険に対しての、「自立・協働・創造」を今後の社会の方向性としてもたなければならないとの「総論」に共感するものです。

そこで「成果目標や基本施策」の「施策19」および「施策21」に着目しました。

歴史を支えてきた地域の文化、教育、子育てといった「世代横断的な社会資本」は、地域の伝統的な「祭り」や日常の「祈り」を通して「感謝」や「畏れ」の念をもって培われたものです。そこには「神社仏閣」に手を合わすこと、「巨木や自然石」に頭を垂れること、あるいは仏教的遺産を大切にする心の働きが、人類そのものの歴史の一部としてあります。

学校教育のみでは培うことの難しい「社会を生き抜く力」を養うためにも、「地域づくりの担い手を育成する観点」から、全国で「生命尊重の保育の推進」にあたる「公益社団法人・日本仏教保育協会」各園は「心の教育」と「共生」に「協働」するパートナーの一員としてあります。

最後に、東日本大震災は多くの教訓と課題を私たちに残しました。特に陸前高田市の「奇跡の1本松」は万人の心を大きく揺さぶっています。7万本の松の中でたった1本生き残った奇跡の1本松は、悲しみと苦しみのシンボルであり、不屈・復興の印であり、「ありがとう」「よく生きた」の祈りと感謝の「巨大モニュメント」として再建されようとしています。地域の人々にとっては勿論のこと、全国の老若男女の「祈りの場」としてあります。

政教分離の論も承知しておりますが、このような伝統文化、自然への畏敬の念、生死へのかかわりが、家庭での教育力の再生と学校教育の強化に結合すると確信致します。

以上

4つの基本的方向性

「自立、協働、創造」をキーワードとして、個々人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを活かしていく社会を構築するために必要な、4つの教育行政の基本的方向性に関する趣旨・相互の関連。

1．社会を生き抜く力の養成
(～多様で変化の激しい社会での個人の自立と協働～)

2．未来への飛躍を実現する人材の養成
(～変化や新たな価値を創造・主導し、社会の各分野を牽引していく人材)

3．学びのセーフティネットの構築
(～誰もがアクセスできる多様な学習機会を～)

4．絆づくりと活力あるコミュニティの形成
(～社会が人を育み、人が社会をつくる好循環)

第32回全国仏教保育栃木大会

平成24年8月2日／あさやホテル（日光市・鬼怒川）

【記念講演】

テーマ

「みんなちがって、みんないい」

［講師］乙武 洋匡 さん

（ナチュラルスマイルジャパン取締役・作家）

「皆さん、こんにちは。今、僕はちょっと面喰っています。ホテル内での講演だと伺っていたので、こじんまりした部屋だとばかり思っていましたのに、こんな大きなホールで、こんなに大勢お集まり頂いて…、有難うございます。精いっぱいお話させて頂きます。最後までよろしくお願いします」。舞台の袖から電動椅子を操りながら登壇した乙武さんは開口一番こう話されて、目を細めながら暫く会場を見まわしていました。以下は要約です。

◆　◆

今、日本中がオリンピックで沸いています。体操の内村選手をはじめ、柔道、水泳、サッカーと、日本人の活躍は目ざましいですね。皆さんには、それぞれ注目していらっしゃる競技があると思います。

実は、僕は大学を卒業してから7年間ほどスポーツライターという仕事をしていました。その当時、取材でお世話になった選手が今開催中のロンドンオリンピックでも活躍しておられます。なでしこジャパンの澤穂希選手、あの方もそのお一人です。10年近く澤さんを取材させて頂きましたが、今も親しくさせて頂いています。ですから、オリンピックでの活躍に僕も一喜一憂しています。ところで、皆さんご存知ですか？　オリンピックの舞台に臨むには、たくさんお金がかかります。水泳の北島康介選手くらいのクラスになればCMや本の出版などの収入もありますから今は心配ないでしょうが、大部分の選手は経済的に厳しい環境の中で練習に励んでいるのです。

例えば、きょうの新聞で報道されていた射撃の小西ゆかり選手、あの人はラーメン屋さんで時給850円のバイトをしながら競技を続けてきました。1時間の時給は36発の弾を撃てば消えてしまうそうです。選手たちはそんな涙ぐましい努力をして辿り着いたオリンピックという晴れの舞台で、メダルをめざして戦っているのです。栄冠に輝いた選手たちに「感動ありがとう」という気持ちはよく分かりますが、僕らは感動の「良いとこ取り」をしてるんじゃないか、そう思うんですよね。4年間、いや5年、10年と練習に打ち込んできてやっと勝ち取った一瞬の成功を、僕らは『感動』という言葉だけを共有しているように思うのです。その興奮が冷めると忘れてしまう…。その背景にあったであろう選手たちの歩みに思いをはせると、オリンピックの見方も変わってくるのではないでしょうか。

子どもの発想は素晴らしい

スポーツライターとして活動していた僕でしたが、2007年4月から3年間、東京都の杉並区にある小学校に教員として奉職しました。1年目はクラス担任はありませんでしたが、2年目からヤングエイジと呼ばれる元気いっぱいの3年生を、その後4年生を受け持つことになりました。最初の始業式の当日、「新しい先生ですよ」と子どもたちの前に現れますと、僕の身体を見た子どもたちは皆びっくりします。でも、大人と違って子どもは正直というか、無邪気といいますか、不思議に思ったことをストレートに聞いてきます。「先生、何で手がないの？」「足、どうしたの？」「どうやって字を書くの？」、次々と疑問をぶつけてきます。

僕がどのようにして字を書くか、ここに色紙を用意してくれていますので、ご覧にいれましょうか？（拍手）《ここで乙武さんは左のほっぺと左の腕の間にペンを挟み、色紙に向かって体を揺らすようにして、あっという間にご自分のサインを書きあげました》（大拍手）。

僕は左利きですから、腕は短くても左腕にペンを挟んで書くわけです。子どもたちにもこんなふうにして書いて見せると、「ふ～ん、そうやって書くのかぁ～」と納得してくれます。

最初の1年間は担任を持っていなかったので、給食の時間には1年生から6年生までのどこかのクラスで子どもたちと一緒に食べました。スプーンとフォークを使って給食を食べている僕の姿に、初めのうちは好奇の目で見られていましたが、段々に子どもたちの心の壁も取り払われ、打ち解けてくれるようになりました。

ただ、どうしてもできないことがあります。果物の皮むきです。例えば「みかん」。給食にはよく「みかん」が出ます。でも、子どもたちが先を争ってむいてくれました。それから「牛乳」です。当時、牛乳はビンに入っていて、フタは紙でできていました。あのフタって、爪のある人でもちょっと取りにくいですよね。僕には至難の業です。しかし、子どもたちが「先生の牛乳のフタ、私が取ってあげる」「きょうは僕がやるんだ」と、牛乳ビンを奪い合いすることもありました。子どもたちのこうした奪い合いは、僕には嬉しい採め事でもありました。子どもって、こちらが心を開けば響くように応えてくれます。

学校に赴任して以来、毎朝僕は登校してくる子どもたちを校門の傍で「おはよう」と、一人ひとりに声を掛けながら迎え入れていました。4月のある朝、入学して間もない1年生の男の子が門の脇にいた僕の所へ来て手をにぎり、「ねえ、先生の手って、秋になったらどうなるの？」と聞かれたのです。これまで30年以上、いろんな質問をされてきましたので大抵のことには動じないのですが、この問いには参りましたね。自分の腕の季節感を問われたのは初めてでしたから(笑い)。「う～ん、そうだねぇ。実がなるようなことはないと思うよ」と、苦しい返事をしましたが、これは忘れられない質問でした。

でも、上には上があるものですね。実は僕、4歳と2歳の二人の息子がいるんです。上の子が幼稚園に入ったので、近くの児童館に子どもたちを連れていくことが多くなりました。そんなある時、女の子が「おじちゃん一緒にあそぼ」なんて声をかけてくれましてね。「いいよ、遊ぼう」と言ったら彼女、大量の粘土を

持ってきて僕の腕にその粘土を押し付けてくるんです。「何をするの？」と聞くと、「おじちゃんの手、作ってあげるの」。ファンタジーじゃないですか。子どもの発想って本当に素晴らしいと思いました。

こんなこともありました。あれは夏休みを控えた暑い日でした。数人の女の子がおしゃべりしている傍を通りかかった時、一人の女の子が「先生、靴のサイズいくつ？」って聞かれたのです。「先生は靴、履かないから」と言うと、「あっ」という顔をしました。どうやら、上履きのサイズのことを話し合っていたらしいんですね。僕は「しめた！」と思いました。僕の足がないこと、彼女たちは忘れてくれていたのですから。

似たようなことは、時々あるんです。愛媛の道後温泉の街を事務所の仲間たちとぶらついていた時、「足湯」を楽しんでいる人を見かけた仲間の一人が「乙武さん、ちょっと足湯にでも浸かっていきませんか」と言うのです。「お前ね、僕が足湯に浸かったら半身浴になっちゃうよ」。仲間内でも、僕に手足がないことを忘れているみたいなんですね。しょっちゅう一緒にいると、僕が車椅子を使っていることにも違和感がなくなるのでしょうか。靴のサイズを聞いた女の子も同じ感覚だったのでしょう。

4月に赴任した時は『ずいぶん違う形をした変な人がやってきたな』と、おっかなびっくりの子たちも、毎日一緒に勉強したり給食を共にしたりしているうちに、いろんなことを教えてくれる先生の一人、そんな感覚で捉えてくれるようになったのだと思います。

僕は36年間、こんな体で生きてきました。しかし、差別や偏見など感じたことはほとんどありません。僕が鈍感な神経の持ち主だったのかも知れませんが、それ以上に周りの人たちに恵まれていたと思います。確かに車椅子で道を通っていると、「なに、あれ？」と指をさされたり、「うわっ、気持ち悪い」と顔を背けられたりもしました。

皆さん、ちょっと考えてみてくれませんか。それって、障害者に対する偏見で指をさすのでしょうか。差別からくる感情が「気持ち悪い」という言葉になるのでしょうか。もちろん、そうかも知れません。そうでないかも知れません。でも、いきなり目の前に普通でない形の人間が現れたら、びっくりしたり、気持ち悪がるのは当然だと思います。

僕が教師にかき立てられた理由

スポーツライターだった僕がなぜ教員という道を選ぶことになったのか、そこには僕の中で大きな転機があったのです。

今から9年前の2003年、長崎で起きた事件です。当時4歳だった男の子が家族とショッピングセンターに行った時、両親がほんの一瞬目を離したすきに何者かに連れ去られ、少し離れた立体駐車場の屋上で衣服を剥がされ、ハサミで体を傷つけられて突き落とされるという残虐な事件がありました。犯人は当時12歳、中学1年生の男の子でした。その翌年、やはり長崎で小学校6年生の女の子がクラスメイトをカッターナイフで切り殺すという事件が起こりました。マスコミは「凶悪犯罪の低年齢化か」とセンセーショナルに報道しました。

被害者は実に可哀相です。そして、ご遺族の無念もよく分かります。本当にお気の毒です。もとより加害者は許されるものではありません。が、しかし…、僕の感想はちょっと違ったのです。事件を起こしてしまった少年・少女にも、そうしないではいられなかった何かの事情があったハズ。「今、ぼくは苦しいんだよ」「私、このままだと壊れちゃうよ。誰か助けて！」。辛く、苦しい状況に追い詰められた彼らは、きっとこんな『SOS』を出していたに違いありません。誰かが気付いて軌道修正してあげていれば…。そんな思いがしたのです。

僕は見ての通り、生まれながらの「五体不満足」。世間から憐れみや同情されながらも、好奇の目で見られるのも当たり前だったと思います。でも、両親、学校の先生、近所のおじちゃん、おばちゃんたち、周りの人はみんな温かい目で見守ってくれました。時には厳しく、そして大きな愛情を受けて僕は育ちました。そんな周りの人たちに僕は感謝しながら大人になりました。だから、今度は僕が大人の立場で次の世代の子どもたちに恩返し、というより〝恩送り〟というつもりで、役立てていけることはないだろうか。そんな思いから29歳の時にもう一度大学に学んで教員免許を取り、先ほどお話のように3年間、教員生活を送りました。

「ジグソーパズル」のクラス作り目指す

僕は、どんなクラス作りを心掛けてきたか。それは「ジグソーパズル」のようなクラスです。皆さんも知っての通り、ジグソーパズルのピースはどれ一つとして同じ形のものはありません。出っ張ったり引っ込んだり、実に歪な形ばかりです。それを組み合わせていって美しい絵や写真が出来上がります。完璧な形をした子どもなんていません。デコボコしていて当たり前なのです。そして、誰にも得意・不得意があります。「それできるよ、僕」「私、これって苦手なんだ」と話し合いながら、苦手なことは得意な子に補ってもらい、支え合って目標に進んでいく…そんなクラスを目指しました。

教員だって、保護者だって、できないことはたくさんあるじゃないですか。両手・両足のない僕がどうしてもできないことは、子どもたちが補い助けてくれた。助けたり助けられたり…、「助け合う」って素晴らしいことだと思います。長崎の悲しい事件も、誰かが加害者である彼らの気持ちを汲み取ってあげることができていれば…、そんな思いを僕は痛感したものです。

『みんなちがって みんないい』これは、きょうの僕の講演テーマです。この言葉は皆さんもよくご存知の、金子みすゞさんが書かれた『私と小鳥と鈴と』という詩の一節です。『私が両手を広げても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥は私のように、地べたを速くは走れない。私が体をゆすっても、きれいな音は出ないけど、あの鳴る鈴は私のように、たくさんな唄は知らないよ』このように、みすゞさんはできないことを並べ、最後に『鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって みんないい』と結んでいます。素晴らしい詩ですよね。

そうなんです。一人ひとり違っているからこそ、人間って素晴らしいのではないでしょうか。できること、できないこと、お互いに認め合って、それを補ったり、支え合ったりすればいい。そして、許し合えばいい。僕の話で、少しでもそんな気持ちになって頂けたら嬉しく思います。有り難うございました。（大拍手）

印度山日本寺40周年・菩提樹学園35周年・光明施療院30周年

「インド6大仏跡参拝の旅」へのご案内

平成25年(2013)1月21日(月)～1月29日(火)9日間

平成25年には印度山日本寺40周年、菩提樹学園35周年、光明施療院30周年と、それぞれ節目の年を迎えます。1月23日は、それぞれが迎える周年の記念参拝を執り行います。お釈迦様お悟りの地ブッダガヤにおいて、長年にわたって行われ親しまれてきた幼児教育・福祉事業・地域医療等の活動現場を視察するとともに、お釈迦様の足跡を訪れる旅です。気候も良くゆったりとした旅程ですので、安心して楽しめます。皆さまのご参加をお待ちしています。

	月日曜	都市名	交通機関	時刻	日程	食事
1	1月21日(月)	各地空港発 バンコク着	タイ国際航空 専用バス	午前 午後	成田・関空・中部・福岡空港発、タイ国際航空にてバンコクへ 専用バスにてホテルへ ホテル内レストランにて夕食【結団式】 ※添乗員は成田・関空・中部・福岡空港のいずれかより同行し、バンコクにて合流いたします。(バンコク泊)	朝 × 昼 機 夕 ○
2	1月22日(火)	バンコク バンコク発 ガヤ着 ブッダガヤ	専用バス TG－327 専用バス	午前 12：10 14：00 午後	ホテルにて朝食 専用バスにて空港へ タイ国際航空にてガヤへ 着後、専用バスにてブッダガヤへ 成道の地ブッダガヤ参拝「大塔、金剛宝座、菩提樹」 ホテルにて夕食(ブッダガヤ泊)	朝 ○ 昼 機 夕 ○
3	1月23日(水)	ブッダガヤ	専用バス	終日	ホテルにて朝食 印度山日本寺に於いて記念参拝 ブッダガヤ参拝「尼蓮禅河、スジャータ村」 ホテルにて昼食 ホテルにて夕食(ブッダガヤ泊)	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	1月24日(木)	ブッダガヤ ラジギール ナーランダ ヴァイシャリ	専用バス	午前 午後	ホテルにて朝食 専用バスにてラジギールへ かつての王舎城ラジギール参拝「霊鷲山、竹林精舎、ビンビサーラ王の牢獄跡」 ホテルにて日本食の昼食 玄奘も学んだ「ナーランダ仏教大学跡」見学 専用車にてヴァイシャリへ ホテルにて夕食(ヴァイシャリ泊)	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	1月25日(金)	ヴァイシャリ ケッサリア クシナガラ	専用バス	朝 午前 午後	ホテルにて朝食 ヴァイシャリ参拝「仏塔跡、アショカ王の石柱」 専用バスにてケッサリアへ お弁当の昼食 ケッサリア大塔参拝 専用バスにてクシナガラへ 途中、「チュンダの村」参拝 ホテルにて夕食(クシナガラ泊)	朝 ○ 昼 弁 夕 ○
6	1月26日(土)	クシナガラ ルンビニ	専用バス	朝 午前 午後	ホテルにて朝食 クシナガラ参拝「涅槃堂、荼毘塚など」 専用バスにてルンビニへ ホテルにて昼食 カピラ城跡ティラウラコット参拝 ホテルにて夕食(ルンビニ泊)	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	1月27日(日)	ルンビニ ベナレス	専用バス	朝 終日	ホテルにて朝食 ルンビニ園参拝 専用バスにてベナレスへ 途中、お弁当の昼食 ホテルにて夕食(ベナレス泊)	朝 ○ 昼 弁 夕 ○
8	1月28日(月)	ベナレス サルナート ベナレス発 バンコク着 バンコク発	専用バス TG－328 タイ国際航空	早朝 午前 16：30 21：15 深夜	ガンジス河にてヒンドゥー教徒沐浴風景見学 ホテルにて朝食 専用バスにてサルナートへ 釈尊初転法輪の地サルナート参拝「迎仏塔、ダメーク塔、考古学博物館、ムルガンディクティビハーラ」 空港のレストランにて昼食 タイ国際航空でバンコクへ バンコクにて乗り継ぎ タイ国際航空にて帰国の途へ(機中泊)	朝 ○ 昼 ○ 夕 機
9	1月29日(火)	各地空港着		朝	成田・関空・中部・福岡空港到着。 入国手続き後、解散。	朝 機 昼 機 夕 ×

※上記の日程は、交通事情等により変更する場合があります。

各宗派［夏期保育研修会・講習会］大会報告

【浄土真宗本願寺派】「第50回 まことの保育講座」

本願寺派保育連盟研修委員（東京）
高輪　真澄

浄土真宗本願寺派では8月18日より20日まで、京都西本願寺、聞法会館にて本願寺派保育連盟「第50回まことの保育講座」を開催しました。参加者は北海道から鹿児島まで45名。スタッフは宮川保育連盟理事長を含め8名及び事務局4名でした。

この講座は3年以上の経験のある保育者を対象に、現在それぞれ参加者が持っている保育や人間関係、いのちなどについての悩みや疑問について、仲間と話し合いながら解決していくという講座で、毎年開催されています。

阿弥陀堂での開会式後、本願寺聞法会館に会場を移し、基調講演。講師は久留米筑水高校で「いのちの教育」を進められた、高尾忠男氏。ニワトリをひよこから育て、最後は調理して食べる、その中で「いのち」について子どもたちと一緒に格闘した経験をお話いただいた。その後7名から8名の班に分かれ、班別討議を行いました。それぞれの討議では今悩んでいることとして、「いのち」について、保護者や職場の「人間関係」について、気になる子について、そして食育などについて班員からや、指導の先生より意見やアドバイスをもらい解決していきました。

一日目には、朝のお参りの後、国宝や重要文化財などがある、本願寺書院や飛雲閣の拝観、班別討議、歌の練習など気分転換を図りながら、班別討議をびっしり行いました。その頃には班内も打ち解け、活発な討議が繰り広げられました。

三日目はまとめと全体討議です。各班の討議を発表できるようにまとめ、全体の場で報告します。指導員より共通のコメントなどをいただきました。

この講座は毎年行われていますが、指導員として参加している私にとっては、いつも新鮮な驚きや発見があります。真剣な悩みをそのまま受け取り、みんなで話し合う、そこに共通理解が生まれ、解決への道筋が見えてくるのです。

大変暑い京都で本山の中で、みんなで汗をかきながら話し合う、そんな研修会でした。

日本仏教保育協会編集による出席カードです。
仏教行事を楽しい絵柄で構成しています。

はなまつり、成道会、涅槃会などの仏教行事を、かわいいイラストでファンタジックに表現しています。

出席カード（仏教版）２０１２年度版
税込３９０円（本体価格３７２円）
セットでのご使用がおすすめです！
出席シール（仏教版）２０１２年度版
税込２８０円（本体価格２６７円）

〒113-8611　東京都文京区本駒込6-14-9　電話03(5395)6608　http://www.froebel-kan.co.jp　フレーベル館

【日蓮宗】「第58回日蓮宗保育研修長崎大会」を終えて

日蓮宗保育連盟事務局長(栃木)
荒居　養雄

日蓮宗保育連盟主催、第58回保育研修長崎大会は「伝えよう　みほとけの心を園から家庭に」の研修テーマのもとに、7月28日、29日の二日間、長崎県佐世保市ハウステンボスに隣接した「ホテルオークラJRハウステンボス」を会場に開催されました。今回も日本全国から、連盟加盟の幼稚園、保育園、大学等より約231名の設置者、園長、教諭、保育士、職員等が参加し盛大に行われました。

大会一日目は、まず開会式において、地元、妙宣寺保育園の先生による献灯・献華、参加者による宗歌「立ち渡る」讃仏歌「ささぐみあかし」「蓮の花」の斉唱、法味言上と続きました。主催者濱田文護理事長挨拶後、日蓮宗宗務総長ご名代中井本秀伝道部長をはじめご来賓の各聖よりご祝辞を、地元長崎県妙宣寺保育園長小佐々恵宏先生から歓迎のあいさつを頂きました。その後永年勤続(30年8名、20年4名、10年14名)の表彰、記念写真撮影と続き、開会式は閉式しました。

続いての記念講演は、地元、南島原市立口之津小学校教諭福田泰三先生より「食と言葉の力で子どもを元気に」と題し、「若年層の低体温の現状と、それを解消する食生活チェックシートと〝みそ汁の日〟」をテーマに具体的な映像やパワーポイントを駆使して食に対する情熱あふれるお話をうかがいました。

続いて、立川流立川志遊師匠による「独り語り日蓮聖人御伝記(由比ガ浜)」の落語を拝聴しました。日頃落語を聞く機会があまりない参加者にとっては、落語を通して日蓮聖人の生涯を興味深く聞くことができ、日蓮聖人への理解をさらに深めることができました。落語の話術等、保育の現場にて生かせる良い研修となりました。

夕食を兼ねた懇親会は、多くの来賓の方とともに情報交換の場として有意義な時間を過ごせました。特に長崎ならではの蛇踊りや、ジャズバンド・スティールパンの生演奏等で大いに盛り上がりました。

大会二日目は、長崎県布教師会長岩永泰賢上人から「こどもの声は魔を払う…仏と神と人を結ぶ」の演題による晨朝法話を拝聴しました。保育の現場で人とのかかわる際に必要な多くのヒントをいただきました。

次に宮崎県宮崎たちばな保育園主任首藤郁子先生により「保育者の資質向上を図る～園内研修の取り組みから見えてくる

公益社団法人 日本仏教保育協会は
水上 勉 作「釈迦内柩唄」
(劇団「希望舞台」が上演)を
推薦します。

水上勉さんの代表的な作品の一つとして知られる「釈迦内柩唄」は、いくつかの劇団が上演しています。

この作品は、秋田県の釈迦内村で代々火葬場の仕事をしている家族と、その仕事を引き継ぐ娘の物語です。

時代は昭和20年頃。『身に降りかかる不条理を受け止めて生きようとする時、人は限りなく優しく豊かになる』どのような状況に置かれてもなお人を信じ、正しく生きようと願う〝人間としての生き方を問い直す〟作品です。

当協会では一〇〇〇回の上演を目指して旅を続けている劇団「希望舞台」の『釈迦内柩唄』を推薦します。

もの～」「保育に役立つ遊び紹介と実技」と題して実技研修が行われました。園内研修の大切さを学び、折り紙を使った楽しい実技の時間となりました。なお設置者・園長先生方はこの時間と並行して別会議室での総会に出席し、議案はすべて承認されました。

閉会式では研修生代表謝辞、25年度次期開催地の富山市立正幼稚園草野寛行先生の挨拶により来年の再開を期し、長崎大会は無事終了しました。

【真宗大谷派】第56回 仏教保育大学講座

銀の鈴幼稚園（東京）
園長　五島　満

第56回を数える仏教保育大学講座が浄土真宗本願寺派が事務局となり開催された。

京都市、西本願寺で開講式が行われ、浄土真宗本願寺派、真宗大谷派、興正寺派、仏光寺派の保育士、幼稚園教諭が133名参加された。

記念講演は鷲田清一氏（哲学者・大谷大学教授）。「保育に大切なことは、生きている楽しさ、自己肯定感、安心感。絶対に子どもを見捨てないのが親であるということを、子どもの心に植え付けていくことが保育の仕事ではないか。」と語られた。

また四日間を通じて講義を頂いた、長倉伯博氏（浄土真宗本願寺派 善福寺住職 滋賀医科大学非常勤講師）は、医療の現場、特に終末看護のターミナルケアの現場から提起された「いのち」の問題を語られた。余命無き人と心通じ合うまでに苦労した体験など、参加者は真剣に聞き入っていた。

会場となった龍谷大学・旅館洛兆では講座スタッフが担当となり、13班、全7回の班別討議を通じて、自らの保育を見つめ直しながら、子どもに向かい合う自らの姿勢をじっくりと話し合った。

最終日に受講証が参加者全員に手渡されて閉講した。

なお8月には（公社）大谷保育協会主催、全4回にわたる保育心理士養成講座、保育心理士取得講座が北海道、東京、名古屋、京都を会場に開催された。

「古屋賞」受賞のチャイルド社から感謝と喜びの声届く！

第32回全国仏教保育栃木大会で「古屋賞」を受賞された株式会社チャイルド社から、過日お礼の手紙が本部事務局に寄せられました。

「古屋賞」は、全国の支部または団体・個人による仏教保育に関する実践的な研究活動および運営に当たって成果を挙げていると認められる者を顕彰するもので、「持田賞」とともに全国仏教保育大会の席において、表彰状と助成金を贈呈しています。

今大会では、永年にわたる仏教保育教材の製作・普及に貢献された功労により、株式会社チャイルド社が表彰されました。

チャイルド社からは、「これからも幼児教育界におけるあらゆるニーズに応えることを通して、幼児教育および幼児文化の発展・向上に貢献します」という決意に添えて、「頂いた助成金で、高性能なデジタルカメラを購入しました」と綴られていました。

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

「ヘリコプター・ペアレント」増える！

～母よ、あなたはやっぱり強かった～

近年、大学生になっても子離れしない親が頓に増えたという。大学受験のための情報集めから進路の決定、果ては就活に至るまで東奔西走する親が急増し始めたというのだ。こうした親を「ヘリコプター・ペアレント」と呼ぶそうな。頭上を旋回しながらわが子を見守り、何かあると直ぐに降りてきて指示をしたり、助け舟を出すという揶揄である。

アメリカから入ってきた言葉だが、日本の大学生の親に多いらしい。特に、母親の活動は目覚ましいそうである。〝母性の強さ〟と括るには、ちと行き過ぎのようにも思えるのだが如何なものか。

「かじられて　スネ4本が　行く足湯」というオリックスのマネー川柳が浮かび、思いが重なった。疲れたふた親が〝棒になった足〟を並べて湯に浸る図は、滑稽にも思えるのだが…。子どもはそんな親の様子を何と観ているのだろう。聞いてみたいものである。

事務局日誌

9／6　「仏カリ」「仏教保育」編集会議
9／12　事務局会議
「ほとけの子」編集会議

編集後記

■子育て関連の3法が施行される。新幼保連携認定こども園は、国、地方公共団体、学校法人または社会福祉法人に限るらしい。現在、私立園を考えてみると、日本の幼児教育・保育を支えてきたのは、学校法人、社会福祉法人立の園だけではないのは皆さんもご存知だろう。仏教保育が行われている私立園は学校法人、社会福祉法人だけではないのも皆さんはご存知であろう。一体施設、一元化という流ればかりクローズアップされているが、戦後の保育の二元行政の中で真摯に仏の教えを幼児に伝えてきたのは、法人の形が時代の流れでどう変わろうとも、私たち仏教園であったわけだ■今回の新幼保連携認定こども園には宗教法人立からの参入はできないことになった。この重要決定を私たちはどう捉え、対応していくのか、加盟園の皆さんの声を今こそカタチにしたい。

（福井）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ　http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 上村映雄　編集人 高山久照
毎月1回1日発行（1部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ：W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33 × D5.5 ×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／ PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6－4－21
電話 〇三－三九四五－六六一二
ファクス 〇三－三九四五－六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/

仏教保育

11 NOVEMBER

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

新制度が描く「子ども・子育て関連3法」とは

～地方自治体向けの説明会を受けて～

公益社団法人 日本仏教保育協会 理事長　関岡 俊二

「子ども・子育て関連3法案」が成立し、25年度中には需要調査が行われ、平成27年4月から動き出す見通しとなったことは周知の通りです。法律の施行は、消費税10％実施予定の同年10月からとなっています。その消費税から投入される子ども・子育て関連財源は7000億円が見込まれていることも公表されています。そして9月28日、内閣府・文部科学省・厚生労働省の3府省が、実施主体となる地方自治体向けに子ども・子育て3法に関する説明会を行いました。それを受けた地方自治体では、行政や事業者の周知徹底を図るため、東京都をはじめ、神奈川県、千葉県などは、子ども・子育て関連3法や認定こども園の認可に関する留意点などについて、説明会を実施し始めましたが、新制度自体がよく分からないとの声も多く、施設型給付等における単価水準などについても疑問が相次いで寄せられています。

そこで、新制度のポイント、これからのスケジュールなど、事業者として関心事のある事項について改めて確認してみたいと思います。

■制度設計の基本

実施主体は市町村。市町村が当該地域のニーズに基づいて子ども・子育て支援事業計画を策定し、給付・事業を進めることになっています。保育の必要性の認定等の基準については地方自治体、有識者、事業主代表、労働者代表、当事者などが参画します。

基本的なメニューは、給付および事業で、子ども・子育て支援給付は、認定こども園、幼稚園、保育所を通じ、共通の給付である施設型給付、家庭的保育などの地域型の給付と児童手当などの現金給付があります。また、これまでバラバラであった子ども・子育ての支援施策が市町村の給付・事業を通して、一体的に展開していくことになります。

■利用の仕組み

利用者は先ず、保育の必要性の認定を受けて保育を利用できる権利を得ます。必要な保育時間の認定は月単位となっています。

施設型給付は個人給付だけとなっていますが、私立保育所については当分の間、委託費となります。市町村には保育実施義務がありますので、市町村と利用者が契約し、市町村が委託費を支払うことになるからです。保育料も市町村が徴収します。

■給付内容

施設型給付は、満3歳以上の幼児に対する「標準的な教育時間」と「保護者の就労時間」に応じた保育に対応する給付と、満3歳未満児の保護者の就労時間に応じた保育に対応する給付で構成されています。保護者の就労時間に応じた保育については、長時間と短時間の単価を設定します。保育所では、保育者の勤務年数に応じて運営費を加算する民間施設等給付改善費で処遇改善が行われていますが、給付設計全体を検討する時点で職員の待遇改善を考慮することになっています。

施設型給付の幼稚園は、標準的な教育時間に対応する給付に限り適用されます。保育の必要性の認定を受けた子どもを受け入れる場合には、幼稚園型認定こども園にならなければなりません。保育の必要性の認定を受けない子どもに対する一時的な保育については、市町村事業の一時預かり事業で対処することになっています。

■これからのスケジュール

消費税8％引き上げは平成26年4月、10％実施は平成27年10月が予定されています。従って、子ども・子育て支援の新制度の実施が予定されるのは平成27年の10月以降、場合によっては翌28年4月からということも考えられます。子ども・子育て会議が設置されるのは平成25年4月と思われます。その会議において、子ども・子育ての意義や市町村の事業計画策定等の指針をはじめ、新たな幼保連携型認定こども園の設置基準なども検討・決定されることになるでしょう。

（＊子ども・子育て関連3法の今後の動き、幼稚園教諭免許と保育士資格の一元化等については、機会を改めて探ってみたいと思います。）

訃報

公益社団法人 日本仏教保育協会
上村映雄 理事長
（ほぜんじ幼稚園）急 逝!!

当協会理事長　上村映雄先生が、平成24年10月11日、遷化されました。世寿83歳でした。

上村映雄先生は、昭和4年（1929）2月22日、東京都中野区・保善寺にて生を受けました。昭和4年は日本仏教保育協会が発足した年でもあります。昭和26年（1951）駒澤大学文学部仏教学科を卒業し、中野区立江古田小学校に教諭として奉職。同区内の桃園第三小学校、桃が丘小学校を歴任の後、昭和37年（1962）4月に私立ほぜんじ幼稚園の主事となり、幼児教育者としてのスタートを切りました。

一方、聖徳学園短期大学幼稚園教員養成所（現・聖徳大学幼児教育専門学校）講師、鶴見大学女子短期大学部保育科（現・鶴見大学短期大学部保育科）教授等を歴任し幼稚園教員の育成に力を注ぐとともに、文部省の幼稚園教育指導書の編集に携わるなど、幼稚園教育一筋に歩んでこられました。

平成4年（1992）、曹洞宗保育連合会副理事長、平成9年（1997）に同連合会理事長に就任、現在に至るまで曹洞宗保育の振興に尽くされました。

また、地元中野区では平成5年（1993）から同24年（2012）3月までの19年間の長きにわたり、私立幼稚園連合会会長を務め、その振興に貢献されました。日本仏教保育協会においては、社団化以前より協会の運営に携わり、昭和44年（1969）の社団化後は、評議員や常任理事を歴任され、インド菩提樹学園創設にも力を入れ、インドの貧しい子どもたちの教育にも情熱を注ぎました。平成5年5月には社団法人日本仏教保育協会理事長に就任、遷化当日までその振興に力を尽くし続けてこられました。

また、平成20年（2008）に「新公益法人制度」が施行されると、直ちに公益社団法人化に向けた「将来検討委員会」を設置し、平成24年4月1日を期して公益社団法人化を実現。先生の功績は内外に高く評価されています。

平成18年（2006）には東京都教育功労賞を受賞されました。仏教を理念とした幼児教育に生涯を貫いた巨星・上村映雄先生の急逝は惜しまれてなお大きく余りあるものがあります。

先生のご功績を称えるとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

【主な著書】

＊上村先生の著書の一部と近著をご紹介します。

『幼稚園学級経営の実際』（すずき出版）
『仏教保育内容総論』（チャイルド本社）
『幼稚園幼児指導要録記入の実際』（チャイルド本社）
『絵本・母と子の仏教童話』5巻（国書刊行会）
『保育に活かす「ことばの指導」』（ひかりのくに）
『幼児のしつけ99章』（すずき出版）
『みんなの仏教　わかるかな？』（宣協社）

＊このほか、幼児教育行政・学級経営等をはじめ、仏教保育の指導書等多数。

公益社団法人 日本仏教保育協会

故 上村映雄 理事長 本通夜 本葬儀 ご案内

当協会理事長　上村映雄が　平成24年10月11日　遷化いたしました。

ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでご通知申し上げます

なお　通夜並びに密葬の儀は近親者にて相済ませました

つきましては本通夜　本葬儀は左記の通り執り行います

記

一、本通夜　平成24年11月24日（土曜日）　午後5時～
一、本葬儀　平成24年11月25日（日曜日）　午後1時～
一、場　所　自坊　保善寺
（東京都中野区上高田1－31－2）

※駐車スペースがございませんので、お車はご遠慮ください

喪　主　上村勇雄

公益社団法人日本仏教保育協会理事長に関岡俊二（せきおかしゅんじ）先生 就任

上村映雄理事長ご逝去を受けて、10月25日に全日本仏教会会議室において理事会を開催、理事長並びに副理事長の選任について審議を行いました。

理事29名中17名の理事が出席、更に堀山監事、高山事務局長が加わり「新理事長選任」と「副理事長選任」の審議が行われました。

審議の結果、新理事長に関岡俊二理事が就任することを満場一致で承認し、同理事もその任に就くことを承諾しました。

副理事長選任についても同様に審議され、縁谷一雄理事、日野昭文理事、三浦俊彦理事、栗原信明理事の4名の就任を満場一致で承認しました。

■関岡俊二理事長のプロフィール

昭和17年（1942）3月17日生まれ、70歳。現職、学校法人高西寺学園多摩みゆき幼稚園（東京都多摩市）理事長・園長。曹洞宗龍澤寺および高西寺住職。

法政大学経済学部卒。玉川大学通信課程において幼稚園教諭二種免許を取得。保護司、多摩青少年委員、多摩市私立幼稚園協会会長を歴任。曹洞宗東京都保育協会会長、曹洞宗保育連合会監事、麻布仏教会会長、公益社団法人日本仏教保育協会副理事長等を歴任。

「平成24年度東日本大震災義援金について」

昨年度に引き続き、東日本大震災の義援金の募集を開始したところ、たくさんの方からご協力いただきました。厚くお礼申しあげます。

義援金合計金額　1，819，943円（10月15日現在）

お預かりいたしました義援金については、24年度内に配布させていただく予定にしております。なお、義援金は引き続き募集いたしますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【義援金受付口座】

《郵便振替》

●口座番号　00150-6-715965

●加入者名　公益社団法人 日本仏教保育協会義援金本部

＊振り込み手数料は当協会で負担いたします。専用の用紙をお送りいたしますのでご連絡ください。

＊この口座は「義援金専用」です。義援金以外の送金はご遠慮ください。

＊当協会より既に送付している振替用紙（暑中見舞・生命尊重など）は義援金の専用ではありませんので、ご利用なさいませんようお願い申し上げます。

《銀　行》

三井住友銀行浜松町支店

●口座番号　（普）3093840

●口　座　名　公益社団法人 日本仏教保育協会

ご案内

第3回理事会 第2回運営審議委員会

日時　平成25年1月17日（木）15時～16時30分

会場　増上寺光摂殿講堂

関西地区連絡協議会

日時　平成25年2月5日（火）
・報告会　15時～16時30分
・懇親会　17時～

会場　ホテルグランヴィア京都

養成機関連絡協議会

日時　平成25年2月22日（金）
・協議会　16時～17時30分
・懇親会　18時～

会場　芝パークホテル本館2階「桜」

【お詫びと訂正】本紙『仏教保育9月号』（No.581の3ページ）に記載した「第33回全国仏教保育京都大会」の開催日程に誤りがありました。正しくは平成26年7月26日（木）・27日（金）です。茲に謹んでお詫びし訂正いたします。

平成25年度 幼児教育関係概算要求の概要

文部科学省は9月下旬、平成25年度予算の概算要求の概要を公表しました。幼児教育関係概算要求額はおよそ12%(25億8100万円)増の242億200万円を要求しました。私立幼稚園に係る補助単価を引き上げるとともに、第3子以降の無償化など保護者の負担軽減補助対象を拡大し、保護者の所得状況に応じた経済負担の軽減を図っています。また、「子ども・子育て関連3法」の施行の円滑さに向けた「調査研究事業」も新たに盛り込んでいます。なお、認定こども園の施設整備等のための「安心こども基金」については、期限の延長等を別途に検討されることになっています。主な要求の内容は下表の通りです。

区分	24年度当初予算額	25年度概算要求額	比較増△減	備考
幼児教育課関係予算総額	21,621	24,202	2,581	
1.幼稚園就園奨励費補助	21,550	24,139	2,589	
2.幼稚園教育内容・方法の改善充実	21	20	△1	・幼稚園教育理解推進事業　20百万円
3.質の高い幼児教育・保育の総合的提供等推進事業（新規）	0	43	43	・幼児教育の改善・充実調査研究　33百万円 ・子ども・子育て関連3法に基づく新制度の実施に係る調査研究等　11百万円
4.（前年度限りの経費）幼児期からの「人間力」向上総合推進事業	50	0	△50	
【参考】				
1.私立幼稚園施設整備費補助	2,317	4,098	1,781	※公立幼稚園施設整備費については、241,103百万円の内数
2.私立高等学校等経常費助成費補助（幼稚園分）	32,274	33,523	1,249	
（ア）一般補助	24,437	24,471	34	
（イ）特別補助	7,837	9,052	1,215	1.子育て支援推進経費　4,672百万円→5,132百万円 ・預かり保育推進事業　3,522百万円→3,910百万円 ・幼稚園の子育て支援活動の推進　1,150百万円→1,222百万円 2.幼稚園特別支援教育経費　3,165百万円→3,920百万円
3.緊急スクールカウンセラー等派遣事業	4,702の内数	4,010の内数	—	

(1) 補助単価の引き上げ
（階層区分）

【公立】　（H24）　（H25要求）　（対前年度比）
・生活保護世帯、市町村民税非課税世帯、市町村民税所得割非課税世帯（年収約270万円以下）　20,000円 → 20,000円　（前年度同額）

【私立】
Ⅰ　生活保護世帯　226,200円 → 229,200円　(3,000円増)
Ⅱ　市町村民税非課税世帯（市町村民税所得割非課税世帯含む）（年収約270万円以下）　196,200円 → 199,200円　(3,000円増)
Ⅲ　市町村民税所得割課税額（77,100円以下）世帯（年収約360万円以下）　112,200円 →115,200円　(3,000円増)
Ⅳ　市町村民税所得割課税額（211,200円以下）世帯（年収約680万円以下）　49,800円 → 56,000円　(6,200円増)

※ 金額は、第1子の補助単価（年額）を掲げている。
※ 市町村民税所得割課税額（補助基準額）及び年収は、夫婦（妻が専業主婦）と子ども2人の世帯の場合の金額であり、子どもの人数等に応じて補助基準額及び年収が変動する「簡便な調整方式」により国庫補助を実施予定である。なお、年収はおおまかな目安である。
※ 幼稚園の保育料等の全国平均（平成23年度）は年額で公立79,000円、私立308,000円である。

(2) 多子世帯の負担軽減の拡充
小学校3年生以下の兄姉のいる世帯の第3子以降の園児について、保育所保育料と同様に所得制限を廃止し、補助対象を拡大するとともに、引き続き第2子の負担軽減を図る。
○ 幼稚園等に通う兄・姉がいる場合
第2子　0.5　（継続：上記階層区分に該当する場合）
第3子以降　0.0　（補助対象の拡大：所得制限を廃止）
○ 小学校1～3年生の兄・姉がいる場合
第2子　0.75　（継続：上記階層区分に該当する場合）
第3子以降　0.0　（補助対象の拡大：所得制限を廃止）
※ 数値は、第1子の保護者負担割合を［1.0］とした場合の第2子以降の保護者負担の割合

※認定こども園の施設整備などを行う「安心こども基金」については、期限延長等について検討　（単位：百万円）

平成25年度 保育対策関係概算要求の概要

厚生労働省は9月下旬、平成25年度予算の保育対策関係概算要求の概要を公表しました。省全体では、24年度より2・9%増の30兆266億円を要求しています。このうち保育対策予算は、7・1%(307億4100万円)増の4611億5100万円となっています。子ども・子育ての政策実現のため、24年度の5万人を超すおよそ7万人の保育所受け入れを目指したものです。保育所整備、認定こども園への補助については「安心こども基金」で対応することにし、期限の延長を検討するとしています。また、保育所が実施している地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業については保育対策予算とは別に、子育て支援交付金を使って推進。重点要求事項として前年度より12・1%(37億円)増の344億円を要求しています。

1）待機児童解消のための受け入れ児童数の拡大

●民間保育所運営費　4256億2500万円

前年度より7.4%（294億円）増を要求。前年度より２万人多い７万人の受け入れ拡大に対応できるように、運営費を拡大。これは平成24年に公表された人口推計に基づいて、子ども・子育てビジョンの保育所利用の増加分を反映させたものです。

●待機児童解消促進事業　30億6800万円

待機児童解消の多様な保育事業の促進として13.6%（３億6800万円）増で要求。家庭的保育事業を現状の１万人から1.3万人に拡充。新たに家庭的保育事業を開設しやすいように設備整備など、準備経費も盛り込んでいます。

●保育環境改善等事業　１億3700万円

保育の促進のための施設（軽微な）の改善等を推進するための補助です。

2）多様な保育の提供等

●延長保育推進事業　225億600万円

残業や通勤距離の遠距離化など、保育者のニーズに応じて開所時間を超えて実施する延長保育を推進するためのものです。

58.0万人→60.2万人

●家庭的保育事業（保育ママ）　29億1300万円

●病児・病後児保育事業　48億4200万円

地域の児童を対象に当該児童が急病になったとき、病院や保育所等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育する事業、あるいは保育中に体調不良となった児童を保育中に医務室等において看護師等が緊急的な対応を行う事業等を推進するためのものです。

病児・病後児保育対応型
　延べ143.7万人　→　延べ171.8万人
体調不良児対応型　870か所　→　898か所

●休日・夜間保育事業　８億800万円

保護者の勤務形態が多様化している中で、休日や夜間においても保育を実施するため、認可保育所のほか、一定の設備基準や職員配置基準を満たす施設を補助対象にし、休日や夜間の保育事業を推進するためのものです。

休日保育事業　10万人　→　11万人
夜間保育推進事業　224か所　→　252か所

●その他の保育の推進　41億6500万円

事業所内保育施設の研修等による職員の資質向上などを図るためのものです。

＊上記予算とは別に、地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業等については、子育て支援交付金(344億円）で「子ども・子育てビジョン」の実現などに向けて推進する。

＊子育て支援交付金については、すべての子ども・子育て家庭に地域支援機能の強化を図るため、次のような取り組みを推進するとして、84億円を重点要求しています。

・地域子育て支援拠点事業については「地域機能強化型」を創設し、①子ども・子育て家庭が多様な事業や制度の中から適切な選択を行うことができるように情報の集約・提供などの利用者支援を実施すると共に②世代間交流や、地域ボランティアとの協働など地域との支援・協力関係を構築。

・一時預かり事業について「基幹型施設」を創設し、①休日などの開所や②通常の開所の開所時間を超えた時間延長を実施。

・保育所体験特別事業については、平成24年６月に実施した厚生労働省行政事業レビューの公開プロセスの結果を踏まえ、廃止する。

各宗派［夏期保育研修会・講習会］大会報告。

【真言宗豊山派】「第57回教職員研修大会」報告

事務局長（東京）
水野　義昭

真言宗豊山派保育連合会第57回教職員研修大会は、平成24年8月24日（金）、東京真言宗豊山派宗務所を会場に行われた。参加者100名。

開会式は、副会長 亀井宗淳先生の開式の言葉の後、「豊山保育の歌」をバックに、御導師・ご来賓が入堂。代表の先生方により献灯・献香・献華。ご法楽へと進む。安藤文隆会長のご挨拶、永年勤続者の表彰の後、御導師をお勤めいただいた真言宗豊山派宗務総長 坂井智宏台下よりお言葉をいただき、続いてご来賓にご挨拶をいただく。まず、真言宗豊山派総務部長 増澤秀丸先生、日本仏教保育協会事務局長 高山久照先生、そして、7月に50回記念の研修大会を終えたばかりの智山保育連合会副会長 中村信成先生のご挨拶をいただいた。理事長 大沢聖隆先生の閉式の言葉の後、第1講へ。

第1講は、仏教講話。「私、仏教に惚れました」と題して、落語家で天台宗の僧侶、露の団姫（つゆのまるこ）先生。中学生の頃より仏教と「究極の一人芝居」の落語に強く魅かれ、僧侶であった露の五郎兵衛に入門。噺家となり、平成23年天台宗にて出家、24年4月より6月に比叡山で修行。噺家と僧侶という両面を持ち、独自の仏教落語を披露。笑いながら仏教に触れられる楽しいコラボレーションであった。

第1講終了後、記念撮影。第2講は、食事作法。「食の大切さを知る」と題して、世尊院幼稚園副園長 大澤聖智先生の講話。終了後、昼食となる。

昼食後、第3講。「こころ はれば れ パート2」と題してご存知、新沢としひこ先生の実技講習。鬼怒川での日本仏教保育協会での記念講演の熱気をそのまま東京に持ってきていただいて、熱く楽しく、そしていつまでも歌っていたい歌をたっぷりと歌って踊っての2時間であった。

新沢先生の研修の余韻が残る中、閉会式。安藤会長の挨拶の後、会長より参加者代表に修了証が授与され、そのまま代表の挨拶。「研修で得たものを持ち帰って、保育に役立てたい」と述べた。

次年度は、総本山長谷寺での宿泊研修との予告があり、1日ではあったが、中身の濃い研修会であったと思う。

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

【浄土宗】「第38回全国研修会」報告

浄土宗保育協会事務局長
月かげ保育園（京都）
園長　浦田　裕人

浄土宗保育協会第38回全国研修会が、東海地区の担当により「明るく　豊かに　健やかに」をテーマに、静岡市の静岡グランドホテル中島屋において平成24年8月18日、19日の二日間開催され、全国各地から186名の参加がありました。

開会式では、浄土宗保育協会白旗文雄理事長から「昨年は宗祖法然上人800年大遠忌の年に当たり、全国各地において子どもたちを交えながら盛大に宗祖の御恩を偲ぶことができました。この勝縁を契機として、宗祖法然上人のみ心に適う保育について、親しく語りあいたいとの思いでこの研修会を開催します」との開会挨拶がありました。また、永年勤続職員表彰（対象70名）が行われ、参加の26名に賞状並びに記念品が手渡されました。

研修①は、『おまえうまそうだな』などの作者で絵本作家 宮西達也先生の「明るく　豊かに　健やかに～絵本を通して～」。スクリーンでの自作の絵本の読み聞かせなどを交え「読み聞かせは、読み手と聞き手がその場の空気を楽しむもの」などと楽しくお話していただきました。

研修②は、平山ラーメン先生・たかはしあきら先生の「あそびうたセミナー」。ラーメン体操やパネル遊びふれあい遊びの実演を通して「見せる本人が楽しくないと見ている側は楽しくない」と、とにかく心も体も温まりました。

研修会二日目は、朝のおつとめの後、研修③古宇田亮順先生の「パネルシアター実演研修」がありました。パネルシアターは、お話や歌だけでなくクイズや手品など色々な広がりがあり、動かし方や出すタイミングなどをお話いただきました。

京都からの参加者は「すべての研修が、実演を通してのもので、受講した私たちも子ども心に帰ることができ、日々子どもたちがどんな感情や驚き、楽しさを味わっているかを改めて知ることができました。どの先生もおっしゃっていた『演じる側が楽しまなければ相手に伝わらない』との言葉が心に残っています」と感想を述べていました。

日本仏教保育協会編集による出席カードです。
仏教行事を楽しい絵柄で構成しています。

はなまつり、成道会、涅槃会などの仏教行事を、かわいいイラストでファンタジックに表現しています。

出席カード（仏教版）2012年度版
税込390円（本体価格372円）
出席シール（仏教版）2012年度版
税込280円（本体価格267円）

〒113-8611 東京都文京区本駒込6-14-9 電話03-5395-6608 http://www.froebel-kan.co.jp フレーベル館

「ちょっと気になる出来事」

新聞のコラムに寄せられた最近の記事に、ちょっと気になることが二つ三つあった。

一つは、日本人の「果物離れ」である。以前から、日本人が食べる果物の量は欧米と比べて少ないとは言われていたが、先進国の中で最低の水準だそうな。特に、若い人の「果物離れ」は顕著だという。理由は「嫌いではないが、皮をむくのが面倒だから」なのだそうである。ミカンの皮むきも面倒らしい。皮ごと食べられる「種なしブドウ」などは人気が高い。他にもある。「魚離れ」「米離れ」「野菜離れ」と続く…。便利さ・手軽さに慣れた若者世代の嗜好が日本の食文化から離れつつあるように思えて、ちょっと寂しくなった。

二つは、「トリック・オア・トリート」。そう、「お菓子を頂戴！くれなければ悪戯するぞ！」とキャンディなどをねだって歩く、あのハロウィーンのことである。もとを正せば、秋の収穫を祝い、悪魔を追い払う古代ケルト人の祭りが起源である。アメリカでは、大きなカボチャを買ってきて、親子でお化けカボチャを作って楽しむ「コミュニティーのお祭り」の色合いが濃い。日本では10月に入ると、商店街はカボチャを飾り立て、マスコミもクリスマス同様のお祭り気分で囃し立てる。いつの間にこんなに浸透してきたのだろう？　悪いというのではないが、日本にも「豆まき」「花まつり」「七夕祭り」など、古来より家族で楽しめる四季折々の行事はたくさんあるのに…。そんな感慨を抱いたものである。

三つは、学力調査の結果である。算数の「数式が何を意味するのか分からない」。国語では、「筋道を立てて書けない」子どもが多いことが浮き彫りになったという。新しい学習指導要領は「言語活動」の比重が高い。その中心は国語である。学力調査は小6と中3を対象にしたものだが、接続後を使っての文章では、正答率が15%だったという。論理的に書くことがどうも苦手のようである。「国語力」はすべての基本であるだけに、とても気になって仕方がなかった。

編集後記

■編集後記の依頼を受け、それと時を同じくして大変悲しい知らせが届きました。「上村映雄先生ご逝去」の報。何を書こうとしても、在りし日の先生のお姿ばかりが思い浮かばれてきます■私事ですが、日仏保だけでなく、中野区の私幼連でもご一緒させていただいて二十余年、たくさんのご指導と思い出をいただきました。それらをこの短い数行に書き記すことはできません。唯々、ご冥福をお祈り申し上げます■これからも仏教保育に携わる者の一人として先生の教え守り、そのご遺志をほんの少しでも継承していけるよう努力してまいりたいと思います。上村先生、永年にわたり、ありがとうございました。

（根　本）

事務局日誌

10／4　「仏カリ」「仏教保育」編集会議
　　事務局会議
10／25　「第2回理事会」全日本仏教会会議室

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ　http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 関岡俊二　編集人 高山久照
毎月1回1日発行（1部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま
¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ：W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33×D5.5×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-21
電話 〇三-三九四五-六六一二
ファクス 〇三-三九四五-六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/

仏教保育

12 DECEMBER

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

理事長就任ごあいさつ

公益社団法人 日本仏教保育協会 理事長　関岡 俊二（多摩みゆき幼稚園・多摩市）

この度、僭越ではありますが理事長の任をお受け致しました。

私は平成21年5月より前理事長 上村映雄先生のもとで副理事長を仰せつかりました。以来、前理事長の補佐役を務めさせて頂きながら数々の教えを受けました。まだまだ教えを乞うことが多く残されておりましたのに、突然、御遷化されました。私にとりましては偉大な柱を失ったも同然であり、正に断腸の思いであります。

上村前理事長には二十年近くの長きにわたって理事長をお務め頂きました。その築かれた業績は誠に輝かしいものであり、到底私ごとき者の及ぶところではありませんし、その重責に耐えられるかどうか危惧しているところでございます。しかし、任に就きましたからには、会員皆様のご協力を切にお願い申し上げ、その任を全うする決意であります。

公益社団法人日本仏教保育協会の大きな特長は、協会が主唱する「生命尊重」「いかせいのち」を軸に、仏教保育の実践から宗教的情操心を子どもたちに与え、平和で明るい社会を構築し、良き社会人の基礎を育てることを大きな目標としています。

また、当協会は幼稚園、保育園の両者が加盟し、それぞれの立場から意見を交わしながら協議を行う、貴重でかつ稀有な団体であります。

また、インド菩提樹学園の育成協力、国際交流・社会貢献、更に、公益性を重視した運営によって広く社会に仏教保育の大切さを示して参りたいと思います。

当協会における当面の運営は、後期事業である平成25年1月17日に開催する「第3回理事会・第2回運営審議委員会」であり、併催の「上村前理事長お別れの会」であります。

1月21日よりインド菩提樹学園35周年式典・仏跡参拝の旅、次いで2月5日の「関西地区連絡協議会」、2月22日の「養成機関連絡協議会」、5月には総会があり、その折、役員・理事・運営審議委員会の任期満了による改選等が予定され、準備を進めているところであります。これら当面の事業を滞りなく進行して参りたいと思っております。

何卒、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

10月11日、上村映雄理事長 遷化の訃報を受けた公益社団法人 日本仏教保育協会は、「死亡後2週間以内に理事長を選任しなければならない」という公益法人法の定めに則り、10月25日に新理事長並びに副理事長選任のため、全日本仏教会会議室において「第2回理事会」を開催しました。

審議の結果、理事長に関岡俊二副理事長、副理事長に緑谷一雄理事、日野昭文理事、三浦俊彦理事、栗原信明理事の4名が満場一致で承認されました。

当協会はこの新体制のもとで、基本方針である「生命尊重の保育確立と心の教育の推進」に努めることを約しました。

『上村映雄先生を偲んで』

公益社団法人 日本仏教保育協会監事
堪山 奈学（若栗幼稚園・群馬県）

戦後保育の礎となった「三羽がらす」

公益社団法人 日本仏教保育協会理事長・上村映雄先生が御遷化されました。正に「巨星 堕つ！」の感であります。

先生は戦後、駒沢大学で学び、その後小学校教諭を経験され、聖徳学園、鶴見大学にて保育学を教え、自坊では幼稚園長と、人生の大半を保育と教化に尽くされた、正に僧侶の鑑でありました。私は、群馬県私立幼稚園協会（群私幼）の一会員として昭和40～50年代に先生から保育学を学んだ一人でありました。

当時、群私幼では毎年夏になると夏期研修として一泊二日の研修を水上温泉で行い、私の園でも日中の研修をし、2～3百人の若い先生方が学びました。その折の講師に、上村映雄先生をはじめ山内昭道先生、松樹素道先生の方々をお迎えして保育の理論や実践を学びました。それ以来、上村先生には特に目をかけていただき、今日に至っております。

なかでも、「三羽がらす」として宗門保育関係者によく知られていたのが、上村・山内・松樹のお三方であります。この三先生はともに園長として、保育各領域のエキスパートとして、当時から精力的に活動されていました。また、曹洞宗保育の礎として、仏教保育の基礎を築かれた方々でありました。更には、戦後の保育全般にわたって偉大な功績を残されたのであります。

昭和20年代、時の曹洞宗宗務総長・山田義道老師は「宗門寺院、一事業を興そう」と提唱され、それに呼応して、幼稚園、保育園、老人施設、児童福祉施設等が開設されて今日に至っておりますが、私の幼稚園も昭和28年に先代が開設した園であります。

在学中から「青少年の健全育成」に燃える

上村先生は、駒沢大学在学中のクラブ活動では「児童教育部（児教）」に籍を置き、戦後の青少年の健全育成のために日曜学校等を通して活動されていました。夏期には、巡回と称して約1ヵ月かけて全国各地の宗門寺院が経営する幼稚園や保育園、公民館等の施設で幼児から老人たちまで、その活動の輪を広げ、「児教のお兄さん」と親しまれ、喜ばれたものでした。先生には「児童教育部」の会長として同窓数百人の首となっていただき、長年にわたってご尽力賜って参りました。

更に先生は教化活動にも造詣が深く、宗門関係管区（山梨を含む関東管区）教化センター統監としても長年務められました。宗門保育においては、明年11月の創立60周年式典には列席される予定でありました。

先生のご聡明さはつとに知られており、上梓された著書も多く、多岐にわたっております。『みんなの仏教　わかるかな？』（宣協社）が、最後の著書となりました。大変な人気書物となっています。先日もある会で、駒沢大学総長の田中良昭先生が「やさしく、分かりやすい本ほど役立つものはありません」と、そのご本を激賞されていました。

私ども僧侶は式典のはじめに〝引導香語〟と言って、必ずその会の主旨等を漢文で唱える一句があります。一般的には書いたものを持参して読み上げるのですが、上村先生は何も見ないですらすらと申し上げる、正に頭の中に書きとめる達人でもありました。

先生！本当にありがとうございました

私事になりますが、この十数年、年に何度か先生のおそばにおいていただき（日仏保、曹洞宗保育部、児教同窓会、宗門教化センター等々で）多くのご指導を賜って参りました。ここ1～2年、先生は「八十歳過ぎたら足が弱くなり、若い人たちと歩くのが大変になってきた。車の運転も返上したよ」と仰っておられました。

前日開かれた、中野区の園長会議にも出席されたとのこと。お釈迦様よりも長生きされての大往生。先生、本当に永い間のご指導、有難うございました。

合掌

「第46回 衆議院議員選挙当選祈願法要」執り行う

平成24年12月3日／大本山増上寺・安国殿

公示前日の12月3日、公益社団法人 日本仏教保育協会（関岡俊二理事長）は、大本山増上寺・安国殿において当協会が推薦する候補者全員の必勝を願って「当選祈願法要」を執り行いました。

お導師は古屋吉雄師（荘厳寺住職・公益社団法人 日本仏教保育協会常任理事）が務められました。

増上寺は徳川家の菩提寺として知られており、脇陣には家康公の肖像画、徳川家歴代並びにご一門のご位牌をはじめ、14代将軍家茂公の正室であった皇女和宮様の等身大の御像が祀られています。また、祈願法要を行った安国殿は徳川家康公の法号である「安国院殿徳蓮社崇譽道和大居士」に由来し、江戸初期元和3年（1617）に家康公の御霊屋として建立されたものです。家康公は逆風に強い運勢を持った人物で、隠忍の末に天下を治められたことは遍く知られております。

法要のあと、関岡理事長から「政界は混沌と揺れ動き、教育・経済など不安要因は山積しています。私たちは、皆様方が子どもたちの未来を安心して託せる政治家であると信じて推薦させて頂きました。この安国殿は霊験あらたかな阿弥陀如来像が祀られ、勝ち運・諸願成就として広く人々の信仰を集めています。どうか皆様、全員が永田町に凱旋されますよう頑張ってください」と激励の言葉がありました。

候補者の方には関岡理事長から推薦状と大宝札が手渡され、参列できなかった候補者にはそれぞれの選挙事務所宛にお送りしました。

今回は突然の解散という慌ただしい中でもありましたので、推薦候補者も23名にとどまりましたが、全員揃って当選されることを心から願っています。

「上村映雄前理事長お別れ会」のご案内

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、10月11日に遷化された上村映雄前理事長のお別れ会を次の通り執り行うことに致しました。ご参席賜りますようご案内申し上げます。

生前賜りましたご厚誼ご厚情に対し、亡き上村映雄前理事長に代わりまして衷心よりお礼申し上げます。

公益社団法人　日本仏教保育協会
理事長　関岡　俊二

――記――

日時　平成25年1月17日（木）
〈受付〉16時30分　〈お別れ会〉17時～19時

会場　ザ・プリンスパークタワー東京　地下2階「ボールルーム」
（東京都港区芝公園4－8－1／℡03・5400・1111）

会費　2万円（当日受付で頂戴致します）

※お手数ですが12月25日までに事務局までご連絡賜りますようお願い致します。

日本仏教保育協会編集による出席カードです。
仏教行事を楽しい絵柄で構成しています。

はなまつり、成道会、涅槃会などの仏教行事を、かわいいイラストでファンタジックに表現しています。

出席カード（仏教版）2012年度版
税込390円（本体価格372円）
出席シール（仏教版）2012年度版
税込240円（本体価格229円）

〒112-0011　東京都文京区千石1-14-9　電話03(3946)0608　http://www.hoiku-kan.co.jp　フレーベル館

菩提樹学園の先生たち

「菩提樹学園運営委員会」開催

平成24年11月12日／日仏保事務局

公益社団法人 日本仏教保育協会(関岡俊二理事長)は11月12日、同協会事務局において「インド菩提樹学園運営委員会」を開催しました。公益財団法人 国際仏教興隆協会(KBKK)から巌谷教育部長、多田証子教育部次長のお二人が参加され、現地の状況並びに運営費や人事の問題、月次行事等の報告がありました。そのあと、意見を交わしながら今後の対策などについて協議しました。

会に先立ち関岡理事長から、急逝された上村前理事長の後任として理事長に選任された旨を告げ、菩提樹学園運営の労に感謝の言葉を述べました。巌谷部長からは菩提樹学園への支援・協力への謝辞が述べられたあと、「インドの状況も変わりつつあります。水道光熱費、給食費等の諸物価も上がり、職員の給与・手当などが押され気味という実状もありますが、担当としてしっかり管理をしていきたいと思っています。詳細については多田から報告します」と挨拶されました。多田次長も「いろいろ難しい面もありますが、現場の担当者として見落としのないよう運営していきたいと思います」と話されてから、資料に沿って本題に入りました。

■運営費について

教職員の給与・手当が昨年は62%占めていたが、今回は全体の60%となった。これは水道光熱費、給食費、物品購入費などの値上がりにより、人件費が押されてきたものである。特に給食費は19・1%上昇している。子どもへのご褒美の購入費や講師の謝礼などは諸雑費から支払っており、昨年度に比して2%増となった。1ルピーが1・45円。昨年9月から本年8月までの運営費の合計は185万2208ルピーとなり、円に換算すればおよそ280万円に当たる。

■講師について

講師には歌の授業などを依頼している。課外授業と計算授業は年少児のみ行っている。歌の教室はAクラスとし、授業は1ケ月に2回実施しているが講師が相次いで辞職するという事態となり、その対応はしたものの講師を探すのに時間がかかった。歌唱力はあるが、指導力は十分とは言えず、今後の採用における課題としたい。

■職員については

パビタ先生は産休中であったが今年の6月に復帰。その間、昨年フリーとして採用したプリヤンカ先生が年長児を担当してくれていた。彼女は保育士だが、カリキュラムの進捗状況には問題なしとの報告を受けている。年少組を担当しているジャヤンティー先生は新興宗教的なコミュニティーに入所しており、そのコミュニティーの行事に参加するため有給休暇の要求が多い。虚弱体質の様子も見えるので、主任から有給休暇の取得は病院へ行く以外に与えないことを主任から告げた。

■教材について

「あれが必要」「これが不足」という要求が度重なるので、「年間にこれだけ日本から送る。不足分は現地で調達するように」と話をした。クレパス210箱、サインペンと油性マジックは日本から送るが、鉛筆や消しゴムなどは現地でも質が良くなってきているので、現地調達するよう指示をした。

ただ、机などの備品は修理しながら使用していたが限界に達したので、机30台購入。園服も10年ほど前に新調したもので210名分の夏・冬用を新たに作りたいとの要望が出ている。

◇　◇

この他、衛生状態や各クラスの月次スケジュールなど細部にわたって報告されました。また、多田さんは現地に赴いた時には園児たちに体操指導などもしており、現地の先生、子どもたちからも歓迎されているようです。

こうした報告を基に、教材等の支援について協議が行われました。

出席者（敬称略）

【KBKK側】
巌谷正勝（教育部長）
多田証子（教育部次長）

【日仏保側】
関岡俊二（理事長）
緑谷一雄（副理事長）
荻野順雄（常任理事）
古屋吉雄（常任理事）
髙輪真澄（常任理事）
麻布恒子（常任理事）
高山久照（事務局長）

本紙７月１日号（№579）で、「財団法人 仏教伝道協会（ＢＤＫ）」からの被災保育施設支援金に関する要綱を掲載しましたが、過日「ＢＤＫ被災保育施設支援金審査委員会」が開催され、それぞれの保育施設に支援金が交付されました。サポートした当協会に対し、同協会よりお礼文が寄せられましたので掲載（原文通り）します。

ＢＤＫ被災保育施設支援金

東日本大震災から１年半以上経ちましたが、復興の足取りは遅く、いまだ被災された多くの方々が仮設住宅などで不便な生活を強いられています。このような現状の中、被災した地域の子ども達もまた心身ともに大変厳しい環境に置かれています。

（財）仏教伝道協会では、公益社団法人 日本仏教保育協会のサポートを経て、東日本大震災により被災した保育施設を対象としたＢＤＫ被災保育施設支援金を設立致しました。この支援金は、３つの支援条件（Ａ項：東日本大震災で施設や設備が被災した保育施設、Ｂ項：被災園児の受入れ、精神的・物理的支援を過去にした保育施設、Ｃ項：被災園児の受入れ、精神的・物理的支援を現在している又はこれから被災園児支援を行うことが確実な保育施設）が設定され、１法人あたり支援金の上限を30万円として、2012年７月１日から８月31日まで申請の受付を行いました。９月19日（水）に、（財）仏教伝道協会（港区芝）にて「ＢＤＫ被災保育施設支援金審査委員会」が開催されました。東日本大震災により被災した保育施設から32件の申請があり、外部有識者を含めた委員会にて公正に審議した結果、総額920万円の支援金がそれぞれの保育施設に交付されることになりました。

当初支援金の上限を30万円と設定していましたが、審査委員会の審議の結果、申請があった施設の中には、特に甚大な被害を受けた施設もあり、出来る限りの支援をすべきとの判断から、上限を50万円にすることが決定されました。

この支援金が少しでも将来を担う子ども達の心身の回復と豊かな人間形成の一助となることを願っています。

最後に、ＢＤＫ被災保育施設支援金の企画段階から多大な援助を賜りました公益社団法人 日本仏教保育協会をはじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。

「ほとけの子」は保護者向けの月刊誌です。
心の豊かさが求められる今日です。
仏教保育を主眼とした内容、
特に年５回の仏教行事の特集は、
行事説明だけに終わらない、
その道の諸先生方の御健筆が冴えています。
御購読下さいますようお薦め下さい。

公益社団法人 日本仏教保育協会編集
月刊 ほとけの子
定価120円(税込)
株式会社 宣協社
〒150 東京都渋谷区鶯谷町7-7 OHビル201号
TEL. 03-3463-1931(代)　FAX. 03-3463-0608

成道会

（到着順・敬称略）

学・西願寺学園　あずま幼稚園
日仏保理事長　丹羽　義昭
〒340・0032　埼玉県草加市遊馬町430
TEL 048・925・1741

宗・法龍寺　月映保育園
園長　木本　龍道
〒134・0091　東京都江戸川区船堀6－9－30
TEL 03・3689・0340

祐天寺附属幼稚園
園設置者　巌谷　勝正
〒153・0061　東京都目黒区中目黒5－24－47
TEL 03・3712・8870

兵庫県仏教保育協会
会長　井藤　圭瑞
〒652・0032　神戸市兵庫区荒田町3－17－1
TEL 078・511・0167

呉あそか幼稚園
日仏保理事園長　西村　英昭
〒737・0022　広島県呉市清水2－1－26
TEL 0823・25・5671

御国幼稚園
園長　松井　大圓
〒710・0055　倉敷市阿知3－20－7
TEL 086・425・0141

淡路幼稚園
日仏保理事園理事長　行友　伸二
〒533・0023　大阪市東淀川区東淡路4－12－25
TEL 06・6321・0271

学・寿福寺学園　寿福寺幼稚園
日仏保運営審議委員園理事長　高山　久照
〒179・0074　東京都練馬区春日町3－2－22
TEL 03・3998・2162

鈴蘭幼稚園
園長　梅田　静子
〒158・0093　東京都世田谷区上野毛2－15－15
TEL 03・3704・1881

学・亮諦学園　金の峯幼稚園
日仏保理事東保委員長・園長　安藤　文隆
〒165・0022　東京都中野区江古田3－9－9
TEL 03・3385・0014

学・清谷学園　日野わかくさ幼稚園
日仏保運営審議委員園長　清水　博雅
〒191・0034　東京都日野市落川943
TEL 042・591・1687

若栗幼稚園
園理事長　泰学
園長　堪山　泰賢
〒379・1617　群馬県利根郡みなかみ町湯原985
TEL 0278・72・2108

青葉幼稚園
日仏保参務園理事長・園長　安井　覚明
〒240・0064　横浜市保土ヶ谷区峰岡町3－448
TEL 045・332・4671

学・小樽和順学園　まや幼稚園
日仏保理事園長　野村　定弘
〒047・0034　北海道小樽市緑1－23－8
TEL 0134・32・5449

城北幼稚園
日仏保副理事長園長　三浦　俊彦
〒462・0022　名古屋市北区川中町6－11
TEL 052・981・1386

学・善永学園　光輪幼稚園
日仏保常任理事園長　高輪　真澄
〒144・0047　東京都大田区萩中1－12－7
TEL 03・3732・8781

妙福寺保育園
日仏保運営審議委員園長　戸田　了達
〒178・0064　東京都練馬区南大泉5－6－47
TEL 03・3922・3368

公認宗教法人　常徳幼稚園
園長　武田　治恵
〒156・0051　東京都世田谷区宮坂2－10－1
TEL 03・3427・2251

大森幼稚園
園長　菅原　蓉子
〒143・0012　東京都大田区大森東1－16－22
TEL 03・3761・3800

西川口幼稚園
園長　稲岡　圭慈
〒332・0021　埼玉県川口市西川口3－34－5
TEL 048・251・3076

学・帯広童谷学園　帯広幼稚園
園理事長園長　中田　周敬
谷内　敷
〒080・2471　北海道帯広市西21条南3－22－2
TEL 0155・35・7122

野田生こぼと保育園
園長　菅原　諭貴
〒049・2672　北海道二海郡八雲町野田生80
TEL 0137・66・2527

山科幼稚園・西念寺保育園
日仏保理事園理事長　白籏　文雄
〒607・8086　京都市山科区竹鼻4丁野町52
TEL 075・581・0879

もみじ幼稚園
日仏保運営審議委員園長　妹川　真澄
〒300・0812　茨城県土浦市下高津2・10・22
TEL 029・821・1645

財・多善会　北港学園保育所
日仏保参務園理事長　神谷　周道
〒554・0051　大阪市此花区西島3－26－11
TEL 06・6461・7849

高安寺保育園
園長　小澤　宏
〒183・0021　東京都府中市片町2－4－1
TEL 042・364・7651

学・高西寺学園　多摩みゆき幼稚園
日仏保理事園理事長　関岡　俊二
〒206・0021　東京都多摩市連光寺2－24－6
TEL 042・374・6040

社福・讃仰会　法善寺保育園
園長　中山　斉
〒115・0053　東京都北区赤羽台3－24－2
TEL 03・3900・9606

パドマ幼稚園
日仏保理事園長　金子　英滋
〒380・0847　長野市若松町1028
TEL 026・234・5858

りんでん幼稚園
園長　加藤　英子
〒567・0832　大阪府茨木市白川1－11－1
TEL 0726・33・1212

足利幼稚園
園理事長・園長　山越　忍隆
〒326・0803　栃木県足利市家富町2188
TEL 0284・21・3475

東岡幼稚園
園長　清野　英俊
〒983・0841　仙台市宮城野区原町2－1－66
TEL 022・293・4930

總持寺保育園
園長　柳澤　則子
〒230・0063　横浜市鶴見区鶴見2－3－29
TEL 045・581・3162

幸手さくら幼稚園
園理事長　今井　康隆
〒340・0111　埼玉県幸手市北1－9－27
TEL 0480・42・0640

世尊院幼稚園
日仏保運営審議委員園長　大澤　聖隆
〒166・0001　東京都杉並区阿佐谷北1－26－18
TEL 03・3338・6368

社福いまいずみ　鵜の木いまいずみ保育園
園長　樋口　明道
〒146・0084　東京都大田区南久が原2－30－5
TEL 03・3756・0505

宗・西蔵院　是政保育園
園理事長　榎本　隆乗
園長　榎本　崇子
〒183・0014　東京都府中市是政3・6
TEL 042・361・7452

建中寺幼稚園
園長　村上　真瑞
〒461・0003　名古屋市東区筒井1－7－52
TEL 052・935・2172

むらさき幼稚園
園理事長　家田　隆現
園長　家田　光信
〒617-0814　京都府長岡京市今里5-12-9
TEL 075-953-0505

学・西光寺学園　ふくむろ幼稚園
園長　三浦　宗格
〒983-0005　仙台市宮城野区福室5-11-30
TEL 022-258-0026

北川口幼稚園
日仏保淡交者懇委員
園理事長・園長　後藤　光純
〒333-0835　埼玉県川口市道合1221
TEL 048-281-2333

サルナート幼稚園
園長　森谷　淳城
〒812-0016　福岡市博多区博多駅南3-18-28
TEL 092-431-3256

大巌寺文化苑　大巌寺幼稚園・慈光保育園
苑長　長谷川匡俊
〒260-0812　千葉市中央区大巌寺町180-1
TEL 043-263-7965

千葉文化幼稚園
日仏保参務
名誉園長　高山　照襄
〒264-0028　千葉市若葉区榎木4-16-38
TEL 043-231-0304

円融寺幼稚園
園長　阿　純章
〒152-0003　東京都目黒区碑文谷1-22-22
TEL 03-3716-6070

学校法人　前野幼稚園
園長　守山　容子
〒174-0063　東京都板橋区前野町4-20-8
TEL 03-3960-3948

学・本遠寺学園　初山幼稚園
園理事長　町田　順文
〒216-0026　川崎市宮前区初山1-2-1
TEL 044-977-5671

浜田保育園
園長　丹羽　愛子
〒510-0067　三重県四日市市浜田町10-15
TEL 059-353-3452

新小岩幼稚園
園長　千葉　優子
〒132-0031　東京都江戸川区松島4-34-2
TEL 03-3651-0963

光應寺保育園
園長　古賀　成麿
〒812-0017　福岡市博多区美野島2-6-31
TEL 092-441-9715

社福　日輪学園附属日輪保育園
園理事長　山川　良一
〒569-0855　大阪府高槻市牧田町7-58
TEL 072-695-6008

筑紫女学園大学短期大学部
学長　若原　道昭
〒818-0192　福岡県太宰府市石坂2-12-1
TEL 092-925-3511

学・吉祥学園　寺西幼稚園
園理事長　寺西　正毅
〒607-8409　京都市山科区御陵天徳町15
TEL 075-591-6676

音聞山保育園
園長　大塚あつ子
〒468-0063　名古屋市天白区音聞山1613
TEL 052-832-6455

言問幼稚園
日仏保参務
園代表役員　小林　昭彦
〒131-0033　東京都墨田区向島5-4-4
TEL 03-3622-7771

明徳幼稚園
園長　蓮池　光洋
〒105-0011　東京都港区芝公園4-7-4
TEL 03-3431-0592

淑徳短期大学
学長　石上　善應
〒174-8631　東京都板橋区前野町6-36-4
TEL 03-3966-7637

八王子ひまわり保育園
園理事長　野上　良仁
園長　野上　浩達
〒193-0944　東京都八王子市館町1629
TEL 042-661-3046

宗・天林院　大徳寺保育園
園長　森　義昭
〒603-8231　京都市北区紫野大徳寺町74
TEL 075-491-8818

第3回理事会／第2回運営審議委員会

●日　時　平成25年1月17日（木）
受付／14時30分～　議事／15時～16時30分
●会　場　増上寺光摂殿講堂

関西地区連絡協議会

●日　時　平成25年2月5日（火）
報告会／15時～16時30分　懇親会／17時～
●会　場　ホテルグランヴィア京都

養成機関連絡協議会

●日　時　平成25年2月22日（金）
協議会／16時～17時30分　懇親会／18時～
●会　場　芝パークホテル　本館2階「桜」
●テーマ　「養成の現状と課題」
（コーディネーター・安藤和彦先生）

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

東仏保・釈尊成道を祝う
「幼児と母のつどい」開催！

12月4日、東京仏教保育協会（安藤文隆委員長）は、有楽町の読売ホールでお釈迦様のお悟りの日を祝う「幼児と母のつどい」を開催しました。全都の幼稚園や保育園から2階席までいっぱいになるほど大勢の母子が参加しました。

はじめに各園を代表する園児たちがお花を捧げます。そのあと「明るく・正しく・仲よく」の三つの「お約束の言葉」を全員が大きな声でお誓いしました。続いて安藤委員長は「〝うそをつかない、弱い者いじめをしない、物を大切にする〟これを守れば良い子になれると、お釈迦様は言っています。守れますか！」。子どもたちは大きな声で「はぁ～い」と約束しました。

次に、（公社）日本仏教保育協会の関岡俊二理事長からは、お祝いの言葉がありました。

そのあと『劇団びっかり座』の皆さんによる、ぬいぐるみ人形劇「とんちんかん一休さん」が上演されました。子どもたちは大はしゃぎです。お母さんも一緒になって楽しんでいました。

事務局日誌

11／9　「ほとけの子」拡大会議
11／12　「仏カリ」「仏教保育」編集会議
11／24　事務局会議
11／25　菩提樹学園運営委員会
上村映雄前理事長　本通夜（自坊・保善寺）
上村映雄前理事長　本葬儀（自坊・保善寺）

編集後記

■この世は諸行無常、すべては移ろいゆくものである。これが仏教の根本です。でもどんなに移ろいゆく中にあってもずっと変わらないものがあります。それは「この世が諸行無常であるという事実」です。それを真理と言います■仏教保育に永年貢献された日仏保理事長　上村映雄先生の急逝に、改めて世の無常を感じずにはいられません。多くの先人が培ってきてくれた仏教保育の心を、上村先生はより親しみやすく子どもたちに、そして父母たちに伝えることに努力されました■時代がどんなに移り変わっても、仏教は人々の心に安らぎや力を与えてくれます。本当に大切なものを気付かせてくれる力を持っています。それはやはり仏教が真理を説くからでしょう■また一つ年が変わろうとしています。移り変わっても移り変わらないものを私たちは常に学び、そして伝え続けていかなければなりません。仏教保育の輪を広げ、これからも子どもたちの心に明るい灯火をともしていきましょう。

（戸田）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 関岡俊二　編集人 高山久照
毎月1回1日発行（1部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま

¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ：W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33×D5.5×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-21
電話 〇三－三九四五－六六一一
ファクス 〇三－三九四五－六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/

仏教保育

1 JANUARY

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

年頭のごあいさつ

公益社団法人 日本仏教保育協会理事長　関岡　俊二（多摩みゆき幼稚園・多摩市）

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

協会加盟各園並びに会員皆様のご多幸と益々のご発展を祈念申し上げます。

一日も早い復興を

一昨年の東日本大震災による爪痕に今なお苦慮されておられる園におかれましては、一日も早い復興を願ってやみません。また、多くの方々が仮設住宅での生活を余儀なくされ我慢の限界を超えながらも耐えている現状と、福島第一原発事故の発生によって避難を強いられ、未だ我が家に戻られないご家族のやるせない思いは、察して余りあります。新政権には、しっかりとこの現状に目を向けて対応して頂きたいと心から願っております。

期待したい政権公約

昨年末の衆議院選挙における各党・各候補者の主張を聞いていると、何れの主張も今一つ信頼に欠ける感が拭えません。おそらく、民主党政権が声高に我々国民に訴えて誕生した公約の悉くが画餅に終わったせいかも知れません。

そんな中で「子ども・子育て関連3法」が成立し、ともあれ実現に向けてスタートを切る年となりました。

しかしながら、待機児童解消を謳っても未だ出生率は一向に上がらない現状、消費税を当て込んだ7000億円の予算の確保は本当にできるのか、保育者不足と保育者の資質向上をどう解決しようというのか、文部科学省・厚生労働省という二元行政の煩雑さから一体化志向の声はあれども実現は可能なのか、こうした多くの問題が不透明で混沌とした2013年になるのでは…と、懸念されます。

更に、都市と地方の現状を見ますと、その格差は歴然としており、都市においても都心部と市町村との補助率には大きな違いがあります。今回の政策では、実施主体は市区町村という骨格になっていますが、自治体による大きな隔たりが生じることなく実施されることを望みます。

「いかせいのち」は不変の使命

世の中、どんなに出生率が減少しても、子どもがいなくなることは決してありません。無邪気で汚れのない元気な子どもの姿から、我々大人は大きな力をもらっています。子どもたちが未来に輝かしい希望が持てるよう、子どもたちのかけがえのない尊いいのちを守る、「いかせいのち」は我々仏教保育者にとって不変の使命であり、大きな役割であると考えます。

〝危機突破内閣〟に望むこと

旧ろう、安倍内閣が誕生した。3・11後、初の総選挙である。日本維新の会が加わり12党が競って話題を呼んだが、戦後最低の投票率となった。そんな中で再び自公中心の政界となり、危機突破内閣と称した安倍政権が樹立した。東日本大震災の復興、福島原発の倒壊は安全・安心神話を覆し、自然環境の破壊・安全管理の崩壊・景気の低迷を招き、国民の閉塞感が頂点に達するなかでの厳しい船出となった。そんな政権下にあっても、再生のための速やかな動きを社会は待っている。挫折の中から首相に再登板した安倍内閣、自民党への「政権交代」を支持した民意に今度こそ応えて欲しいと願う。

■安倍内閣の公約

安倍内閣は、五つの「取り戻す」公約を掲げている。

1　復興を取り戻す
2　経済を取り戻す
3　教育を取り戻す
4　外交を取り戻す
5　安心を取り戻す

平穏で安心できる暮らしを再生することは最優先の命題であるだけに、復興を第一に掲げたのは当然である。遅れがちな復興事業を早めるべく、問題点の総点検、地域の声を聞き現場に即した復興事業を推進、そして福島の再生に重点を置くと復興庁は取り組みの決意を示した。また、エネルギー・環境整備を急務とし、通信システムのより完全性を図るための公共投資並びに、減災・防災にも予算を投入すると約している。

2%のインフレ目標を設けるという強い姿勢で安倍内閣は日銀に迫った。現下の経済状況における最大の問題は1997年以来の長引くデフレにある。デフレは労働者の雇用を奪い、社会保障を危機に陥れ、国民の生活を疲弊させる。だから、過度な円安・過度な円高を避け、輸出・輸入双方のメリット・デメリットを安定させる。その結果、雇用促進・賃金引き上げを促進し、地方を元気にするための支援をすると力強く語っている。しかし、日銀だけが金融緩和を図っても景気は回復しない。日本はデフレ政策の経験が乏しいだけに、他国でのデフレ不況の歴史に学び、国益に添う人材を登用して国民が望む事業の展開を切望したい。徐々にではあっても、期待はできる。

内閣誕生の時期から見て、25年度予算も当面は補正で組むと思われる。仮に暫定予算となるにしても、消費税率の引き上げとその時期が気にかかるところである。『消費税率は景気が良くなければ引き上げてはならない』と消費税法に明記されている。現況からは、10月までに景気の判断をして、8%段階から引き上げたいと予測しているが微妙なところである。慎重な見通しで臨んでもらいたい。

■「教育の危機」どう取り戻す？

三つ目の公約「教育を取り戻す」政策は、どのように描かれているのだろうか。検証してみよう。

冒頭に「子どもは国の一番の宝」と謳っており、世界でトップレベルの学力・規範意識、そして、歴史・文化を尊重する態度を育むために「教育の再生」を実行する、とある。

常に世界の上位にあった我が国の国語・数学・理科などの学力は、ここ数年下がり続けている。特に漢字を書く、文章を理解するなど国語能力の低下は著しく深刻な現状だと文化庁の調査でも明らかとなった。それだけに、教育の再生は大いに期待するところである。「教育の再生」は、民主党政権でもマニフェストに重点政策として掲げていた。安倍自民党総裁は、「日教組の影響を受けている民主党に、教育の再生はできない」と大見得切った上での選挙公約であるだけに、その再生が期待される。

幼児教育・子育て支援については、次のように掲げている。

・「幼稚園・保育所・認定こども園・家庭などでの子育て支援を充実させる」

・「若者支援・結婚・出産・子育て(教育)を通して、家族を幅広く支え、子育てを幸せと実感できる家族支援政策を積極的に進める」

・「待機児童解消のための待遇改善、保育士の確保など、即効性のある対策を講じる」とある

言葉の響きは心地良い。しかし、幼児期における教育は正しい知識、正しい基礎教育はどうあるべきかの議論なくしては語れない。

40年余、現場にあって幼児教育の研究を続けてきたコグマ会代表の久野泰可氏は、幼児期の発達に見合った課題を教科に入る前に学ぶ「教科前基礎教育」、積み木や色水など事物を使って立体や物の量を手で触り、目で見て学ぶ「事物教育」、言葉を介

して論理を育て、教育を進める「対話教育」の三つが幼児教育の理念だと論じている。氏は小学校受験にも取り組んできたが、この三つの土台が如何に重要かをその取り組みで確認したという。

待機児童については、言うまでもなく地域によって格差が大きく、一括りには論じられない実態がある。もとより即効性を待ち望む地域もある。きめ細かい配慮・気配りで進めて欲しいと思う。

安倍氏は5年前の安倍内閣時代、「教育基本法」の改正を断行したことで知られている。第二次安倍内閣でも「危機突破内閣」を自認しつつ、日本を再生するためには、やみくもに前進するだけでなく〝耐えて待つ〟ことも辞さぬと語っている。文部科学・教育再生担当大臣に下村博文氏、厚生労働大臣に田村憲久氏を配したのも教育危機の脱却、福祉・医療の充実を目指す人事の布石と思いたい。

余談だが、議員会館に1丁目1番地と呼ばれる部屋がある。その部屋は権力の象徴とされている。東に面した位置にあって陽当たりは良く、国会議事堂を間近に見据え、皇居の緑を一望できる部屋、正に天下人の権威を示す場所である。その対面に位置するのが特等席と言われている部屋。そこには民主党の党首が占めるという。それを与野党協調路線の現れと見るか、それとも別の思惑があるのか、余人には計れない。

■夏の参院選で〝ねじれ現象〟克服か

これまでもそうであったように政治に混乱が生じたり、行き詰まったしてくると、決まって「政界再編成」の問題が出てくる。多くの場合大きな政党の内部で主導権争いが起こり、敗者は新党を結成し勢力の挽回を図ろうとする。これは日本だけに非ず、世界各国でもままある現象である。

日本の憲法構造によれば、第一院である衆議院の法律制定などの決議事項の優越が不十分で、参議院がその法律の成立をストップさせる拒否権を持っている。いわゆる「ねじれ現象」というものである。こうした条件下でねじれが生じれば、政権運営は極めて困難であり、衆議院で大多数を誇っても少数政権と変わりはない。その辛酸に身を焼いた歴史はごく最近まで続いたことは周知のとおり。ここにも改憲のメスを奮いたいことは頷ける。

夏の第23回参院選は2013年7月4日公示、21日投開票と予想されている。この参院選で非改選議員と合わせて自民・公明が過半数(122)を得られるかどうかが注目されるところである。自民・公明両党と、憲法改正に積極的な日本維新の会と合わせて3分の1(162)議席に達すれば、改憲に向けた動きが強くなってくると思われる。

自民党は、2012年10月に『日本経済再生本部』を立ち上げた。有識者を招き英知を結集して日本の成長戦略の在り方を構築する作業を重ねている。選挙戦に臨んで、「我が党が政権を掴んだ暁には総理大臣がその本部長を務め、官邸に本部を設置する」と公約した。

安倍晋三総理は今、次のように回想している。

「東日本大震災、福島原発の事故から早くも1年半になろうとしています。しかし、復興は遅々として進まない。塗炭の苦しみに耐えている現地の方々の暮らしを思えば、これ以上手をこまねいてはいられない。そんな私の決意に同志が火の玉となって総選挙を勝ち取ってくれたのです。そして、二度目の総理大臣になりました。一度目は、今にして思えば気負い過ぎていたようです。総理を辞した後、『あの時こうすれば良かった』と思うことをノートに書き留め、この5年間、折に触れて繰り返し読んできました。挫折を含めて、あの時の経験が私の血肉となっています。今度こそ、政治家として日本国民のためにすべてを捧げる覚悟があります。戦後の歴史から日本を取り戻す決意です」。

その思いが冒頭に述べた公約となったのであろう。危機突破内閣の成長戦略は、具体的にどう描いていくのか。「成長戦略の鍵はイノベーションにある。日本が誇る人材力・技術力・文化力を結集し、国家と人類が抱える『新しい課題』にブレイクスルーをもたらすような斬新なアイディア・技術、創造的な取り組みをしたい」、とも語っている。瑞穂の国には、瑞穂に相応しい資本主義があるという安倍内閣に、次代を担う子どものため、現在を生きているすべての人々のために、その成果を強く望みたいと思う。徐々に…であろうとも。

日本仏教保育協会編集による出席カードです。
仏教行事を楽しい絵柄で構成しています。

はなまつり、成道会、涅槃会などの仏教行事を、かわいいイラストでファンタジックに表現しています。

出席カード（仏教版）2012年度版
税込390円（本体価格372円）
セットでのご使用がおすすめです！
出席シール（仏教版）2012年度版
税込280円（本体価格267円）

〒113-8611 東京都文京区本駒込6-14-9 電話03(5395)6608 http://www.froebel-kan.co.jp フレーベル館

祝 第46回 衆議院議員選挙

ご当選 おめでとう ございます

12月16日、投開票が行われ、自由民主党が圧倒的勝利を収めました。この選挙に先立つ公示前日の12月3日、公益社団法人日本仏教保育協会(関岡俊二理事長)は、大本山増上寺・安国殿において候補者の当選祈願法要を執り行いました(本紙12月号・№584既報)。

今回は突然の解散という慌ただしい中でしたので法要に臨まれた候補者23名でしたが、そのうち20名の方が当選されました。ここにご芳名を掲げ、謹んでお祝い申し上げます。併せて、これからも「仏教保育振興」に一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

町村 信孝 68歳 自民党
元官房長官・外相・党総務局長・文科相・通産省職員 東大 北海道5区

額賀福志郎 68歳 自民党
党税調副会長 元財務相・防衛庁長官・茨城県議・産経新聞記者 早大 茨城2区

黄川田仁志 42歳 自民党
環境コンサルタント 元海洋政策研究財団研究員 米メリーランド大院 埼玉3区

船田 元 59歳 自民党
作新学院理事長・元党憲法調査会長・経済企画庁長官 慶大院 栃木1区

西川 公也 69歳 自民党
元党副幹事長・衆院農水委員長・栃木県議長・県職員 東京農工大院 栃木2区

渡辺 喜美 60歳 みんなの党
党代表 元金融行革相・自民党国土交通部会長・衆議院秘書 早大 栃木3区

佐藤 勉 60歳 自民党
党国対委員長代理 元総務相・国家公安委員長・栃木県議 日大 栃木4区

茂木 敏光 57歳 自民党
元党政調会長・金融行革相・マッキンゼー社員 米ハーバード大院 栃木5区

小渕 優子 39歳 自民党
党総務副会長 元少子化相・文科政務官・TBS社員 成城大 群馬5区

石崎 徹 28歳 自民党
元内閣官房職員・財務省職員 慶大 新潟1区

石原 伸晃 55歳 自民党
党都会長 元党幹事長・党政調会長・国交相・日本テレビ記者 慶大 東京8区

鴨下 一郎 63歳 自民党
党幹事長代理・医師 元環境相・厚労副大臣・日本新党都会長 日大院 東京13区

川崎 一郎 65歳 自民党
元党財務委員長・党国会対策委員長・厚労相・運輸相 慶大 三重1区

田村 憲久 48歳 自民党
元衆院厚労委員長・総務副大臣・党副幹事長・衆院議員秘書 千葉大 三重4区

三ツ矢憲生 62歳 自民党
党国際局長代理 元党政調副会長・国交省監理部長 東大 三重5区

伊吹 文明 74歳 自民党
元財務相・党幹事長・文科相・国家公安委員長・労相・大蔵省課長 京大 京都1区

河村 建夫 70歳 自民党
党選挙対策局長 元官房長官・拉致問題相・文科相・山口県議 慶大 山口3区

安倍 晋三 58歳 自民党
党総裁 元首相・官房長官・党幹事長・外相秘書官 成蹊大 山口4区

鳩山 邦夫 64歳 無所属
元総務相・法相・衆院議運委員長・民主党副代表・労相・文相・東大 福岡6区

小松 裕 51歳 自民党
医師 元国立スポーツ科学センター研究員 信州大 自民・長野比例区

「安心子ども基金」について

「安心子ども基金」の積み増しについて

民主政権終焉を間近にした11月30日、予備費を活用した経済対策第2段として総額6610億円のうち「安心子ども基金」に1255億円が計上された。子ども・子育て支援の新たな制度の構築に向けて、保育所の整備をはじめ認定こども園の設置促進を図るための資金である。基金の内訳は厚生労働省は1118億円、文部科学省は136億円である。実施期間を1年延長し、平成25年度までとした。

「安心子ども基金」とは言うまでもなく、子どもを安心して育てることができるような環境や、体制の整備を目的とした事業のことである。

この基金は主に厚生労働省が都道府県へ事業資金として交付し、都道府県が事業を実施することになっている。「新待機児童ゼロ作戦」に基づいた〝ひとり親〟へのサポート、保育所の整備などである。この安心子ども基金は、児童養護施設に入所している親のいない子どもたちへの「子ども手当」にも使われている。子ども手当が支給される以前の児童手当では、このような子どもたちへの支給は行われていなかった。

厚生労働省が積み増し金の対象とした事業は次の五つである。

① 保育所緊急整備事業
② 賃借物件による保育所整備事業
③ 子育て支援のための拠点施設整備事業
④ 放課後児童クラブ設置促進事業
⑤ 認定こども園整備事業

安心子ども基金の積み増し・延長については「子ども・子育て関連3法」の国会審議でも課題としており、「子ども・子育て支援の充実のために必要な予算の確保に特段の配慮を行うものとする」と、付帯決議にも盛り込まれている。

文部科学省分については、私立幼稚園（認定こども園）の耐震化促進。

認定こども園への移行を予定する私立幼稚園を対象に、園舎の耐震指標の状況に応じて国と事業者が負担する、としている。これは市町村の負担を省いて事業者の利用促進を図るためである。

「幼保連携型認定こども園」における保育教諭資格の取り扱いについて

●基本的な仕組み

改正後の「幼保連携型認定こども園」は、学校教育と保育を一体的に提供する施設であるため、その中心的職員である「保育教諭」は「幼稚園教諭免許状」と「保育士資格」の両方を持つことが原則、となっている。

現状では、幼稚園・保育所の現職のうち2～3割はどちらか一方だけの免許資格しか持っていないことから、関連法で次のような特例措置を打ち出している。

①施行後5年間、何れかの免許・資格を持っていれば、「保育教諭」となることができる。

②免許・資格の併有を促進するため、これまでの保育所または幼稚園における勤務経験を評価し、持っていない方の免許・資格の取得に必要となる単位数等を軽減する。

●今後の進め方

・「保育士資格」を有する職員に対する「幼稚園教諭免許状」の取得の緩和措置については、①基礎資格、②最低単位数、③最低在職年数、等の具体的要件を文部科学省で定めることになる。

・今後、初等中等教育局長の裁定による「検討会議」を設置し、速やかに検討を行う。

政権が自民党に移行した今、「教育を取り戻す」安倍内閣が、今後どのような取り組みをしていくか、気になるところである。

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

成道会

（到着順・敬称略）

台東初音幼稚園
園長　高橋　大海
〒110・0001　東京都台東区谷中5－2－4
TEL 03・3822・2431

社会福祉法人だん王保育園
園長　信ケ原千惠子
〒606・8387　京都市左京区川端通三条上ル法林寺門前町36
TEL 075・761・2211

社会福祉法人だん王夜間保育園
園長　信ケ原雅文
〒606・8387　京都市左京区川端通三条上ル法林寺門前町36
TEL 075・761・2211

松尾幼稚園
日仏保副理事長　副園長　日野　昭文
〒615・8296　京都市西京区松室山添町6
TEL 075・381・2591

駒沢短期大学付属こまざわ幼稚園
園長　石田　良治
〒206・0803　東京都稲城市向陽台3－3
TEL 042・378・6966

映徳学園　大谷幼稚園
日仏保理事　園理事長・園長　寺山　寛
〒038・1311　青森市浪岡浪岡字平野131
TEL 0172・62・5121

鶴見大学短大部附属　三松幼稚園
園長　黒田眞喜子
〒230・0063　横浜市鶴見区鶴見2－1－3
TEL 045・573・8819

新潟中央幼稚園
日仏保理事　園理事長・園長　今湊　良敬
〒951・8061　新潟市中央区西堀通7－1558
TEL 025・228・5866

学校法人東京聖徳学園　聖徳大学　聖徳大学短期大学部
理事長・学園長・学長　川並　弘純
〒271・8555　松戸市岩瀬550
TEL 047・365・1111

斜里大谷幼稚園
園長　鈴木　啓介
〒099・4113　北海道斜里郡斜里町本町46－10
TEL 0152・23・3880

川中保育園
日仏保参務　園理事長　遠藤　友彦
〒462・0051　名古屋市北区中切町2－64－1
TEL 052・914・9607

「劇団 希望舞台スケジュール」

釈迦内柩唄
1月26日（土）13時30分／14時00分
神奈川県 相模原市 相模原湖交流センター

6月～公演
焼け跡から
3月10日（日）（開演時間未定）
山梨県 南アルプス市 桃源文化会館
3月16日（土）13時30分／14時00分
長野県佐久市勤労者福祉センター
3月19日（火）18時00分／18時30分
神奈川県茅ケ崎市市民会館

「上村映雄前理事長お別れ会」のご案内

皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、10月11日に遷化された上村映雄前理事長のお別れ会を次の通り執り行うことに致しました。ご参席賜りますようご案内申し上げます。

生前賜りましたご厚誼ご厚情に対し、亡き上村映雄前理事長に代わりまして衷心よりお礼申し上げます。

公益社団法人　日本仏教保育協会
理事長　関岡　俊二

――記――

日時　平成25年1月17日（木）
（受付）16時30分　（お別れ会）17時～19時

会場　ザ・プリンスパークタワー東京
地下2階「ボールルーム」
（東京都港区芝公園4－8－1／TEL 03・5400・1111）

会費　2万円（当日受付で頂戴致します）
※お手数ですが12月25日までに事務局までご連絡賜りますようお願い致します。

第3回理事会
第2回運営審議委員会

●日　時　平成25年1月17日（木）
●受　付　14時30分～
●議　事　15時～16時30分
●会　場　増上寺光摂殿講堂

関西地区連絡協議会

●日　時　平成25年2月5日（火）
●報告会　15時～16時30分
●懇親会　17時～
●会　場　ホテルグランヴィア京都

養成機関連絡協議会

●日　時　平成25年2月22日（金）
●協議会　16時～17時30分
●懇親会　18時～
●会　場　芝パークホテル　本館2階「桜」
●テーマ　「養成の現状と課題」
（コーディネーター・安藤和彦先生）

全仏だより

東日本大震災で被災した寺院の復興のため指定寄附金制度を是非ご活用ください。

指定寄附金制度の利点

- 被災寺院の復興のために、檀家・門徒に限らず広く全国一般の方や会社等からの寄附金も対象となります。
- 寄附した方が、税金の優遇措置を受けることができます。
- 被災寺院からの申請の他、包括宗教法人で被災寺院をまとめての申請も可能です。

※財務省ホームページ
www.mof.go.jp/tax_policy/2306kh-shiteikifukin.htm
東日本大震災により滅失・損壊をした公益的な施設等の復旧のために公共・公益法人等が募集する寄附金の指定

※詳しくは、都道府県庁の宗教法人事務主管部局へお問い合わせください。

公益財団法人
全日本仏教会
WFB（世界仏教徒連盟）日本センター
〒105-0011
東京都港区芝公園4-7-4　明照会館2F
電話 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260
http：//www.jbf.ne.jp/
E-mail info@jbf.ne.jp

「お箸」で礼儀作法を学ぶ？

「お箸の遣い方」が入試問題に出る。２００７年から九州のある女子高校で採り入れているという。食育・礼儀作法を大切にした学校の基本方針を受験生に理解させることが目的である。箸を正しく使える人は食べ方も綺麗なのだそうだ。テストでは、箸でビーズをつまんだり、枝豆をつまむ、菜箸でゆでたホウレンソウをつまむ、といった実技が要求されるという。同校では、例年「食アレンジメントコンテスト」があり、テーマに沿って料理のアイディアや技術を競い合う。そこで学んだ生徒たちは、食の大切さを知る。

自分が子どもを持ったら、「思い出に残るような食の楽しさを感じさせてやりたい」「食を大切に思う心は、子どもを大事にすることと同じ」「姉が妊娠したので、鉄分とかカルシウムがいっぱいの体に良いお料理を作ってあげたい」。生徒たちの言葉は様々だが、優しさに溢れている。

ちょっと驚いたが、素晴らしい教育だと思う。「礼儀作法」「優しさ」は「箸の遣い方」でも学べることを知った。

事務局日誌

12／3　「第46回衆議院議員当選祈願法要」（増上寺・安国殿）

12／11　「仏カリ」企画・編集会議
「仏教保育」編集会議
事務局会議

編集後記

■平成25年度の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。本年もよろしくお願い申し上げます■好奇心や独創性の豊かな人、人の痛みがわかる人、これらはテストの点数に出てくるものではありません。この基礎は幼児期にあります。これを備えていれば豊かな人生を送ることができると思います■先日の新聞に、将来何になりたいかを小学生に聞いたところ、「正社員」という答えがいちばん多かったとありました。いったいこの国はこれからどうなって行くのでしょう■上村前理事長は常々、「仏教保育に励む者は幼児の心に『ほとけさまの心』を育て、人にやさしく、あらゆる生命を大切にする幼児に育成、どのように世の中が変わろうとも『生命尊重の心』が変わっていいはずがない」と話されていました■いまこそ「こころ」の保育を。前理事長の心をしっかり受け継いでいきたいものです。

（緑谷）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ　http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 関岡俊二　編集人 高山久照
毎月１回１日発行（１部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ:W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33 × D5.5 ×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-21
電話 〇三-三九四五-六六一二
ファクス 〇三-三九四五-六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/

仏教保育

2 FEBRUARY

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

第3回理事会／第2回運営審議委員会

決意新たに「生命尊重」の振興に尽くす

平成25年1月17日／大本山増上寺・光摂殿

公益社団法人 日本仏教保育協会（関岡俊二理事長）は1月17日、大本山増上寺・光摂殿において標記の会を開催しました。

通例では理事会・運営審議委員会終了後に園長・副園長・主事研修会、主任・中堅研修会を併催していましたが、今回は前理事長・上村映雄先生の『お別れの会』を執り行うことになりましたので、取りやめることとなりました。（『お別れの会』は次ページ参照）。

三帰依文斉唱

関岡理事長

審議風景

古屋先生

緑谷先生

荻野先生

高山先生

麻布先生

高輪先生

理事会・運営審議委員会

はじめに関岡俊二理事長の主導で三帰依文を斉唱し、引き続き理事長から、上村前理事長急逝により第2回理事会を招集し、理事長並びに副理事長4名を選任したこと。はからずも理事長に選任され急務を果たすため受諾したこと。菩提樹学園35周年の記念式典参加への呼びかけ等々を交えながら、挨拶がありました。

続いて、司会・進行の高山事務局長から29名のうち22名の理事の出席により本会が成立することを報告。また、運営審議委員会においても同様に本会成立を満たす出席数であることを報告しました。そして、定款第37条の規定により、議長には理事長が就任する旨を告げた後、議事に入りました。

上程議案は次の通りです。

第1号議案
平成24年度収支補正予算（案）
第2号議案
平成25年度事業計画（案）
第3号議案
平成25年度収支予算（案）
第4号議案　その他

1号～3号議案については所管する担当理事から上程され、慎重に審議されたのち、すべて全員の挙手により承認されました（1号～3号、本紙に別掲）。

4号議案では、東日本大震災への義援金およそ200万円については24年度内に然るべく配布したいと考えている。25年度も引き続き義援金を募っているのでご協力をお願いしたい。

菩提樹学園創設35周年の式典には多くの参加をお願いしたい。関西地区連絡協議会2月5日開催、養成機関連絡協議会2月22日開催に伴う参加への呼びかけがありました。

このあと、隣接する「ザ・プリンスパークタワー東京」で、上村前理事長の『お別れの会』がしめやかに執り行われました。

平成25年度 事業計画（案）

基本方針
生命尊重の保育確立と心の教育の推進

1 生命尊重の保育推進
心の教育「いかせいのち」の保育の充実・普及を図る

2 活力ある日仏保
財政の確立を図り会員による会員のための安定した運営基盤の確立

3 魅力ある日仏保
日仏保研究所を中心として魅力ある研修会等をとおして会員及び後継者の期待に添う日仏保の確立

4 国際交流・社会貢献のできる日仏保
生命尊重保育の普及・インド菩提樹学園・ユニセフ支援等国際交流・社会貢献を実践する

1. 生命尊重の保育推進を図る国民運動の展開

(1) 生命尊重の保育推進のための実践、普及活動（募金運動）
(2) 財政確立のための振興活動
(3) 生命尊重の集い及び講習会・研修会等の推進
(4) 生命尊重の保育に関する参考資料の編集刊行

2. 調査・研究

(1) 仏教保育にかかわる調査・研究（仏教保育史等）
(2) 仏教保育研究所（講師団・所員の充実）
(3) 仏教教育研究会の開催

3. 現職教育

(1) 中央講習会
ア 第81回夏期保育講習会 7月22日（月）・23日（火） 増上寺・三縁ホール
イ 第58回仏教保育関西地区研修会
(2) 講習会・ゼミナール等の開催促進

4. 指導者養成

(1) 平成25年度第1回仏教保育研修会 5月総会時
(2) 平成25年度第2回仏教保育研修会 1月中旬
(3) 養成機関連絡協議会 2月中旬

5. 編集・刊行

(1) 機関紙「仏教保育」 月刊 園長・教職員対象（本部）
(2) 「仏教保育カリキュラム」 月刊 教職員対象（本部）
(3) 「ほとけの子」 月刊 父母対象（宣協社）
(4) 仏教保育教材の編集・監修
1 「こどものくに」ひまわり版 月刊 年長児対象（すずき出版）
「わたしの記録」ひまわり版 一斉購読の園に贈呈
2 「こどものくに」チューリップ版 月刊 年中児対象（すずき出版）
3 「こどものくに」たんぽぽ版 月刊 年少児対象（すずき出版）
4 出席カード 園児対象（フレーベル館）
5 なつのえほん 園児対象（すずき出版）
6 ともだちいっぱいうれしいな 新入園児対象（すずき出版）
7 仏教保育紙芝居
8 その他必要な教材
(5) 「写真ニュース」の発行 父母・教職員対象

6. 関係団体との連絡提携

(1) 仏教各団体・他宗教団体との連絡
(2) 各私立・各宗保育団体との連絡
(3) 地方組織との連携強化及び育成指導
(4) 保育関係企業との連絡（鈴木出版・宣協社・フレーベル館・チャイルド本社・ひかりのくに・世界文化社・学研教育みらい・若越・Fコーポレーション等）

7. 保育制度対策の活動強化

(1) 幼保加盟施設の運営・経営の調査・研究
(2) 保育制度研究会（全国制度対策委員会）
(3) 仏教保育振興国会議員懇話会との連絡強化

8. 国際交流、社会貢献の実践

(1) 国際文化交流等と社会貢献（災害救援を含む）を積極的に推進
(2) インド菩提樹学園の育成協力
ア 菩提樹学園訪問指導・運営委員会
イ 運営基金の管理運用
ウ 運営及び育成指導への協力
(3) オメップ（OMEP）協力

9. 奨励事業

(1) 日本仏教保育協会賞 本年度養成機関卒業生
(2) 仏教保育功労賞 仏教保育実践に功労のあった個人で、適任者がいる年度のみ授与

10. その他必要な事業

(1) 会員加入促進運動
(2) 加盟園施設名簿作成
(3) 将来検討委員会の開催
(4) 東日本大震災被災園救援（会費免除等）
(5) 奉祝花まつり・暑中見舞広告・成道会等の協賛広告
(6) 各種出版物、教材の開発・販売推進（重点教材・出版物「こどものくに」「ほとけの子」）
(7) ホームページの充実
(8) その他
「仏教保育なるほど12か月」
「改訂わかりやすい仏教保育総論」「仏教行事パネルシアター」の普及促進

以上

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

公益社団法人 日本仏教保育協会
上村映雄前理事長 お別れの会

平成25年1月17日
ザ・プリンスパークタワー東京 ボールルーム

お迎えするご遺族の方

長谷川参務による献杯

関岡理事長

八木名誉会長

鳩山議員

故人を偲んで…

謝辞
上村勇雄先生

片山議員

佐藤議員

献奏・堪山貴子さん

平成24年10月11日に遷化された上村映雄前理事長の〝お別れの会〟が1月17日、ザ・プリンスタワー東京でしめやかに執り行われました。170名余におよぶ参列者は、荘厳・厳粛な中で故人のご遺徳を偲びながらも、陽気で闊達、沈思・黙考、そして決断の人でもあった生前の理事長の思い出話は尽きず、どのテーブルも話が弾んでいました。

静かに葬送の曲が流れる中、会場正面に飾られた前理事長のご遺影に向かって一人ひとりが花を捧げて入場していきます。参列の方々全員が席に着かれると司会者より開会が告げられました。

●関岡理事長挨拶

はじめに、公益社団法人日本仏教保育協会関岡俊二理事長より挨拶がありました。

「昨年10月11日、突然のご遷化。残された私たちは混乱の極みに立たされました。上村先生は日頃より心身ともに健康でありましただけに、『なぜ、そんなに死に急がれたのですか』と問いかけたものでした。『突然の旅立ちも、先生らしい身の引き方だったのかも知れない』今、そんな気もしています。先生は20年におよぶ理事長ご在任中、一度として弱音を吐いた姿を見たことはありません。どのような場面にあっても、冷静で毅然たる態度で対処されていました。その先生の生き方、思いなどをしっかりと受け止め、一丸となって仏教保育の振興に邁進することが先生への最大のご供養と思っています。皆さま方の一層のご教導をお願い申し上げます。ご遺族の方々にはここに改めて、謹んでお悔やみ申し上げます。上村先生、有難うございました」。

●八木名誉会長挨拶

続いて、同協会名誉会長・八木季生台下から次のようなお言葉が述べられました。

「先ず、ご遷化されました上村先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。私は上村先生と同じ年であります。昨年、鬼怒川で行われた全国大会では大変陽気に楽しんでおられた姿は忘れません。先生はたくさんのご本を書かれていて、私もいろいろ読ませていただきました。とても分かりやすく書かれています。その熱情のようなものを強く感じ取りました。人間いつ何処で何が起こるか分かりません。それにしても、あまりにも突然でありました。残念であります」。

●ご遺弟 上村勇雄先生挨拶

引き続き上村勇雄先生より、謝辞がありました。

「本日はこのような〝お別れの会〟を催していただき深く感謝申し上げます。昨年の本葬の際には八木名誉会長はじめ皆皆さまからご焼香並びにご厚誼を賜りましたこと、改めて御礼申し上げます。今朝、父の墓前に詣でてきました。『いつまでもメソメソしているんじゃないぞ！』そんな声が聞こえてきたように思いました。父のようにはまいりませんが、少しずつ頑張っていくつもりです。感謝を込めてお礼の言葉とさせていただきます」。

次いで、長谷川正行先生（日仏保参務）の献杯があり、テーブルを囲みながら、そこここで故人の思い出話に時が過ぎていきました。途中、ご公務のお忙しい中を駆けつけて下さった国会議員の鳩山邦夫先生はじめ、佐藤ゆかり先生、片山さつき先生からも故人を惜しむご挨拶をいただきました。また、オペラ歌手・堪山貴子さんによる「別れの曲」「仏教保育の歌」「落葉樹」など献奏されました。

最後に、緑谷一雄副理事長の閉会の辞で「お別れ会」の集いを静かに終えました。

平成24年度　収支補正予算書

自　平成24年４月１日
至　平成25年３月31日

収入の部

（単位　円）

大・中・小科目	当初予算額（A）	補正予算額（B）	増減（A－B）	備　考
基本財産運用収入	95,000	95,000	0	
社団基金利息収入	50,000	50,000	0	元金43,430,000円
菩提樹学園利息収入	40,000	40,000	0	元金32,100,000円
持田基金利息収入	1,000	1,000	0	元金800,000円
古屋基金利息収入	4,000	4,000	0	元金4,400,000円
入会金収入	10,000	10,000	0	２園
会費収入	25,300,000	25,300,000	0	23,000×1,100施設
事業収入				
出版収入	15,810,000	15,810,000	0	
こどものくに収入	1,530,000	1,530,000	0	51,000×2.50×12
ほとけの子収入	5,280,000	5,280,000	0	40,000×11×12
仏教保育カリキュラム	9,000,000	9,000,000	0	購読料 1,500部
刊行物監修	2,230,000	2,240,000	Δ 10,000	
こどものくに編集	280,000	280,000	0	
出席カード印税	350,000	367,424	Δ 17,424	フレーベル仏保版出席カード
保育教材ロイヤリティー	1,600,000	1,600,000	0	夏の絵本、合掌人形、上製本等
その他編監修料	0	0	0	
受講料収入				
中央講習会受講料	2,000,000	1,701,930	298,070	
社会貢献・国際交流(生命尊重)	4,350,000	4,350,000	0	
生命尊重募金	4,350,000	4,350,000	0	
義　援　金	5,000,000	3,500,000	1,500,000	東日本大震災義援金
補助金収入				
年度・制度対策助成金	4,000,000	4,000,000	0	宗派・本山よりの助成金
寄付金収入	550,000	550,000	0	鈴木出版25 保育教材6社30
雑　収　入	8,605,000	12,060,000	Δ 3,455,000	
運用利息収入	5,000	5,000	0	
協賛金収入	1,000,000	1,000,000	0	協賛金
広告収入	6,000,000	6,000,000	0	仏カリ他広告収入
その他の雑収入	1,600,000	5,055,000	Δ 3,455,000	祝賀会会費・お祝125万5千円 寄付金40万 お別れ会会費300万 関西地区連絡協議会懇親会費・養成機関連絡協議会懇親会費
特定預金取崩				
取崩収入	0	0	0	
前期繰越				
前期繰越金	23,457,519	120,879,496	Δ 97,421,977	公益法人化に伴い今までの社団基金並びに特別会計ａ／ｃを繰越金にいれる
合　計	91,407,519	190,496,426	Δ 99,088,907	

支出の部

大・中・小科目	当初予算額(A)	補正予算額(B)	増減（A－B）	備　考
事　業　費				
人 件 費				
臨時雇賃金等	0	0	0	事業のための臨時雇
調査研究費				
研究運営費	200,000	200,000	0	
教育研究奨励費	650,000	430,000	220,000	
教育研究会補助	150,000	150,000	0	東仏保ゼミ補助
古屋・持田賞	200,000	100,000	100,000	全国大会開催年 持田賞該当なし
仏教保育功労賞	50,000	50,000	0	賞状、記念品
研究発表指定園	200,000	80,000	120,000	全国大会開催年 4園×2万円
仏教保育精励賞	50,000	50,000	0	全国大会開催年
菩提樹学園充実	800,000	800,000	0	
学園視察派遣旅費	600,000	600,000	0	旅費補助
同上　資料代	200,000	200,000	0	学園おみやげ

大・中・小科目	当初予算額(A)	補正予算額(B)	増減（A－B）	備　　考
大会講習会開催費	3,800,000	3,800,000	0	
全国大会開催費	300,000	300,000	0	本部30、支部へは23年度に送金済み
講習会開催費	2,050,000	2,050,000	0	関西地区研修会・夏期講習会、夏期講習会案内印刷
園長・主事研修会	150,000	0	150,000	総会時開催研修会講師料 → 仏教保育研修会費へ統合
主任・中堅研修会	300,000	0	300,000	理事評議員会同時開催講師料・案内状印刷 →仏教保育研修会費へ統合
仏教保育研修会費	0	450,000	Δ 450,000	小科目名称新設
支部講習会補助	1,000,000	1,000,000	0	支部、ブロックで行う講習会補助
刊行・出版費	27,500,000	27,500,000	0	
仏教保育出版費	9,000,000	9,000,000	0	約75万×12
ほとけの子出版費	1,500,000	1,500,000	0	原稿、制作費
月刊仏カリ費	17,000,000	17,000,000	0	製作、発送費
各種委員会委託	1,180,000	1,180,000	0	
仏カリ編集委員会	200,000	200,000	0	
こどものくに編集委員会	280,000	280,000	0	委員会へ
ほとけの子編集委員会	400,000	400,000	0	委員会へ
教材開発委員会	300,000	300,000	0	委員会へ
助成金支出	4,300,000	4,300,000	0	
支部助成金	2,500,000	2,500,000	0	支部へ会費10%還元
菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費、国際仏教興隆協会へ
各種団体提携費	800,000	800,000	0	宗派保連、保育団体・関西地区連絡協議会
社会貢献・国際交流(生命尊重)	8,500,000	6,800,000	1,700,000	
菩提樹学園助成	1,000,000	1,300,000	Δ 300,0000	学園運営費(学園35周年のお祝いを含む) 国際仏教興隆協会へ
義援金	6,000,000	4,000,000	2,000,000	東日本大震災義援金他
印刷作成費	1,000,000	1,000,000	0	
募金経費	500,000	500,000	0	
各種対策費	2,300,000	2,300,000	0	
組織強化費	1,000,000	1,000,000	0	支部強化経費、支部事業助成
制度対策費	1,000,000	1,000,000	0	懇話会、顧問弁護士
養成機関連絡費	300,000	300,000	0	養成機関連絡協議会
事業雑費	1,400,000	1,400,000	0	
ホームページ運営費	900,000	900,000	0	
事業雑費	500,000	500,000	0	
管理費				
会議運営費	5,850,000	8,900,000	Δ 3,050,000	
理事運営審議委員会開催費	2,600,000	5,650,000	Δ 3,050,000	2回開催交通費、1月新年懇親会 →お別れ会、臨時理事会分交通費
総会運営費	2,500,000	2,500,000	0	記念祝賀会・総会・総会案内印刷
支部長会･参務会開催費	500,000	500,000	0	将来検討委員会
事務局運営費	250,000	250,000	0	
給料手当	4,700,000	4,700,000	0	
給料・諸手当	3,500,000	3,500,000	0	給与＋通勤交通費 非常勤分を省く
賞与	900,000	900,000	0	４ケ月
所定福利費	300,000	300,000	0	健保、年金掛金補助、労働保険
役務費	3,550,000	3,550,000	0	
旅費交通費	400,000	400,000	0	交通費
通信運搬費	1,200,000	1,200,000	0	郵券、電話等通信費
印刷製本費	200,000	200,000	0	封筒等印刷全般
什器備品費	100,000	100,000	0	事務所備品
消耗品費	200,000	200,000	0	文具等
借料損料	450,000	450,000	0	事務機器リース、ｺﾋﾟｰﾗﾝﾆﾝｸﾞｺｽﾄ
租税公課	1,000,000	1,000,000	0	法人税、消費税
事務所費	2,940,000	2,940,000	0	
貸借料	2,340,000	2,340,000	0	事務所賃借料9月まで21万／月、以降18万/月
光熱水費	600,000	600,000	0	光熱水費負担金
諸謝金				
慶弔費	400,000	400,000	0	
事務雑費				
管理雑費	500,000	500,000	0	
社団基金積増	1,000,000	0	1,000,000	
特定預金支出				
退職給与引当金	600,000	600,000	0	
予備費	5,000,000	5,000,000	0	
当期収支差額	16,237,519	115,196,426	Δ 98,958,907	公益法人化に伴い社団基金並びに特別会計を繰り入れる
合　　計	91,407,519	190,496,426	Δ 99,088,907	

平成25年度　収支予算書

自　平成25年４月１日
至　平成26年３月31日

収入の部

（単位　円）

大・中・小科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A－B)	備　考
基本財産運用収入	95,000	95,000	0	
社団基金利息収入	50,000	50,000	0	元金45,215,000円
菩提樹学園利息収入	40,000	40,000	0	元金32,100,000円
持田基金利息収入	1,000	1,000	0	元金800,000円
古屋基金利息収入	4,000	4,000	0	元金5,400,000円
入会金収入	10,000	10,000	0	２園
会費収入	25,300,000	25,300,000	0	23,000×1,100施設
事業収入				
出版収入	15,810,000	15,810,000	0	
こどものくに収入	1,530,000	1,530,000	0	51,000×2.50×12
ほとけの子収入	5,280,000	5,280,000	0	40,000×11×12
仏教保育カリキュラム	9,000,000	9,000,000	0	購読料 1,500部
刊行物監修	2,230,000	2,230,000	0	
こどものくに編集	280,000	280,000	0	
出席カード印税	350,000	350,000	0	フレーベル仏保版出席カード
保育教材ロイヤリティー	1,600,000	1,600,000	0	夏の絵本、合掌人形、上製本等
その他編監修料	0	0	0	
受講料収入				
中央講習会受講料	2,000,000	2,000,000	0	
社会貢献・国際交流(生命尊重)	4,350,000	4,350,000	0	
生命尊重募金	4,350,000	4,350,000	0	
義援金	2,000,000	5,000,000	Δ 3,000,000	
補助金収入				
年度・制度対策助成金	4,000,000	4,000,000	0	宗派・本山よりの助成金
寄付金収入	550,000	550,000	0	鈴木出版25　保育教材6社30
雑収入	7,605,000	8,605,000	Δ 1,000,000	
運用利息収入	5,000	5,000	0	
協賛金収入	1,000,000	1,000,000	0	協賛金
広告収入	5,000,000	6,000,000	Δ 1,000,000	仏カリ他広告収入
その他の雑収入	1,600,000	1,600,000	0	5月・1月懇親会費　関西地区連絡協議会懇親会費・養成機関連絡協議会懇親会費
特定預金取崩				
取崩収入	0	0	0	
前期繰越金	115,196,426	23,457,519	91,738,907	
合　計	179,146,426	91,407,519	87,738,907	

支出の部

大・中・小科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A－B)	備　考	組替後対応科目
事業費					
人件費					
臨時雇賃金等	0	0	0	事業のための臨時雇	
調査研究費					
研究運営費	200,000	200,000	0		印刷製本費
教育研究奨励費	200,000	650,000	Δ 450,000		
教育研究会補助	150,000	150,000	0	東仏保ゼミ補助	支払助成金
古屋・持田賞	0	200,000	Δ 200,000	全国大会未開催年	支払助成金
仏教保育功労賞	50,000	50,000	0	賞状、記念品	消耗品費
研究発表指定園	0	200,000	Δ200,000	全国大会未開催年	支払助成金
仏教保育精励賞	0	50,000	Δ 50,000	全国大会未開催年	消耗品費
菩提樹学園充実	800,000	800,000	0		
学園視察派遣旅費	600,000	600,000	0	旅費補助	旅費交通費
同上　資料代	200,000	200,000	0	学園おみやげ	消耗品費

大・中・小科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減（A－B）	備　　考	組替後対応科目
大会講習会開催費	7,300,000	3,800,000	3,500,000		
全国大会開催費	3,800,000	300,000	3,500,000	本部30万、支部へ350万	支部助成金
講習会開催費	2,050,000	2,050,000	0	関西地区研修会・夏期講習会、夏期講習会案内印刷	支払助成金130　諸謝金70　印刷製本費5
園長・主事研修会	0	150,000	Δ 150,000	総会時開催研修会講師料	諸謝金
主任・中堅研修会	0	300,000	Δ 300,000	理事評議員会同時開催講師料・案内状印刷	諸謝金10　印刷製本費20
仏教保育研修会費	450,000	0	450,000	名称新設(園長…+主任・研修会合併)	
支部講習会補助	1,000,000	1,000,000	0	支部、ブロックで行う講習会補助	支払助成金
刊行・出版費	27,500,000	27,500,000	0		
仏教保育出版費	9,000,000	9,000,000	0	約75万×12	印刷製本費
ほとけの子出版費	1,500,000	1,500,000	0	原稿、制作費	印刷製本費
月刊仏カリ費	17,000,000	17,000,000	0	製作、発送費	印刷製本費
各種委員会委託	1,180,000	1,180,000	0		
仏カリ編集委員会	200,000	200,000	0		委託費
こどものくに編集委員会	280,000	280,000	0	委員会へ	委託費
ほとけの子編集委員会	400,000	400,000	0	委員会へ	委託費
教材開発委員会	300,000	300,000	0	委員会へ	委託費
助成金支出	4,300,000	4,300,000	0		
支部助成金	2,500,000	2,500,000	0	支部へ会費10%還元	支払助成金
菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費、国際仏教興隆協会へ	支払助成金
各種団体提携費	800,000	800,000	0	宗教連、保育団体・関西地区連絡協議会	会議費45旅費交通費25支払助成金10
社会貢献・国際交流(生命尊重)	4,500,000	8,500,000	Δ 4,000,000		
菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ	支払助成金
義援金	2,000,000	6,000,000	Δ 4,000,000		支払寄付金
印刷作成費	1,000,000	1,000,000	0		印刷製本費
募金経費	500,000	500,000	0		消耗品費
各種対策費	2,300,000	2,300,000	0		
組織強化費	1,000,000	1,000,000	0	支部強化経費、支部事業助成	支払助成金
制度対策費	1,000,000	1,000,000	0	懇話会、顧問弁護士	諸謝金40　諸会費60
養成機関連絡費	300,000	300,000	0	養成機関連絡協議会	支払助成金15　会議費15
事業雑費	5,900,000	1,400,000	4,500,000		
ホームページ運営費	900,000	900,000	0		委託費80　通信費10
事業雑費	500,000	500,000	0		委託費40　消耗品費10
名簿作成費	4,500,000	0	4,500,000	会員名簿作成	
管理費					
会議運営費	4,850,000	5,850,000	Δ 1,000,000		
理事運営審議委員会開催費	2,600,000	2,600,000	0	2回開催交通費、1月新年懇親会	旅費交通費140　会議費120
総会運営費	1,500,000	2,500,000	Δ 1,000,000	総会及び5月懇親会・総会案内印刷	会議費140　印刷製本費30
支部長会・参務会開催費	500,000	500,000	0	将来検討委員会	会議費
事務局運営費	250,000	250,000	0		会議費
給料手当	4,820,000	4,700,000	120,000		
給料・諸手当	3,600,000	3,500,000	100,000	給与+通勤交通費 非常勤分を省く	給料手当
賞与	920,000	900,000	20,000	4ケ月	給料手当
所定福利費	300,000	300,000	0	健保、年金掛金補助、労働保険	給料手当
役務費	3,550,000	3,550,000	0		
旅費交通費	400,000	400,000	0	交通費	旅費交通費
通信運搬費	1,200,000	1,200,000	0	郵券、電話等通信費	通信運搬費
印刷製本費	200,000	200,000	0	封筒等印刷全般	印刷製本費
什器備品費	100,000	100,000	0	事務所備品	消耗什器備品費
消耗品費	200,000	200,000	0	文具等	消耗品費
借料損料	450,000	450,000	0	事務機器リース、コピーランニングコスト	賃借料
租税公課	1,000,000	1,000,000	0	法人税、消費税	租税公課
事務所費	2,760,000	2,940,000	Δ 180,000		
貸借料	2,160,000	2,340,000	Δ 180,000	事務所賃借料 18万／月	賃借料
光熱水費	600,000	600,000	0	光熱水費負担金	光熱水料費
諸謝金					
慶弔費	400,000	400,000	0		諸謝金
事務雑費					
管理雑費	500,000	500,000	0		委託費
特定預金支出					
退職給与引当金	600,000	600,000	0		
予備費	5,000,000	5,000,000	0		
当期収支差額金	102,486,426	17,237,519	85,248,907		
合　　計	179,146,426	91,407,519	87,738,907		

"ジャンケン"って、どこからきたの？

「ジャンケンポン！」「あいこでしょ」

子どもの頃から慣れ親しんできた楽しい遊び「ジャンケン」のルーツは何だろうって思ったことありませんか。

実はこれ、中国で起こったものです。中国には「ヘビはナメクジを怖がり、ナメクジはカエルを怖がり、カエルはヘビを怖がる」という言い伝えがあります。これが日本に伝わり、江戸時代に庶民が勢力を増してくると『三すくみの思想』として定着し、「ジャンケン」という形で表現されたと言われています。

"三すくみ"というのは『絶対的に強いものは存在しない』ということが前提にあり、『それぞれが強い部分と弱い部分を持っていると認め合う』という思想です。これを『グー・チョキ・パー』の形にしたのは日本人です。

どの形を選ぶかは自分の責任であり、勝つも負けるも自分の才能と運次第という考えに立脚したものだということです。丁半博打と違ってジャンケンには「あいこ」があります。場合によっては、いつまでも勝負がつかないこともあります。

政権を担う政治家諸氏には、暴走を戒める『三すくみ』の思想も時には必要かも知れません。「あいこ」ばかりで堂々巡りも困りますが…。

事務局日誌

1／11　「仏カリ」「仏教保育」編集会議
　　事務局会議
1／17　「第3回理事会」「第2回運営審議委員会」
　　大本山増上寺・光摂殿
　　「上村映雄前理事長お別れの会」
　　ザ・プリンスパークタワー東京
　　ボールルーム

編集後記

■最近、保育所の先生から朝いちばんのおむつ替えの量が増えていると聞きました。登園前におむつを替えないで子どもを園に連れて来るというのです。どうせ先生が替えてくれるから家で替えなくてもいいと考える保護者が増えてきたのでしょうか。保育所の先生方がきめ細かいお世話をなさればなさるほど保護者はしてもらって当たり前になっているのです■わたくしの幼稚園の歯科検診で治療を要するとの診断のあった5歳児の保護者にその旨お伝えしても、保護者は受診してくれません。小学1年生になれば歯科の治療代が無償になるので、あわよくばその制度を利用するというのです■こんな考え方の保護者が増えてくると、保育や幼児教育に情熱をもって取り組もうとする有能な人たちが私たちの職場から去ってしまうことが心配です。

（日野）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ　http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 関岡俊二　編集人 高山久照
毎月1回1日発行（1部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ：W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33 × D5.5 ×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／ PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-4-21
電話 〇三-三九四五-六六一二
ファクス 〇三-三九四五-六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/

仏教保育

3 MARCH

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

インド菩提樹学園35周年記念法要を終えて

公益社団法人 日本仏教保育協会 事務局長　高山 久照（寿福寺幼稚園・練馬区）

「インド山日本寺40周年・菩提樹学園35周年・光明施療院30周年、インド6大仏跡参拝の旅」が、去る1月21日から29日までの9日間の日程で実施された。

（公財）国際仏教興隆協会（安田暎胤理事長）、（社）全日本仏教婦人連盟（末廣久美理事長）と本協会の共催で行われた今回の旅の参加者数は、各理事長をはじめ一般参加者3名を含む24名。

初日はタイ航空の午前便で成田出発、バンコクにて関西空港から出発した3名と合流後、ホテルにて団結式を行った。その日の夕食はWFB（世界仏教徒連盟＝1950年設立。本部をバンコク市に置き、世界170の地域センターが加盟する仏教徒の団体）事務総長パロップタイアリー氏のご好意でレセプションの形で行われた。

2日目は釈尊成道の地ブダガヤに入り、大塔を参拝。ホテルで休憩後、夕刻に再び大塔を訪れ、WFBより大塔管理委員会への仏像寄贈に立ち会い、隣山会僧侶等とともに菩提樹下の金剛法座前にてプジャを奉げた。

3日目、23日（水）、早朝のスタディーツアーに参加しハンセン病治療施設MAITRIを訪問、インド国内におけるハンセン病の現状の説明を受けた。

その後、日本寺に移動し標題の法要に臨んだ。午前10時20分より日本寺本堂に於いて、隣山会のチベット僧、上座部僧侶の読経に続き関岡俊二理事長を導師に記念法要が営まれた。法要には菩提樹学園からソバ主任教諭と代表園児が参加した。引き続き、当協会関岡理事長より菩提樹学園35周年の記念品（保育机30台、制服：夏・冬用各210着）が巌谷勝正国際仏教興隆協会現地法人理事長に手渡された。

法要後、場所を移し講堂に於いて菩提樹学園の子どもたち全員による歓迎会が開催された。子どもたちと9名の先生方はこの日に備え2カ月以上をかけて、歌やダンスの練習をしてくれたという。歓迎会の華やいだ表情の子どもたちの様子に参加者一同喜びを感じた。

4日目以降の仏跡参拝の旅は寒波のため、通常よりも寒かったことを除き、大きなトラブルもなく順調に終えることができた。

なかでも、クシナガラの荼毘塚の前で安田暎胤師の法話をお聞きしたことは、極めて印象深く有難いことだった。

昭和52年釈尊報恩感謝の実践行として日本全国の仏教系保育所・幼稚園の関係者より寄せられた浄財で菩提樹学園が開設されて35年目を迎えた。この機会に、今回参加頂いた皆さまと共に現地を参拝することができたことに深く感謝申し上げたい。

関岡理事長より菩提樹学園35周年を祝して巌谷KBKK現地法人理事長に記念品を贈呈

記念式典風景

「関西地区連絡協議会」報告

松尾幼稚園（京都）主事　日野　昭文

関西地区連絡協議会は、1月の理事会の結果を関西地区の各宗ご本山並びに会員にお伝えする会で、毎年2月の上旬に京都で開催されています。

関岡理事長の挨拶に続き、次の通り報告した。

① 去る10月11日、上村映雄理事長が急逝され、10月25日の臨時理事会において副理事長の関岡氏が理事長に、常任理事の緑谷氏が副理事長に選任されて登記を完了した。

② 11月24、25日の通夜、本葬には20年にわたる上村理事長の急逝をいたむ多くの参列者があった。

③ 1月17日の理事会に続いて前理事長の「お別れの会」を開催。特に有縁の皆さま160余名にご参加いただき、多くの方に思い出を語っていただいた。

④ 1月21日から菩提樹学園35周年を記念して総勢24名にてインド仏参旅行を実施。日本寺で法要をつとめ、学園に学習机30台と、夏冬制服各210着を寄付。在園児200名以上を受け入れている学園で活用される予定。

⑤ 2月には教諭、保育士養成大学との協議会を予定している。最近、採用試験への応募が少なくなっているとの声がある。人材確保のためにこの会を大切にして行きたい。

続いて事務局長から、24年度補正予算について説明があった。そして各担当常務理事から25年度事業計画について、また25年度予算についてそれぞれ説明があった。

事業計画の中で大阪地区より関西仏教保育研修会（6／29）の予定が報告された。

京都地区より26年全国大会のテーマについて「つつまれるいのち」―仏教保育の新しいデザイン―との発表があった。

その後、各宗ご本山ご来賓よりそれぞれ激励、お祝辞をいただいて協議会を終了した。

「ほぜんじ幼稚園」さんから日仏保へ200万円が寄贈

1月17日に行われた「上村前理事長お別れの会」（本紙2月号に既報）の席上で、ご遺弟・上村勇雄先生より公益社団法人日本仏教保育協会に、金200万円が贈られました。

関岡俊二理事長は「上村前理事長のご意志を継いで、仏教保育の振興に使わせて頂きます」と、感謝の言葉と決意を述べられました。

【お詫びと訂正】

『仏教保育』1月号（No.585）の「成道会」協賛広告のうち、三松幼稚園の表記が鶴見大学短大部附属三松幼稚園となっていましたが、「**鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園**」が正しい表記でした。謹んでお詫びし、訂正いたします。

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

インド菩提樹学園訪問と6大仏跡参拝の旅

（平成25年1月21日～1月29日）

園児による歓迎のダンス

白亜に輝くルンビニ園

クシナガラの茶毘塚の前で安田長老の説法を聞く

ルンビニ園の前で記念撮影

アショカ王の石柱

「菩提樹学園35周年、日本寺創建40周年、光明施療院30周年」記念の年に参加して

育英短期大学教授　佐藤　達全

これまでの菩提樹学園訪問と仏跡参拝は日本仏教保育協会の主催でしたが、今回は国際仏教興隆協会・日本仏教保育協会・全日本仏教婦人会の共催という形で実施されました。

その理由は、今年が菩提樹学園が設置されている印度山日本寺が創建されて40周年にあたり、菩提樹学園が35周年、同じく日本寺の境内で無料の診療を行っている光明施療院が30周年を迎えるという記念の年になるからです。そのため、ブダガヤに滞在した一日半（2泊）のスケジュールは非常に盛りだくさんでした。

日本を発って二日目の午後にブダガヤに着くと、すぐにお釈迦さまがお悟りを開いたといわれる場所に建つ高さ52メートルの大菩提寺（マハーボディー寺院）にお参りをし、大きく枝を広げた菩提樹の下でお釈迦さまが坐禅をしたとされる金剛座に手を合わせながら、はるか昔のお釈迦さまに思いを馳せました。大塔の周囲では、さまざまな国の人が一心に経文を唱え、五体投地の礼拝を繰り返しています。

そのわきを通り抜けて、お釈迦さまが沐浴したといわれる蓮池をまわってホテルで休憩しました。大塔が2002年に世界遺産に登録されてからは、周辺の静けさが消えてしまったといわれますが、お釈迦さまを慕う人々の姿は変わっていません。日没後、ライトアップされた大塔を再び参拝したときには、身震いするほどの感動を覚えました。

ブダガヤ滞在二日目は、朝食後にハンセン病治療施設を訪問した後、例年どおり菩提樹学園の子どもたちのお遊戯を見学しました。私が菩提樹学園を訪れたのは10回目ですが、初めて子どもたちのお遊戯を見せてもらった95年に比べると、保育環境が格段に良くなり保育内容も工夫されているように感じました。日本寺の本堂で記念法要を行った後に、光明施療院・尼蓮禅河・スジャータ村を訪れるなど、充実した一日になりました。

今回は6大仏跡を訪ねることになっていましたから、初めて訪れる仏跡もたくさんありました。猿がお釈迦さまに蜜を供養したという話が残っているヴァイシャーリではアショーカ王が築いたと伝えられる石柱やストゥーパを、またチュンダ村ではチュンダの遺跡を見学することができました。そして、10年ぶりに訪れたお釈迦さまの生誕の地・ルンビニは発掘や整備が進んで周囲の様相が一変していましたが、夕闇が迫る中でカピラ城跡ティラウラコッタを参拝できたことも印象的でした。

三つの団体の共催でしたから、24名の参加者の半数は仏教保育とは関係のない方々でした。そのお一人が、国際仏教興隆協会理事長という重責を担っておられる法相宗大本山薬師寺の安田暎胤長老です。長老は、お釈迦さま入滅の地クシナガラの茶毘塚の前で、お釈迦さまのチュンダへの思いやりの心と、ご自身が体験された昭和天皇の周囲の人々に対する思いやりの心を結びつけてお話をしてくださいました。昭和天皇が薬師寺に行幸されたとき、失礼があってはならないと緊張している薬師寺の関係者に対して「特別な準備は要らない。普通に迎えてくれればよい」とのお気持ちを伝えられたそうです。

一方、晩年のお釈迦さまはチュンダの食事の供養を受けて体調を崩されたと伝えられていますが、お釈迦さまはチュンダに心配をさせないように何度も何度も気遣っていたと伝記に記されています。周囲の人に対する思いやりの心の大切さを、ひと言ひと言をかみしめるようにお話しされる長老の言葉に、全員がじっと耳を傾けていました。これこそが、現代の私たちが忘れてしまった大切な「人の心」と言えるのではないでしょうか。

インド旅行（研修）を終えて

佼成育子園（東京）保育士　山田　記央

ブッダガヤ、ラジギール、ヴァイシャリ、クシナガラ、ルンビニ、サルナート、インドの6大仏蹟を旅してきました。

この他に二つの祇園精舎とサンカシャーがあり、インド8大仏蹟というそうです。8大のうち6大もの仏蹟を初めてのインドで訪れるこ

とができました。6大仏蹟それぞれに見どころや現地ガイドさんの解説も面白く、新しい発見や知識が得られました。その中でも、最も印象に残ったのはブッダガヤでした。

保育士の立場として参加させていただいた者として、菩提樹学園35周年の記念式典に参加させていただいたことや、式典での園児の歌、ダンス、ドラマでは子どもたちみんなが笑顔でとても楽しく参加しているのが観ている方にも伝わってきてとても素晴らしく、事前に菩提樹学園の創設の際に育子園からお手伝いに行かれた先輩がいたと聞いていたのでとても誇らしく思い参加できて良かったです。

そしてもう一つは、大塔を見れたことです。とても感激しました。旅の行程では二日目(インドの一日目)最も初めに参拝させていただいた仏蹟でしたが、今回の旅で最後まで、今この原稿を書いているときでさえも、何とも言い表せないのですが、感動、感動しています。大塔にはたくさんの方が参拝に来ていました。僧侶の方が多く参拝されていました。大塔のある敷地内でいろいろな国の言葉、形でお経をあげていました。大塔を中心に時計回りに一周しました(これも今回の旅で得た知識ですが仏蹟などを参拝する際には左肩は見せてはいけず、右肩が見えるように回るとのことでした)。回り終わるころにちょうど夕陽が大塔の横をゆっくりと暮れていきました。とても神秘的な光景でした。

インド最後の日には大塔とは対照的に、ベナレスとガンジス河の朝日を見ました。どちらも同じインドでしたが、インドの広さと人の多さ、穏やかさを感じることのできる一場面でした。ただどちらも売り子さんには馴染めませんでした。なかなかインドの街中を歩くという機会は、バス移動が中心だったのでありませんでしたが、車、バイク、自転車、売り子さん、屋台ととても多く、いたるところでクラクション、ベルを聞きました。「インドの人はのんびりです」と現地ガイドさんから聞いていたのでびっくりしましたが、ただ車が道を渡るときのルールで渡りたい時も渡る時も渡り終わった時も合図でクラクションを鳴らすそうです。

日本に帰国後感じたことは、道を歩いても「しずかだな～と」思いました。自転車も後ろからスーと静かに通り過ぎていきます。今までは当たり前でしたがあまりの静かさにとてもびっくりしてしまい、「ああ、ぶつかりそうだった」と思ってしまいました。インドの人たちは親切であんなに音を出して周りに知らせていたんだなと感じ、国によって親切の仕方も違うんだと思い、インドを思い出し嬉しく感じました。

自分も自分だけの価値観で物を考えたりしないようにと改めて思わさせていただき、今回のインドで学んだことをこれからの自分の仕事や生活でも活用できたらと思いました。

初めてのインドは〝キンチョーる〟

野口 あけみ(千葉市)

「♪はーるばる来たぜインドまで～ 胸の高鳴り抑えつつ 跡を追うわと言いながら お釈迦さまの最後の旅路 思い描けば行きたくて とーっても我慢が～できなかったよ～」というわけで〝6大仏跡参拝の旅〟ツアーに参加した。インドの旅は以下のとおり〝キンチョーる〟の連続だった。

(その1) バンコク。結団式およびWFBの歓迎会に出席すれば国際仏教○○、全日本仏教○○、日本仏教○○&世界仏教○○の方々。

どこにも帰属しない一般参加の私は〝緊張る〟

(その2) バンコク国際空港の規模の大きさ、立派さは〝金張る〟

(その3) お釈迦様成道の地ブッダガヤ。大塔付近のバザールを歩くと乞食や野良犬が寄って来て、狂犬病が頭をよぎる。「こっ、来ないでー!」と〝緊張る〟

(その4) 菩提樹学園では子どもたちが熱烈歓迎。どの子も素敵な衣装で誇らしげ。キラキラのコスチューム以上に輝いて〝錦張る〟

ステージに上がれば映画〝踊るマハラジャ〟ばりの達者な歌と踊り。恐るべし、インドのちびっこ! インドの底力を感じた。

(その5) バスでの移動は、アスファルトの道路も大きな橋もいたる所に大きな穴があり揺れる。悪路で肩や腰は〝筋張る〟

(その6) 蚊取り線香の煙が立ち上る日本寺での勤行。金色の幢幡(どうばん)には本物の鳥がいる。これぞ〝金鳥る!〟

ブッダガヤで坐禅ができるなんて感無量。「よし、集中!」と気合を入れたも束の間、蚊が羽音を立てて迫ってくる。首をすくめ〝緊張る〟

キンチョウ蚊取り線香は「緊張を取る」。略して〝禁張る〟

ああ、だが、しかし数匹の蚊に坐禅三昧はあっけなく惨敗。お悟りの場所近くにいながら、なぜか悟りとますます遠くなる私。「ブッダガヤ ああブッダ蚊や 仏陀蚊や」(トホホ)

(その7) 衛生面での一番の〝緊張る〟は何と言っても立ち寄るドライブインやガソリンスタンドのトイレの汚さ。トイレに行くことが憂鬱。移動時間中、青空トイレを2回経験したが汚いトイレより余程まし。大きなショールを頭からかぶり、菜の花畑に紛れ込めば農村風景に花を添える(訳ないか)。また生野菜、果物には手が出せず、ホテルの水道水もこわごわ歯磨きに使って〝緊張る〟

(その8) クシナガラで安田暎胤師よりチュンダと昭和天皇についての法話を〝謹聴〟した。

(その9番外) インド最終日。ベナレスの考古学博物館の庭では仔犬が4匹無邪気に戯れ、その傍らで母親が寝そべり仔犬たちを優しい眼差しで見守っていた。仔犬の可愛さや親子の情愛にインドに来て初めてくつろぐひとときだった。ようやく除〝緊張る〟

(おわりに) 帰りの飛行機の中。窓から見えた丸い月に「楽しい旅行だった。いろんな人たちに会えてよかった。ありがとう。」と言った途端、まぶたが重くなってきた。

全仏だより

税務調査等の対応にご留意！

宗教法人等の税務調査の厳格化や帳簿書類整備の必要性
～適正な申告や帳簿書類の整備が要求されます～

国税通則法の改正（平成25年1月1日以降施行）による税務調査権の明確化（全国一律の統一化・成文化）と罰則による強化

国税通則法の改正内容

- 事前通知（納税者、納税代理人）
  ※但し、非違が疑われる場合は、事前通知することなく質問検査が行われる。
- 質問回答、帳簿書類の提示、提出、留置（罰則あり）
- 取引先等の反面調査
- 調査結果説明
- 更正、決定の通知
- 再調査　など

適正な申告をしましょう

- 給与、謝礼、日当などに対する源泉所得税
- お布施、賽銭、塔婆代、お車代、御膳料、付け届け等の収入・所得計上など

帳簿書類の整備をしましょう

- 財産目録、収支計算書（経常収入年間8000万円超の法人、及び公益事業以外の事業を行っている法人、収支計算書を作成している法人）、事務処理簿、補助簿など

（規則、役員名簿、責任役員会等の議事録等）

- 檀信徒名簿の個人情報は、宗教法人法第84条に準拠し、調査官の意図や内容を吟味した上で、慎重に対処しましょう
- 過去帳は、人権擁護の立場から非開示を含め、慎重に対処しましょう

以上の点について、税理士、弁護士などを招へいして勉強会をしましょう

税務署からの『お尋ね』（任意回答文書）の送付についてご注意を

お布施、賽銭、お守り等の収入状況、宗教活動以外の収支状況、預貯金や不動産の状況、備付書類等の状況、給与（住職・寺族、使用人）の支給状況などについて回答を求めた文書です。

『お尋ね』（任意回答文書）に回答するかしないかは全くの自由です。地域仏教会単位で税務署に対応しましょう。＊詳しくは、公益財団法人全日本仏教会にお問い合わせください。

公益財団法人
全日本仏教会
WFB（世界仏教徒連盟）日本センター
〒105-0011
東京都港区芝公園4-7-4　明照会館2F
電話 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260
http：//www.jbf.ne.jp/
E-mail info@jbf.ne.jp

第45回 愛知県仏教保育絵画展

「楽しく描く」

愛知県仏教保育協会事務局
美園保育園(愛知県豊川市) 園 長　黒野 昌康

名古屋会場(第45回)　平成25年1月22日～1月27日
(名古屋市民ギャラリー栄)
三河会場(第3回)　平成25年2月5日～2月10日
(こども未来館ここにこ)

今年度で45回目を迎えた当会の「仏教保育絵画展」も会員園の協力により大盛況のうちに終えることができました。展示会場を尾張(愛知県西部)と三河(愛知県東部)の2会場で開催するのも、はや3年目となりました。

今年度の参加園は2会場を合わせて55ケ園でした。

年々、各参加園の絵画に変化が見られ、「こんなものを描いたんだ」「こんな技法もあるんだ」「これをこんな風に表現できるんだ」など、各園の先生方の指導はもちろん、〝子どもさんが本当に楽しく描いたんだなぁ〟というのがどの絵画からも感じることができます。それは、各会場にて行う表彰式の時にも見て取れます。表彰状を手に、自分の描いた絵画の前で写真を撮ってもらう時の目の輝きや、その絵画について親御さんたちに説明している時の表情など、どの子も自信に満ち溢れていました。

われわれ仏教保育者は、絵画という分野のみではなく、他の分野においても、一回でも多くすべての子どもたちにそのような目の輝きをさせてあげられるようしていきたいものです。

これからも仏教保育によって育まれた子どもたちの「素直な心」「優しい感性」「表現の豊かさ」を絵画等で表現し、より多くの方に見ていただくことはもちろん、生命尊重の保育を社会生活に実践してゆきながら、今後、どのように絵画以外の仏教保育を見つけてゆけるかが、仏教保育協会にとっての課題だと感じています。

合 掌

第28回 埼玉県佛教幼児画展

「子どもらしさ」

わせだ幼稚園（埼玉県三郷市）
園長　石田　隆博

今年は思いもよらない爆弾低気圧もあり、1月に開催されているこの「埼玉県佛教幼児画展」も天候が心配されましたが、無事28回を終える事が出来ました。埼玉県内仏保園13園より約300作品が出品されました。

各園の特徴がよく表われた作品に私自身いろいろと勉強させられました。さいたま市文化センターの展示室のパネル一面に飾られた子どもたちの絵を見ると毎年のことながらとても元気づけられる気がします。作品一つ一つが描かれた情景や想いなど

がひしひしと感じられ、今にも飛び出してきそうな力強さ、迫力、「子どもらしい」絵にたくさん触れることができました。

その作品を見に来た子どもたちの笑顔、そしてご家族の方々の温かさに感心させられます。

受付を済ませ会場に入るとじっくりと絵を見る親子、一目散に自分の絵を探し始める子どもたち。友だちの作品にも興味津津。さまざまな様子が見られます。そして、表彰を受ける時の少し照れくさいような、でも誇らしげな顔が印象的でした。

この幼児画展に参加するたびにみんなが持っている『子どもらしさ』に魅了され、家族の笑顔に心を豊かにさせられています。

最後になりますが、幼児画展を開催するにあたり、たくさんの素敵な絵を出品してくださった幼稚園、保育園の先生方。準備から運営、片付けまでお手伝いいただいた先生方、事務局の皆さまに心より感謝いたします。

ありがとうございました。

合掌

理事会・運営審議委員会・総会

平成25年5月14日（火）

・理事会・運営審議委員会　11時00分～13時00分
・総　会　14時00分～15時30分
・研修会　16時00分～17時30分
［会　場］大本山増上寺・三縁ホール
・懇親会　18時00分～
［会　場］ザ・プリンスタワー東京
（＊場合によっては、会議時間が多小変更することがありますので、ご了承ください）

ミュージカル「ブッダ」東京公演のご案内

平成23年5月に上映された東映アニメ映画『ブッダ』では、当協会も協力いたしましたが、今回「わらび座」の制作でミュージカルとして上演されることになり、今回も宗派を超えて協力することに致しましたので、ご案内します。

【日　程】2013年5月7日～5月12日
【会　場】シアター1010（千住ミルディス1番館・11F）
【料　金】全席指定　8000円
＊なお、貸切公演、オリジナルパンフレットの作成等もできるそうです。

希望舞台「焼け跡から」公演のご案内

昨年10月、劇団「希望舞台」が1000回公演を目指して活動を続けている水上勉作『釈迦内柩唄』を当協会も協力しましたが、かねてからの構想であった『焼け跡から』の制作が完了し、3月から公演することになりましたので、ご案内します。

【公演日程】

●3月9日（土）　昼の部　14時　開演
　夜の部　18時30分　開演
　山梨県　南アルプス市　あやめホール（生涯学習センター）
●3月16日（土）　14時　開演
　長野県　佐久市・佐久勤労者福祉センター
●3月19日（火）　18時30分　開演
　神奈川県　茅ケ崎市・市民文化会館

幼児教育無償化へ始動・か？

政府は2月17日、3歳児～5歳児の幼児教育無償化への実現に向けて検討する連絡協議会を3月に設置する方針を固め、19日に文部科学省・下村博文大臣と内閣府・森雅子少子化担当大臣が会見で方針を明らかにしました。

夏の参院選前の6月をめどに制度の概要をまとめ、中間報告を行うということです。連絡協議会では、就学前に3～5歳児が通う幼稚園、保育所、幼保一体型の認定こども園を無償化の対象とする方向で検討すると言っています。

財源確保については、所得制限を考慮しなければ7900億円程度と試算していますが、消費税率10％の引き上げは15年10月を予定していますので、財源捻出は14年度以降の予算編成の過程で行う必要があると考えているようです。

それにしても消費税の引き上げ分は「年金・医療・介護・少子化対策」等の社会保障費に使うことが決まっているだけに、財源の見通しが立たなければ画餅に帰すことになるのは必定です。

下村文科相は「財源はこれからの課題だ。政府全体として取り組んでいくテーマである」と語っていましたが、消えゆく〝こだま〟で終わらないことを期待したいものです。

事務局日誌

2／5　関西地区連絡協議会（ホテルグランヴィア京都）
2／14　「仏カリ」「仏教保育」編集会議
事務局会議
2／19　「ほとけの子」編集会議
2／22　養成機関連絡協議会（芝パークホテル）
2／28　こどものくに「チューリップ版」編集会議

編集後記

■3月は卒業式の季節。卒園生を送り出す時やれやれと肩の荷が降りたような気がします。そして、卒園児の保護者から、「お世話になりました、この子がこんなに成長できたのも園の先生方のお陰です」と挨拶いただくと、本当に嬉しくこの仕事をしていてよかったと心から思える時でもあります■また毎年小学校の卒業式に参列し卒園児の大きく成長した姿を見るのも楽しみです。その学校では、演壇に登った生徒が卒業証書を受け取った後、参列者に向かって一言ずつ希望を述べます■「テニスで世界一になりたい」という大きな夢や、大病を経験した子が「医師になって人の病気を治したい」と述べたりするのを聞くのはほほえましい気持ちにさせられます■ところで、一番多かったのは「中学生になったら勉強を頑張りたい」という声。そのことにふと違和感を覚えてしまいました。果たしてそれは子どものホンネなのでしょうか？　（三浦）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ　http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 関岡俊二　編集人 高山久照
毎月1回1日発行（1部315円）

仏教保育綱領

慈心不殺　生命尊重の保育を行なおう
仏道成就　正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進　よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

¥21,000（税抜¥20,000）
サイズ：W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱（W33 × D5.5 ×H45.5cm）入り
10ページ（見開き5画面）
（社）日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／ PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
（価格は税込）

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6－4－21
電話 〇三－三九四五－六六一二
ファクス 〇三－三九四五－六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/